My Book® Live™

パーソナルクラウドストレージ

ユーザーマニュアル

WD® サービスとサポート

万が一本製品に問題が発生した場合は、返品される前に弊社までお問い合わせをお願い致します。テクニカルサポートに関するご質問の多くは、弊社のナレッジベースまたはメールでのサポートサービス (*http://support.wdc.com*) でお答えすることができます。回答が得られない場合、またご希望によっては、上記の電話番号にて弊社までお問い合わせください。

お客様の製品には、保証期間中、30 日の無料の電話サポートが含まれています。この 30 日間は弊社のテクニカルサポートに最初にお電話された日付から始まります。こちらよりユーザー登録をお願い致します。また、弊社の広範囲に及ぶナレッジベースは年中無休でご利用いただけます。お客様にいつも新しい機能とサービスを提供できますよう、*http://register.wdc.com*。

オンラインサポートへのアクセス

弊社の製品ウェブサイト *support.wdc.com* で、下記のトピックの中から選択してください。

- **ダウンロード** – お使いの WD 製品のドライバ、ソフトウェア、およびアップデートをダウンロードすることができます
- **登録** – 最新のアップデートおよび特別な提供を入手されるためにお使いの WD 製品を登録してください
- **保証および RMA サービス** – 保証、製品交換 (RMA)、RMA ステータス、および日付取得情報を獲得します
- **ナレッジベース** – キーワード、フレーズ、または回答 ID で検索することができます
- **インストール** – WD 製品やソフトウェアのオンラインインストールヘルプを確認することができます
- **WD コミュニティ** – 他の WD ユーザーと自分の考えを共有しましょう
- **オンラインラーニングセンタ** – 最新の情報、手順、およびソフトウェアを使用してパーソナルクラウドを最大限に利用できます。(*http://www.wd.com/setup*)

WD テクニカルサポートの連絡先

WD テクニカルサポートへのお問い合わせの際には、WD 製品のシリアル番号、ご使用のハードウェア、および OS のバージョンをお尋ね致しますので、あらかじめご確認ください。

北米		**アジア太平洋**	
英語	800.ASK.4WDC	オーストラリア	1 800 42 9861
	(800.275.4932)	中国	800 820 6682/+65 62430496
スペイン	800.832.4778	香港	+800 6008 6008
		インド	1 800 11 9393 (MNTL)/1 800 200 5789 (Reliance) 011 26384700 (Pilot Line)
ヨーロッパ（通信料無料）*	00800 ASK4 WDEU	インドネシア	+803 852 9439
	(00800 27549338)	日本	0120-994-120/00531-65-0442
		韓国	02 703 6550
ヨーロッパ	+31 880062100	マレーシア	+800 6008 6008/1 800 88 1908/+65 62430496
中東	+31 880062100	フィリピン	1 800 1441 0159
アフリカ	+31 880062100	シンガポール	+800 6008 6008/+800 608 6008/+65 62430496
		台湾	+800 6008 6008/+65 62430496

* 通信料無料番号は以下の国で利用可能です。オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、英国

WD 製品の登録

最新のアップデートおよび特別な提供を入手されるためにお使いの WD 製品を登録してください。*http://register.wdc.com* でオンラインで、あるいは、My Book Live ソフトウェアを使用して、簡単に登録いただけます（「システムの設定」p. 63 を参照）。

目次

WD® サービスとサポート ii
WD 製品の登録 ii

1 重要なユーザー情報 1

重要な安全上の説明 1
お客様の WD 製品情報の記録 2

2 製品概要 3

ドライブについて 3
特長 3
WD のオンラインラーニングセンターについて 5
パッケージ同梱物 5
システム要件 7
設置場所について 8
取り扱い上の注意 8
仕様書 8
製品構成図 9

3 ドライブの接続と使用開始 10

オンラインセットアップソフトウェアを使用して開始する 10
オンラインセットアップソフトウェアを使用せずに開始する（Windows と Mac OS） 17
使用を開始する 21

4 ファイルのバックアップと復元 22

WD SmartWare を使用する（Windows のみ） 22
Windows 8 のファイルの履歴機能の使用 38
Windows 7/Windows Vista バックアップ機能を使用する 39
Apple Time Machine を使用する 40

5 ドライブの管理 WD Quick View 46

WD Quick View をインストールする（Windows のみ） 46
WD Quick View ショートカットオプションへのアクセス 48
ドライブステータスをチェックする 49
WD SmartWare を起動する（Windows のみ） 49
WD SmartWare を安全に終了する（Windows のみ） 50
共有を開く 50
My Book Live ダッシュボードを起動する 51

ドライブをマップする（Windows のみ）. 51
パブリック共有のショートカットを作成する（Windows のみ）. 52
ドライブのプロパティを表示する 52
安全にシャットダウンする. 53
アラートを監視する 54
WD Quick View アイコンをアンインストールする. 56

6 My Book Live ダッシュボードを使用する. 57

My Book Live ダッシュボードを起動する. 57
My Book Live ダッシュボードを起動する. 58
ダッシュボードのコンポーネントについて理解する. 59
カスタマーサポートを利用する 61
使用を開始する. 62

7 基本的な設定. 63

システムの設定. 63
ネットワークの設定 69
ユーティリティの設定 70
リモートアクセスの設定 75
メディアサーバーの設定 75

8 ユーザーの管理. 76

ユーザーの表示. 76
ユーザーの作成. 77
ユーザーのためにプライベート共有を作成する 79
ユーザーのパスワードの変更. 80
ユーザー設定の編集 80
ユーザーの削除. 80

9 共有の管理 81

共有リストの表示. 81
新しい共有の作成. 82
新規ユーザーの作成 83
共有をパブリックにする 84
共有の削除 84
共有を開く 84

10 セーフポイントの管理 86

セーフポイントを使用した My Book Live ドライブのバックアップ 86

11 My Book Live へのリモートアクセス 94

WD 2go: パーソナルクラウドへの入口. 94
リモートアクセスを有効にする 97
モバイルアクセスの設定 98
WD 2go 経由のウェブアクセスの設定 105
パーソナルクラウドへのアクセス 108

12 ビデオ、写真、および音楽の再生 / ストリーミング 112

メディア サーバーの概要 112
メディアサーバーの設定 112
サポートされているメディアの種類 116
メディアストレージ 117
メディアプレーヤーから My Book Live にアクセスする 118
iTunes を使って My Book Live にアクセスする 124

13 トラブルシューティング 126

最初に確認するチェックリスト 126
My Book Live のリセット 126
具体的な問題と修復方法 127

14 規制および保証情報 130

規制遵守 130
サービスを受けるには 131
保証期間 132
GNU 一般公衆利用許諾契約書 (GPL) 132

15 付録 133

TwonkyMedia 133

16 用語集 135

17 索引 139

1 重要なユーザー情報

重要な安全上の説明
お客様の WD 製品情報の記録

重要な安全上の説明

本製品は、適切な使用方法のもとお客様に安全にお使いいただけるよう設計されています。不適切な使用方法は、電気的ショックまたは火災につながることがあり、危険です。事故を防ぐために、次の安全に関する注意事項を十分にご理解いただき、本製品を正しくご使用ください。

- 本製品に示された警告および指示に従ってご使用ください
- 本製品のお手入れを行う場合は、壁付コンセントから本製品のプラグを抜いてくださいお手入れの際、液体クリーナやエアロゾルクリーナを使用しないでください。清掃用の湿った布をご使用ください
- 本製品を水気の近くで使用しないでください
- 不安定な面に本製品を設置しないでください。製品が落下すると、重大な損傷をもたらす場合があります
- 製品を落とさないでください
- シャーシ背面および底面にあるスロットおよび開口部を塞がないでください。本製品の適切な通気および正常な作動を確保し、本製品を過熱から保護するために、これらの開口部が塞がれていない状態、蓋がされていない状態にしてくださいドライブを直立させることが過熱防止に役立つこともご留意ください
- ラベルで示された電源の種類をご使用ください。それ以外の電源は使用しないでください。電源の種類がわからない場合は、販売店または電力会社にお問い合わせください
- 電源コードの上に物を置かないでください。人が歩く場所に本製品やコードを配置しないでください
- 本製品に延長コードを使用する場合、延長コードに接続した機器の合計定格電流が延長コードの定格電流を超えないことを確認してください。さらに、壁付コンセントに接続したすべての製品の合計定格電流がヒューズの定格電流を超えないことを確認してください
- 異物がシャーシスロットから本製品内部に入らないようにしてください。火災や感電の原因となる場合があります
- 以下の場合、壁付コンセントから本製品のプラグを抜き、資格のあるサービス担当者に修理をご依頼ください
  - 電源コードまたはプラグが損傷、切断または擦り切れた場合
  - 製品に液体が入った場合
  - 製品が雨または水にさらされた場合

- 操作指示に従っても製品が正常に動作しない場合。この場合、操作指示の対象となっているコントロール以外は調整しないでください。対象外のコントロールを不適切に調整すると本製品が損傷し、正常な状態に復元するために多くの費用が必要となる場合があります
- 製品が落下した、またはシャーシが損傷した場合
- 製品のパフォーマンスに著しい変化が見られる場合は、WD カスタマーサポート (*http://support.wdc.com*) までご連絡ください

お客様の WD 製品情報の記録

ご使用の製品の製品情報を次の表に記入してください。この情報は設定やテクニカルサポートの際に必要となります。ご使用の製品の製品情報は製品底面のラベルに記載されています。

- シリアル番号
- 製品型番
- ご購入日
- システムおよびソフトウェアに関するメモ

2 製品概要

ドライブについて
特長
WD のオンラインラーニングセンターについて
パッケージ同梱物
システム要件
設置場所について
取り扱い上の注意
仕様書
製品構成図

ドライブについて

この高性能ハードディスクドライブをご自宅のワイヤレスルーターに接続するだけでホームネットワーク上の共有ストレージとして使用することが可能。外出先からもファイルにアクセスすることができます。Mac コンピュータと Windows とのファイル共有、DLNA 対応デバイスを使用したテレビへのメディアのストリーミング、WD 2go™ アプリおよびウェブサイトからファイルへのリモート アクセスが実現します。

このユーザーマニュアルでは、ご購入頂きました WD 製品のインストール手順およびその他の重要な情報について説明します。このユーザーマニュアルの翻訳バージョンとアップデートは、*http://products.wdc.com/updates* からダウンロードできます。本製品に関する詳細情報や最新ニュースについては、弊社のウェブサイト (*http://www.wdc.com*) をご覧ください。

特長

お手持ちのコンテンツを自分のパーソナル クラウド上に保存 – 自分専用のパーソナル クラウドを作成できます。月額料金は不要で、またデータがどこかに紛失してしまうこともありません。お手持ちの動画、写真、音楽、ファイルをハードディスクドライブ上に保存、保存されたファイルには、インターネット経由で安全にアクセスできます。タブレットやスマートフォンから専用のモバイルアプリを利用して、My Book Live にリモートアクセスも可能ご使用のモバイル端末に最大 3TB のストレージ容量を追加したのと同じことです。

テレビ にストリーミング – 娘さんのお誕生パーティのビデオを見たり、バケーションのスライドショーを TV に映しましょう。内蔵のメディアプレーヤー昨日により、音楽、写真、ムービーを WD TV™ Live™ ネットワーク メディア プレーヤー、Blu-ray Disc® プレーヤー、Xbox 360™、PlayStation® 3、インターネットに接続されたテレビ などの DLNA® 対応デバイスにストリーミングできます。DLNA 1.5 および UPnP に対応

お客様のすべてのコンピュータの共有ストレージ – ご家族の一人ひとりが別個で所有する映画、音楽、写真や大切なファイルを一つの場所に保存し、共有することができます。ドライブをワイヤレスルーターに接続するだけで、ご使用の Windows PC や Mac からファイルを保存したり、共有ストレージ上のファイルにアクセスすることができます。

すべてのコンピュータをワイヤレスで自動バックアップ – WD SmartWare™ で無線ネットワークを使って貴重な思い出を保護し、Windows や Mac をすべて信頼できる一箇所にバックアップします。データを保存する度に、ただちにバックアップを実行します。Mac では、Mac OS に標準搭載の Apple® Time™ Machine の全機能を活用して、データを保護することができます

妥協を許さない速度 – 800MHz の CPU を搭載し、ストリーミングからリモートアクセスまで、あらゆるアプリケーションに最大パフォーマンスを実現します。最新の Ethernet チップ技術を採用して設計されたこの製品は、従来の USB 2.0 ハードディスクドライブより速い *、このクラスで最速の読み取り速度を実現

* 有線ギガビットイーサネットネットワークに接続したと場合に、最も速い速度でご利用頂けます。

iTunes® で音楽を再生 – ド My Book Live は iTunes サーバー機能を搭載。音楽やビデオのコレクションをこのドライブで一元的に保存して、iTunes を使用して Mac や Windows にストリーミングできます。

セットアップが簡単で、ネットワーク上での検出も簡単 – セットアップが簡単です。簡単な操作で設定が完了。Mac、Windows® 8、Windows® 7、および Windows Vista® から、My Book Live を数秒で自動的に検出が可能

ファイルに対する保護層をもう 1 つ追加 – お手持ちの My Book Live の 2 次コピー（セーフポイント）をホーム ネットワーク上の別の My Book Live または NAS ドライブに作成することができます。すべてのコンテンツを二重に保護することができるので、安心してお使い頂けます

WD 2go™: パーソナルクラウドへの入口

- **パーソナルクラウドとは？**

  パーソナルクラウドでは、すべてのデジタルコンテンツが自宅に安全に管理されているような安心感が得られます。パブリッククラウドとは異なり、パーソナルクラウドでは、自分のデータをホームネットワーク上で安全に一元管理することができます。どこにいてもファイルの共有、メディアのストリーミング、ファイルへのアクセスができます。月額費用は、一切かかりません。データを安心できる場所に保存できます。動画・写真・音楽・ファイルを自宅に安全に管理して、常にアクセスすることができます

- **WD 2go ウェブアクセスで、どこからでもコンテンツにアクセス**

  インターネットに接続できる場所であれば、世界中のどこにいても、*http://www.wd2go.com* にある自分の動画、写真、音楽に安全にアクセスすることができます。WD 2go web にアクセスするだけで、出先からご自宅の My Book Live パーソナルクラウドストレージに無料でリモートアクセスすることができます。ログインすると、WD 2go は My Book Live をローカル ドライブのようにお客様のコンピュータにマウントされ、Mac または Windows PC からリモート フォルダにアクセスできるようになります。このバーチャルハードディスクドライブから、スムーズにファイルを開いたり、保存したり、メールに添付することができます

- **WD 2go モバイルアプリと WD Photos モバイルアプリでお手持ちのデータを常に携帯**

  WD 2go や WD Photos™ のモバイル アプリを使うと、指先の操作で、iPad®、iPhone®、Blackberry™、および Android™ スマートフォンまたはタブレットに写真やファイルを表示することができます。

- **WD のモバイルアプリ**

  WD 2go モバイル アプリ – モバイル デバイスで、ファイル、音楽、写真にアクセスします。My Book Live に保存されたプレゼンテーションファイルや文書ファイルを外出先から確認したり、動画・音楽のストリーミングや写真の再生が可能です。

  WD Photos モバイル アプリ – モバイル デバイスで写真やビデオをとり、それを直接お手持ちのドライブにアップロードします。パーソナルクラウドストレージに保存されているすべての写真にアクセスし、スマートフォンやタブレットで表示も可能

WD のオンラインラーニングセンターについて

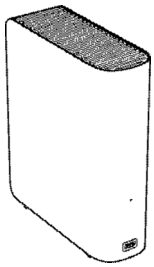
WD のオンラインラーニングセンターで、ユーザーが自分のパーソナルクラウドストレージを最大限に活用するための最新情報、ソフトウェアを入手することができます。また、ドライブ状態のモニタリング、データのバックアップ、リモートアクセスの設定など、手順ごとの説明が記載された Web ベースのするとヘルプを確認することもできます。インストールを行う際や My Book Live の使用時など、必要に応じていつでも参照できる、インタラクティブなリソースです。オンラインラーニングセンターでは次のことが行えます。

- 新しいパーソナルクラウドストレージ製品について学習する
- 最新の製品用ソフトウェアをダウンロードする
- 使用中に製品の各機能について、詳細情報を確認する
- 製品をアップデートして、新しい機能を利用する
- 常に利用可能なオンラインリソースにアクセスする

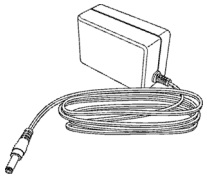
パッケージ同梱物

- My Book Live パーソナル クラウド ストレージ ネットワークドライブ
- イーサネットケーブル
- AC アダプタ
- クイックインストールガイド

- ダウンロード可能なインストールソフトウェア



My Book Live ホーム
ネットワークドライブ

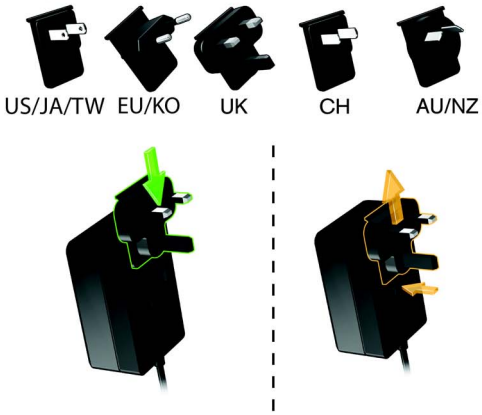


AC アダプタ

イーサネットケーブル

クイックインストー
ルガイド

グローバル AC アダプタ



本製品の追加の付属品については、以下をご覧ください。

米国	*www.shopwd.com* または *www.wdstore.com*
カナダ	*www.shopwd.ca* または *www.wdstore.ca*
ヨーロッパ	*www.shopwd.eu* または *www.wdstore.eu*
その他の国	各地域の WD テクニカルサポートにお問い合わせください。テクニカルサポートの連絡先リストは、*http://support.wdc.com* にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID 1048 でご覧頂けます

システム要件

オペレーティングシステム

Windows の場合：

- Windows 8
- Windows 7
- Windows Vista
- Windows XP (32 bit) SP3 以降

ご注意：Windows をご使用の場合は、Java ランタイムクライアントをインストールする必要があります

Mac OS X®

- Mountain Lion® *
- Lion® *
- Snow Leopard®
- Leopard® **

* Lion および Mountain Lion の場合は、Java ランタイムクライアントをインストールする必要があります。詳細は、*http://support.apple.com/kb/dl1421* をご覧ください

** Leopard (Mac OS 10.5) は、Intel プロセッサ上で実行している場合のみサポートされています。

ご注意：ご使用のコンピュータのハードウェア構成とオペレーティングシステムにより互換性が異なる場合があります。

最高のパフォーマンスと信頼性を得るには、最新のアップデートおよびサービスパック (SP) をインストールしてください。

- Windows PC をご使用の方は［**スタート**］メニューに進み、［**Windows Update**］を選択してください
- Mac をご使用の方は、［**Apple**］メニューに進み、［**ソフトウェア・アップデート**］を選択してください

ウェブブラウザ

- Internet Explorer 8.0 以上 (Windows PC)
- Safari® 4.0 以上 (Mac)
- Firefox® 12 以上 (Windows PC/Mac)
- Google® Chrome™ 14 以上（Windows/Mac プラットフォーム）

ローカルネットワーク

ルーター/スイッチ（パフォーマンスを最大にするためにギガビットを推奨します）

インターネット

初期セットアップでソフトウェアのダウンロードが必要となるため、ブロードバンドインターネット接続が必要です

設置場所について

システムを開梱してインストールする前に、最大の効率を得るためにシステムに適した設置場所を選択してください。以下のような場所に設置することをお薦めします。

- 接地された電源の近く
- 清潔で、ほこりのない環境
- 振動のない安定した平面上
- 換気が良く（装置の背面や底面にあるスロットや開口部が塞がれていたり蓋がされていない状態）、熱源から離れている
- 空調設備、ラジオ、テレビ放送機などの電気機器からの電磁場から隔離されている

取り扱い上の注意

WD 製品は精密機械なので、開梱時およびインストールの際は丁寧にお取り扱いください。乱暴な取り扱い、ショックあるいは振動を与えると、本製品が損傷することがあります。外付けストレージ製品の開梱や使用の際には、次の注意事項を守ってください。

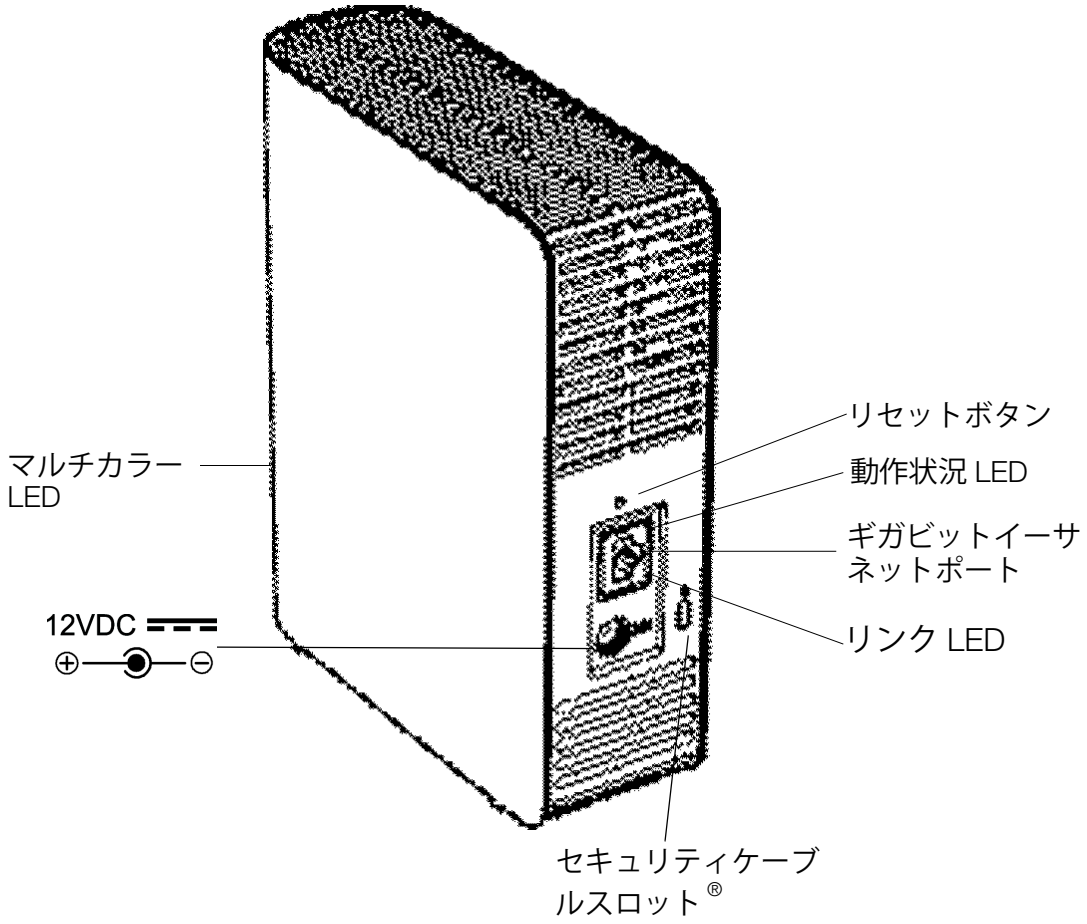
- 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください
- 本製品の電源がオンのときに本製品を移動しないでください
- 本製品をポータブルドライブとして使用しないでください

仕様書

イーサネット	高性能 (10/100/1000) ギガビットイーサネット接続
内蔵ハードディスクドライブ	WD 3.5 インチ SATA ハードディスクドライブ
対応プロトコル	CIFS/SMB、NFS、FTP、AFP
I/O ポート	ギガビットイーサネットポート (RJ-45)
サポートされているクライアント	Windows 8 Windows 7 Windows Vista Windows XP* Mac OS X Mountain Lion Mac OS X Lion Mac OS X Snow Leopard Mac OS X Leopard*
物理的寸法	長さ：139.45 mm（54.9 インチ） 幅：50 mm（1.97 インチ） 高さ：164.0 mm（6.5 インチ） 重量：1.01 kg（2.2 ポンド）
電力仕様	入力電圧：100 V ～ 240 V AC 入力周波数：50 ～ 60 Hz 出力電圧：12 V DC、1.5 A 消費電力：18 W
温度	動作時の温度範囲：5°C ～ 35°C (41°F ～ 95°F) 不動作時の温度範囲：-20°C ～ 65°C (-4°F ～ 149°F)

* 一部対応

製品構成図



各部の名称	アイコン	詳細
ギガビットイーサネットポート		本製品をローカルネットワークに接続
リセットボタン		本製品の管理者ユーザー名やパスワードなどの設定を復元。詳細については、「My Book Live のリセット」p. 126 を参照してください
電源ポート		本製品を AC アダプタおよびコンセントに接続
セキュリティケーブルスロット		ドライブの安全性のために、本機にはセキュリティスロットが備わっており、標準 Kensington セキュリティケーブルに対応しています。詳細については、*http://www.kensington.com* をご覧ください。

3 ドライブの接続と使用開始

オンラインセットアップソフトウェアを使用して開始する
オンラインセットアップソフトウェアを使用せずに開始する（Windows と Mac OS）
使用を開始する

My Book Live デバイスの簡単な設定 – デバイスを梱包箱から取り出し、クイックセットアップソフトウェアを *http://www.wd.com/setup* からダウンロードして実行します。その後は、画面の指示に従ってデバイスを接続してください。画面に従って接続した後、適切に接続できているかどうかをドライブの正面と背面の LED で確認することができます。

ご注意：ドライブの安全なシャットダウンと、ドライブの取り外しの詳細については、「安全にシャットダウンする」p. 53 または「再起動/ シャットダウン」p. 72 を参照してください。

オンラインセットアップソフトウェアを使用して開始する

オンラインセットアップソフトウェアは、ホームネットワークまたはスモールオフィスネットワークにデバイスを簡単に接続するために必要な手順を案内します。以下の手順でオンラインセットアップソフトウェアをダウンロードして実行すると、ドライブが検出され、ドライブが使用できるようになります。オンラインセットアップソフトウェアは、*http://www.wd.com/setup* にある WD のオンラインラーニングセンターからダウンロードできます。

オンラインセットアップソフトウェアのダウンロードとインストール

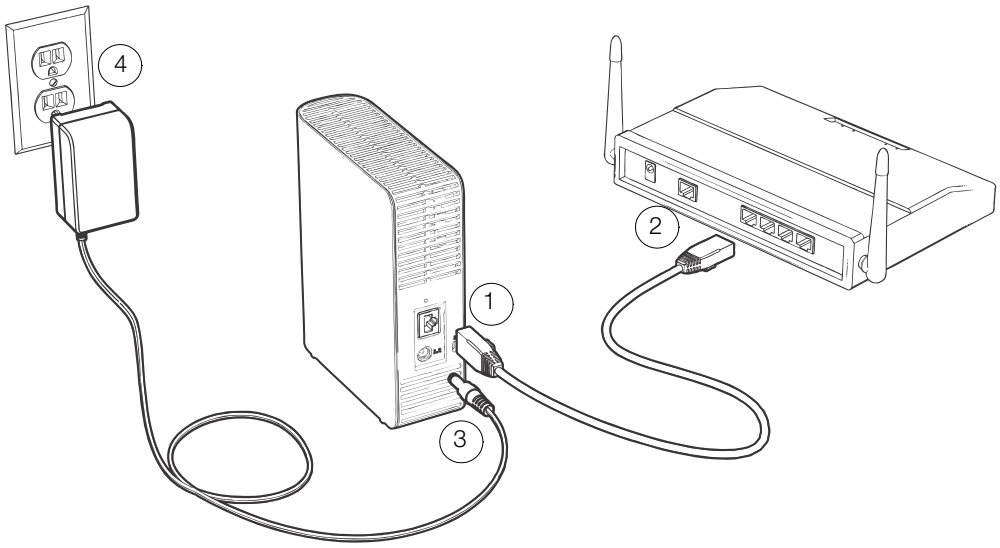
My Book Live デバイスを接続する前に、設定に必要なソフトウェアをダウンロードするために、以下の操作を行います。

1. ブラウザを開きます。対応ブラウザについては、「ウェブブラウザ」p. 7 をご参照ください。
2. アドレス欄に「*http://www.wd.com/setup*」と入力し、[Enter] キーを押します。
3. 表示された［ラーニングセンターへようこそ］画面で、［**My Book Live**］をクリックします。
4. ［**ダウンロード**］をクリックします。

   ご注意：ラーニングセンターが自動的にご使用の OS を判定します。他の OS 用のセットアップソフトウェアをダウンロードしたい場合は、［セットアップソフトウェアをダウンロード］をクリックする前に、画面上部のプルダウンメニューから目的の OS を選択してください。

5. ダウンロードしたファイル（Windows の場合：**Setup.exe**、Mac の場合：**My Book Live Setup.dmg**）をダブルクリックします。

物理的にドライブを接続する



重要： 過熱を防ぐために、ドライブが上記の図のように縦置きになっていることを確認してください。また、ドライブの最上部と最下部のスロットや開口部が遮るもの、覆うものがないことを確認してください。過熱時にデバイスは安全なシャットダウンを実行し、現在実行されているすべてのプロセスを中断します。このような状態が生じた場合、データ喪失の可能性があります。

My Book Live をホームネットワークまたは小規模オフィスネットワークに接続するために、以下の手順を実行してください。

1. イーサネットケーブルの一端をドライブ背面のイーサネットポートに接続します。

警告！ **クラス B 排出基準を満たすためには、同梱のシールドされているイーサネットケーブルを使用します。**

2. イーサネットケーブルの他方の端子をルーターまたはネットワークスイッチポートに接続します。
3. 本製品背面の電源ポートに AC アダプタを接続します。
4. AC アダプタをコンセントに挿します。デバイスの電源が自動的にオンになります。

重要： 電源をオンにした後、My Book Live ドライブの起動が完了するまで（約 3 分間）お待ちください。起動が完了すると LED の点滅が停止し、LED が緑に点灯（通常）、または青に点灯（スタンバイ）します。

フロントパネル LED を確認する

フロントパネル3色（赤/緑/青）LEDの動作は、次の表のとおりです。

状態	カラー	外観	状態の説明
電源オフ	なし		ドライブを取り外すと表示されます
電源オン	青色	点灯	本製品に最初に電源を入れると表示されます
起動	黄色	点灯	ドライブはオペレーティングシステムのロードを開始しています(OS)
注意	黄色	点滅	以下の環境がこの状態の原因となります • ディスクの温度が、熱警告しきい値を超えている（高温または低温） • ネットワークケーブルが挿入されていない
可能	緑色	点灯	OSの準備ができました
動作	緑色	点滅	本製品がハードディスクドライブ(HDD)と読み取り/書き込みコマンドをやり取りしています
障害発生/措置が必要	赤	点灯	以下の不具合がこの状態の原因となります • ディスクSMARTの不具合 • データボリュームが存在していない • システムボリュームが存在していない • システムが高温 (75°C) によりシャットダウンされた • サポート外のドライブが装着されている
スタンバイ	青色	点灯	本製品は、HDDスタンバイモードです
ソフトウェア/ファームウェアのアップデート中	白色 （多少紫色に見える場合もある）	点灯	ファームウェアは現在アップデート中です

背面パネルの LED を確認する（ネットワーク）

ネットワークの状態と LED の動作状況は次の表のとおりです。

ご注意： ポートの下部には LED があり、上部の LED は「動作状況 LED」、下部の LED は「リンク」です。

状態	LED	外観	状態の説明
リンク不能	リンク	オフ	ケーブルまたはドライブが差し込まれていません。あるいは、リンクの他端が使用可能ではありません
リンク可能 – 100 Mbps	リンク	黄色	ケーブルは差し込まれています。リンクの両端が正常に通信を確立しました。ネットワークは 100 Mbps で動作しています
リンク可能 – 1000 Mbps	リンク	緑色	ケーブルは差し込まれています。リンクの両端が正常に通信を確立しました。ネットワークは 1,000 Mbps で動作しています
リンクアイドル状態	動作	オフ	アクティブな通信はありません
リンクビジー状態	動作	緑色 – 点滅	アクティブな通信が進行中です

ネットワークにドライブを接続

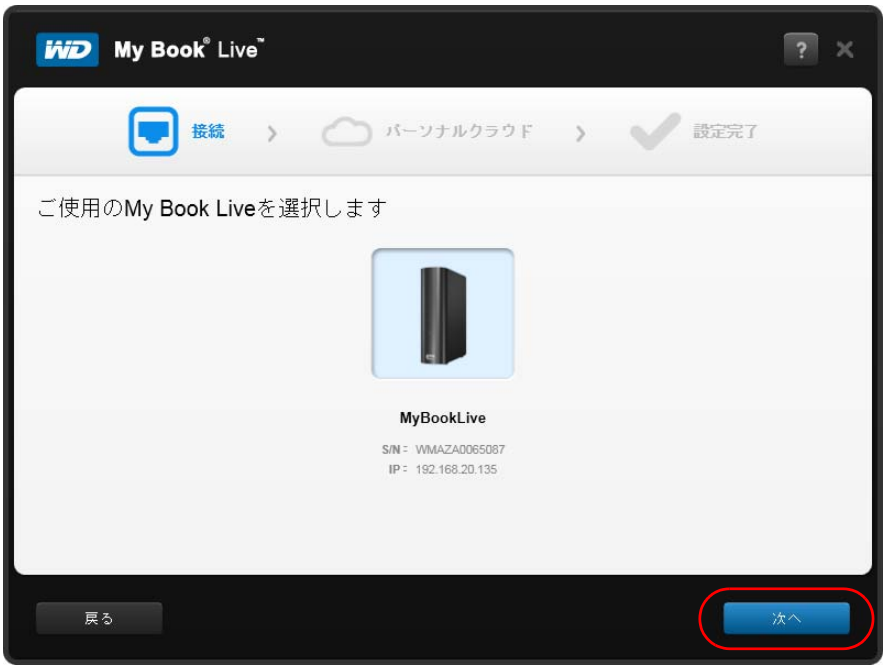
1. ［**開始する (Getting Started)**］を選択します。

2. 画面の指示または「物理的にドライブを接続する」p. 11 の説明に従って、My Book Live デバイスをホームネットワークまたはスモールオフィスネットワークに接続します。

ご注意：デバイスを接続する前に、本製品の背面からシールをはがしてください

3. 本製品の LED が緑色に点灯したら、[**次へ**] をクリックします。ソフトウェアによって、デバイスは自動的に検出されます。

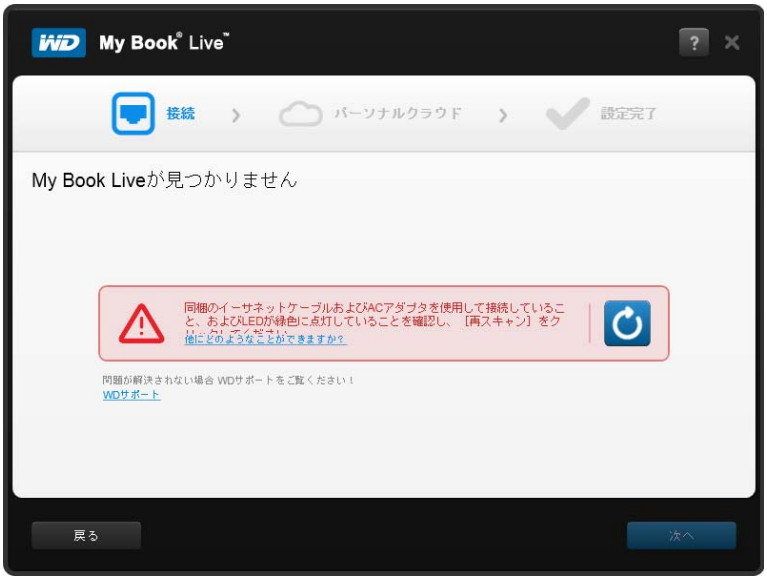
4. ご使用の My Book Live デバイスを選択し、[**次へ**] をクリックします。



5. 画面の指示または「WD 2go を使用したパーソナルクラウドの作成と登録」p. 15 の説明に従って手順を進めます。
   - ご使用のデバイスが検出されない場合は、「接続とトラブルシューティング」p. 15 を続けます。

接続とトラブルシューティング

接続 – セットアップソフトウェアがシステム内でMy Book Liveデバイスを検出できない場合は、[My Book Live が見つかりません (No My Book Live found)] 画面が表示されます。



1. 画面に表示された手順に従って、以下の事項を確認してください。
   - 本製品を接続しているコンセントが正常に機能していること
   - 本製品をルーターに適切に接続していること
   - 本製品正面の LED が緑色に点灯していること
2. 画面で［最新の情報に更新］をクリックします。
   - まだデバイスが検出されない場合は、[**WD サポート**] を選択してサポートを得るか、WD サポートにご連絡ください。

WD 2go を使用したパーソナルクラウドの作成と登録

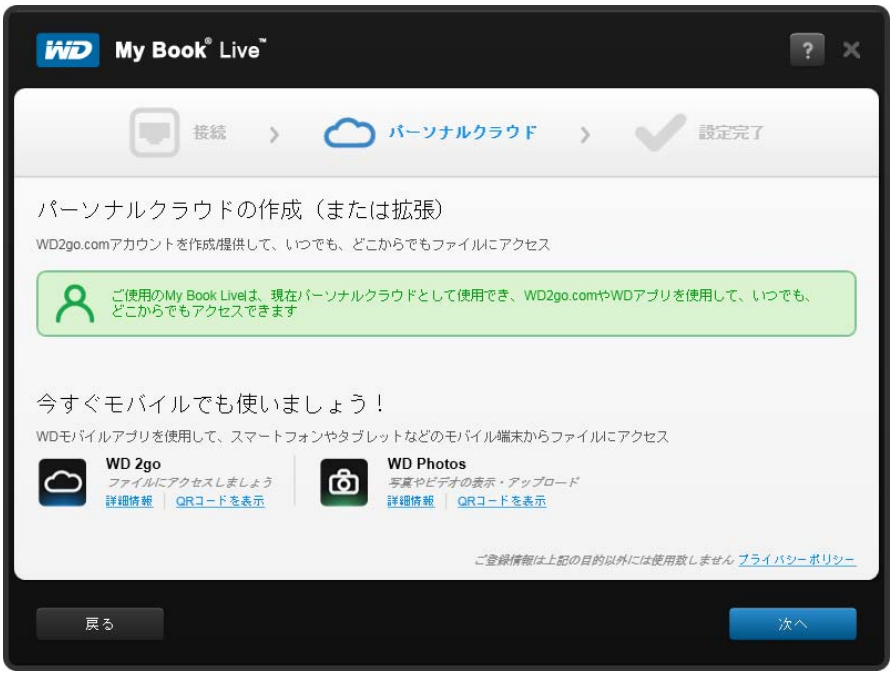
WD 2go web にアクセスするだけで、出先からご自宅の My Book Live パーソナルクラウドストレージに無料でリモートアクセスすることができます。WD 2goウェブにログインすると、ご使用の My Book Live をローカル ドライブのようにお客様のコンピュータにマウントし、リモート フォルダが Mac* または Windows から利用できるようになります。

*WD 2go は、Mac Leopard（OS X 10.5.x）ではご利用頂けません

1. ［パーソナルクラウド］画面で、［この情報を My Book Live の登録にも使用する (Also use this information to register My Book Live)］チェックボックスにチェックが付いていない場合はチェックを付けて、ご使用のデバイスを登録します。

2. ［**名**、**姓**、および**電子メール アドレス**］を入力して、［**送信**］をクリックします。
3. ［ユーザー認証］画面で、プルダウンメニューから My Book Live のユーザーアカウントを選択します。選択したアカウントが、WD 2go アカウントに関連付けられます。
4. メールソフトで送受信を行い新しいアカウントを確認後画面に戻り、［**次へ**］をクリックします。

ご注意：WD からのメールがスパムフィルターによりスパムフォルダに振り分けられる場合があります。新しいアカウントを確認するメールが受信トレイで見つからない場合は、スパムフォルダをご確認ください



5. My Book Live のセットアップが完了します。［**完了**］をクリックしてセットアップウィザードを終了するか、画面上の他の項目をクリックしてデバイスの使用を開始します。

オンラインセットアップソフトウェアを使用せずに開始する（Windows と Mac OS）

オンラインセットアップソフトウェアを使用しないでも、以下のようにドライブの使用を開始することができます。

- 外付けハードディスクドライブとして My Book Live を使用し、ファイルをドラッグ＆ドロップする
- My Book Live ダッシュボードを使用してドライブを設定する（「My Book Live ダッシュボードを使用する」p. 57 を参照してください）
- Windows のファイル履歴機能（「Windows 8 のファイルの履歴機能の使用」p. 38 を参照）、Windows のバックアップ機能（「Windows 7/Windows Vista バックアップ機能を使用する」p. 39 を参照）、または Apple Time Machine（「Apple Time Machine を使用する」p. 40 を参照）を使用する

Windows 8 を使用する場合

「Public ネットワーク」フォルダを開く

オンラインセットアップソフトウェアを使用する代わりに、以下の操作でドライブを開きます。

1. 物理的にドライブをネットワークに接続します（「物理的にドライブを接続する」p. 11 を参照してください）。
2. ツールバーから、［**ファイルエクスプローラ**］をクリックします。
3. ［**ネットワーク**］>［**MYBOOKLIVEDUO**］をクリックし、デバイスの Public フォルダを確認します。

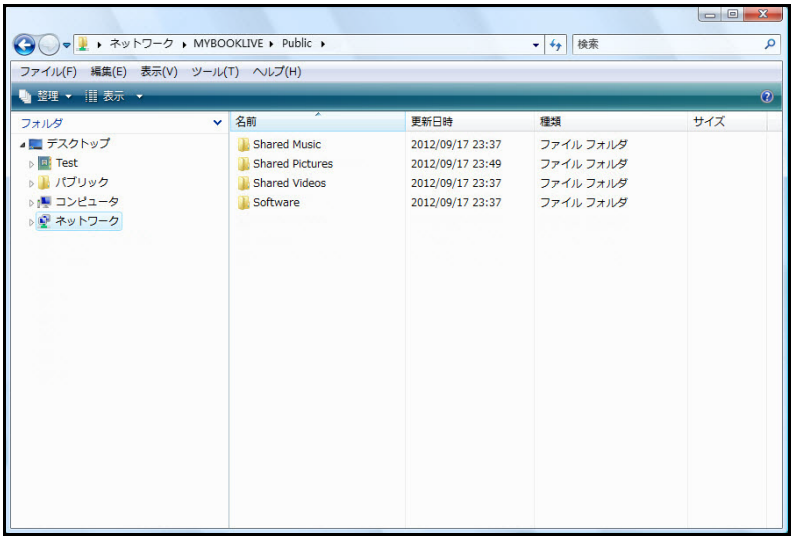
4. 「Public」フォルダをダブルクリックし、「Shared Music」、「Shared Pictures」、「Shared Videos」およびソフトウェアのサブフォルダを表示します。これで、Windows エクスプローラを用いて共有フォルダにドラッグ アンド ドロップ操作できるようになります。

Windows 7/Vista を使用する場合

「Public」フォルダを開く

オンラインセットアップソフトウェアを使用する代わりに、以下の操作でドライブを開きます。

1. 物理的にドライブをネットワークに接続します（p. 11 を参照してください）。
2. **> ［コンピュータ］> ［ネットワーク］> ［MYBOOKLIVE］** をクリックし、ドライブのパブリック フォルダを確認します。
3. 「Public」フォルダをダブルクリックし、「Shared Music」、「Shared Pictures」、「Shared Videos」およびソフトウェアのサブフォルダを表示します。これで、Windows エクスプローラを使用して共有フォルダにドラッグ＆ドロップすることができるようになります。



4. 素早くアクセスできるように My Book Live の「Public」フォルダをマップするには：
   - Windows エクスプローラで、［ネットワーク］の下に表示される **MyBookLive** をクリックします。
   - 「Public」フォルダを右クリックすると表示される右クリックメニューから **［ネットワークドライブの割り当て］** を選択します。
   - ［ドライブ］ドロップダウンリストから、希望するドライブ文字を選択します。
   - **［ログイン時に再接続］** チェックボックスをオンにします。
   - **［終了］** をクリックします。「Public」ドライブが割り当てられました。

My Book Live ダッシュボードを起動してドライブを設定

My Book Live ダッシュボードにアクセスしてドライブを設定するには以下の操作を行います。

1. 物理的にドライブをネットワークに接続します（p. 11 を参照してください）。
2. ブラウザを開き、アドレスとして **http://< ドライブ名または IP アドレス >** を入力します。例：http://192.168.1.10 or http://mybooklive

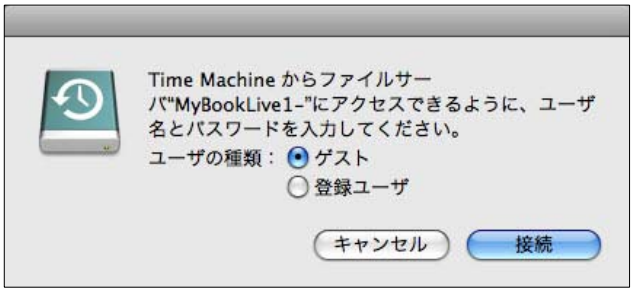
   ご注意：My Book Live デバイスの IP アドレスが不明な場合は、WD Quick View を使用してドライブを設定します（「ドライブの管理 WD Quick View」p. 46 を参照してください）。WD Quick View インストールソフトウェアは、http://www.wd.com/setup にあるオンラインラーニングセンターからダウンロードできます。

3. 「My Book Live ダッシュボードを使用する」p. 57 記載の操作に進みます。

Mac OS X を使用する場合

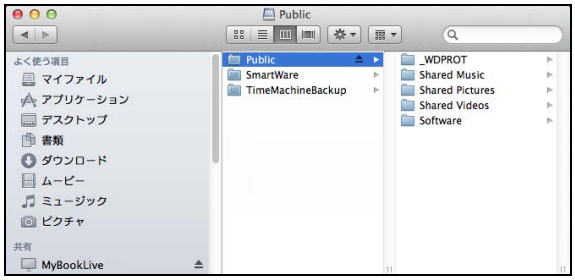
Finder を使用して「Public」フォルダを開く

1. Finder 画面で、サイドバーの共有項目の下に表示された［**MyBookLive**］をクリックします。
2. 認証画面が表示されたら、**ゲスト**、次に**接続**を選択後、パブリック共有を表示します。



3. Public フォルダをダブルクリックして、メディア サブフォルダ：「Shared Music」、「Shared Pictures」「Shared Videos」を表示します。これで、Finder を使用して共有フォルダにドラッグ＆ドロップすることができるようになります。

   ご注意：「Public」フォルダアイコンが自動的にデスクトップに表示されます。



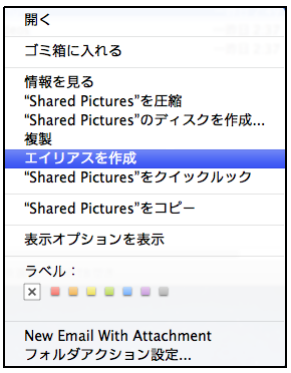
4. 常に共有ドライブアイコンをデスクトップ上に配置する場合は、エイリアスを作成します。次のいずれかの方法で、エイリアスを作成します。

   *ご注意：エイリアスを作成する場合は、［**Finder**］>［**Finder 環境設定**］を順に選択して、［接続しているサーバー］チェックマークがオンになっていることを確認します。*

- エイリアス（Shared Music など）を作る項目をクリックし、マウスボタンを押したままにします。［**Cmd**］および ［**Option**］キーを同時に押し下げたままで、その項目のエイリアスを表示したい場所までドラッグします。元のアイテムは移動されずに、エイリアスが新しい場所に作成されます。

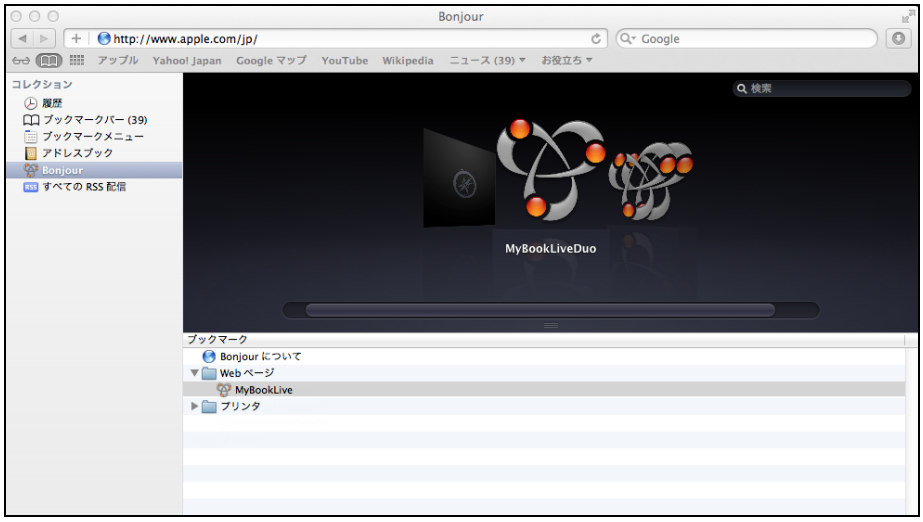
- または -

- エイリアスを作成したい項目を右クリックし（［共有音楽］など）、［**ファイル**］**>**［**エイリアスを作る**］をクリックします。



Bonjour を使用してドライブを探して設定する

1. **Safari** を開きブックマークアイコンをクリックします。



2. **Bonjour** をクリックし、次に My Book Live ドライブをダブルクリックして、My Book Live ダッシュボードのホーム画面を表示します。
3. 「ダッシュボードのコンポーネントについて理解する」p. 59 に進みます。

使用を開始する

My Book Live ドライブの準備が整い、本章の説明に従って設定したドライブ番号またはエイリアスでアクセスが可能になりました。ドライブへファイルをドラッグアンドドロップでき、ネットワーク上のコンピュータにファイルを移動することができます。また、コンピュータのファイルを自動的にバックアップ、ドライブ設定のカスタマイズ、遠隔地からのファイルアクセス、メディア サーバーとしてのドライブ使用、などが実行できます。

このユーザーマニュアルでは、My Book Live ドライブの設定と使用についての情報と手順を説明しています。以下に示す情報の多くは、*http://www.wd.com/setup* にあるオンラインラーニングセンターからダウンロードできます。最も一般的な操作を以下に示します。

操作 . . .	参照 . . .
コンピュータのデータを My Book Live ドライブにバックアップする	p. 26
データを My Book Live ドライブからコンピュータに復元する	p. 31
WD SmartWare ソフトウェアの自動更新を設定する	p. 38
ウェブから My Book Live ダッシュボードを起動する	p. 58
My Book Live ダッシュボードでドライブをカスタマイズする	p. 63
プライベート共有を開く	p. 84
My Book Live ファームウェアを工場設定に復元する	p. 71 p. 126
My Book Live ファームウェアを更新する	p. 65
互換性を持つ別のネットワークドライブまたはネットワーク共有にセーフポイントを保存して、My Book Live をバックアップする	p. 86
iPhone、iPad、または Android デバイスから My Book Live ドライブ上の写真やファイルにアクセスする	p. 94
wd2go.com から My Book Live 上のファイルにリモートにアクセスする	p. 108
ITunes などの My Book Live アプリケーションを有効または無効にする	p. 75
My Book Live からメディアの再生やストリーミングを行う	p. 112

4

ファイルのバックアップと復元

WD SmartWare を使用する（Windows のみ）
Windows 8のファイルの履歴機能の使用
Windows 7/Windows Vistaバックアップ機能を使用する
Apple Time Machineを使用する

WD SmartWare を使用する（Windows のみ）

WD SmartWareソフトウェア（以下、「WD SmartWare」と記載します）は、以下の機能を実現する使いやすいツールです。

- **データを自動的に保護** – 自動的な連続バックアップにより、ファイルを追加あるいは変更した瞬間にコピーが作成されます。

  ご注意：自動バックアップ保護は、My Book Live とコンピュータがネットワークに接続されている限り、連続的に実行されます。ネットワークから切断すると、バックアップは一時的に停止します。ネットワークに再接続すると、WD SmartWareは自動的にコンピュータをスキャンし、新しい、あるいは変更されたファイルを探してバックアップ保護を再開します。

- **問題が発生するとバックアップを表示** – ビジュアル バックアップにより、内容をカテゴリに整理して表示し、バックアップの進捗を示します。
- **破損ファイルを容易に回復** – すべてのデータを失っても、あるいは重要なファイルを上書きしてしまった場合でも、貴重なデータを元の場所に戻します。
- **管理** – バックアップをカスタマイズします。

情報/オンラインヘルプトピックの表示

WD SmartWareは2種類のヘルプを提供します。

- **ヘルプ アイコン** – 各 WD SmartWare 画面はオンライン ヘルプ情報に簡単にアクセスできるようになっていますから、バックアップ、回復および設定タスクを素早く実行できます。操作について確認したい場合は、画面右上角のヘルプアイコンをクリックしてください

  オンラインヘルプを確認後、情報/オンラインヘルプ画面を閉じる場合は、画面の右上隅にある［**X**］をクリックしてください

- **ヘルプ タブ** – WD SmartWare 画面のこのタブは、より詳細なヘルプを提供します。［ヘルプ］画面に関する詳細については、p. 25を参照してください

WD SmartWareのインストール

WD SmartWareをインストールしています

1. オンラインラーニングセンター *http://www.wd.com/setup* にアクセスします。
2. ［**My Book Live**］を選択します。

3. ［**製品のダウンロード**］ボタンをクリックし、［インストールのダウンロード］画面を表示します。

4. ［WD SmartWare］ボックスで、［**ダウンロード**］をクリックします。
5. ダウンロードしたファイルをアクセスして、zipファイルのコンテンツをコンピュータに取り出します。
6. 「WD SmartWare Setup」ファイルをダブルクリックします。

7. 表示された画面の指示に従ってインストールを実行します。
8. ［**WD SmartWare の起動**］ボタンをクリックして、WD SmartWareの［ホーム］画面を表示します。（「WD SmartWareホーム画面」p. 24 を参照してください）

インストールしたWD SmartWareを起動する

インストールしたWD SmartWareは、以下のいずれかの方法で起動することができます。

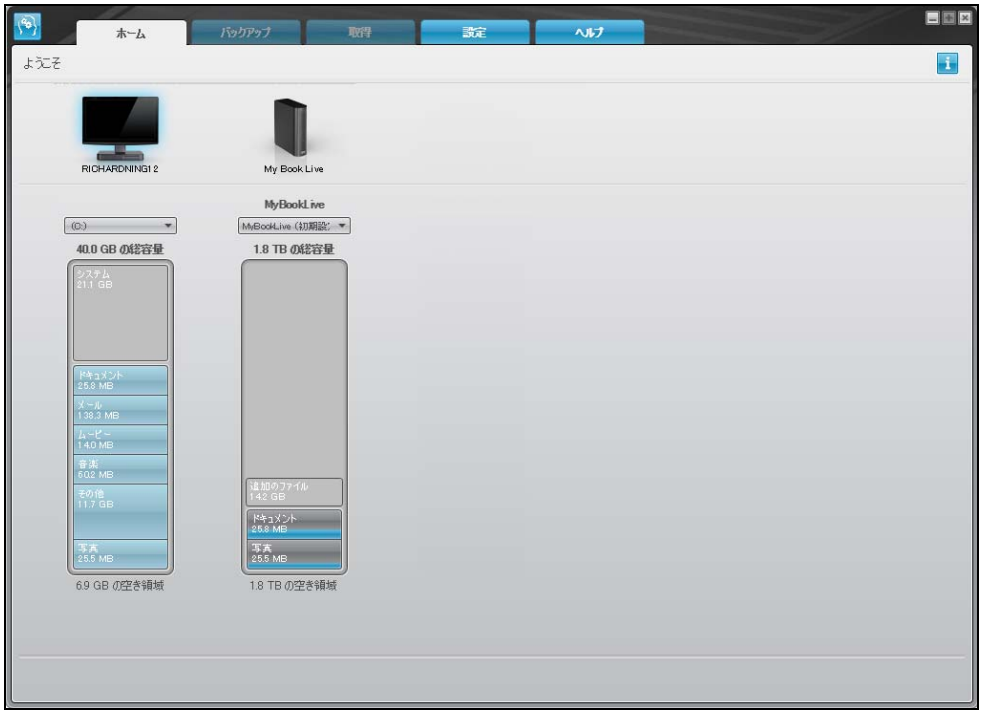
- **WD SmartWareアイコン** – Windowsのシステムトレイ上のWD Quick Viewアイコンを左クリックまたは右クリックしてメインメニューを表示して、［**WD SmartWare**］を選択します。

- または -

- **Windows エクスプローラ** –［**スタート**］または をクリックし、［**プログラム**］>［**WD SmartWare**］>［**WD SmartWare**］をクリックします。

WD SmartWareホーム画面

［ホーム］画面は、WD SmartWareの起動後に最初に表示される画面です。



WD SmartWareの［ホーム］画面には、5つのタブがあります。

- **ホーム** – ネットワーク上の 各 My Book Live ドライブの容量をコンテンツゲージに表示します。
- **バックアップ** – ムービー、音楽、ドキュメント、電子メール、写真などの大切なデータの既存のバックアップを管理したり、新しいバックアップを作成したりします。

- **復元** – 破損したり、上書きされたりした貴重なデータを復元します。
- **設定** – バックアップ パラメータの管理、アップデートの検索、およびドライブの設定が可能な My Book Live ダッシュボードへのリンクの提供を行います。
- **ヘルプ** – ラーニング センターのトピックやオンライン サポート サービスへのリンクを簡単に利用できます。ラーニングセンターのトピックには、各画面の情報/オンラインヘルプよりも詳細な情報が記載されています。さらに詳細な情報については、WD SmartWareのユーザーマニュアルをご覧ください。

コンピュータのハードディスクドライブに関するコンテンツゲージには、バックアップ対象となるすべてのファイルが、以下6つのカテゴリ内に青い背景色で表示されます。

ファイルのカテゴリ	対象ファイルの拡張子
ドキュメント	.doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、およびその他のドキュメントの拡張子
メール	.mail、.msg、.pst、およびその他のメールの拡張子
音楽	.mp3、.wav、.wma、およびその他の音楽の拡張子
ムービー	.avi、.mov、.mp4、およびその他のムービーの拡張子
写真	.gif、.jpg、.png、およびその他の写真の拡張子
その他	主要な 5 つのカテゴリに属さないその他のファイル

すべての対象ファイル拡張子のリストについては、*http://support.wdc.com* の WD ナレッジ ベースで回答 ID 3644 を検索してください。

メモ：

- マウスポインタをカテゴリの上に移動すると、カテゴリ内のファイルの数が表示されます
- 暗い灰色の背景で表示されるシステムカテゴリには、バックアップの対象にならないOSのシステムファイルが含まれます。バックアップされないファイルとして、システムファイル、プログラムファイル、アプリケーション、.tmpや.logファイルなどの作業ファイルがあります
- 暗い灰色の背景で表示される復元カテゴリは、前のバックアップから復元されたファイルを示します。これらのファイルはバックアップの対象とはなりません

  ご注意：その他のファイルは、現在のバックアップにおいて対象外のファイルです。

バックアップ機能の仕組み

WD SmartWareソフトウェアはすべての大事なデータ（音楽、映画、写真、文書、メール、およびその他のファイル）を自動的、かつ連続的に My Book Liveドライブにバックアップします。

WD SmartWareが選択したハードディスクドライブにあるファイルを種類ごとに分類した後、[**バックアップの開始**] ボタンをクリックすると、分類したすべての

ファイルがバックアップされます。また、特定のファイル、フォルダ、またはファイルのカテゴリを選択してバックアップすることができます。

コンピュータに複数の内蔵ハードディスクドライブが接続されている場合は、個々にドライブを選択してバックアップを行い、コンピュータ上のすべてのデータファイルを保護する必要があります。

バックアップを実行すると、WD SmartWareが次のファイルをバックアップし、ファイルを保護します。

- ハードディスクドライブに作成される、またはコピーされる新しいファイル
- 変更された既存のファイル

この保護は自動的に行われます – WD SmartWare ソフトウェアはユーザーが何をしなくてもそれを実行します – ネットワークに接続されているMy Book Live に任せてください。

ご注意：ドライブのネットワーク接続を解除してから再接続すると、WD SmartWareは必ずコンピュータを再スキャンし、新しい、あるいは変更されたファイルを探して自動的な連続バックアップを再開します。

ファイルのバックアップ

一部またはすべてのファイルをバックアップするには、以下の手順を実行します。

1. ［ホーム］画面で以下の操作を実行します。
   a. コンピュータに複数の内蔵ハードドライブまたはドライブパーティションが存在する場合、コンピュータアイコンの下にある内蔵ドライブ選択ボックスを使って最初にバックアップする対象を選択します

   b. 複数のMy Book Live、WD製NASドライブ、またはSmartWare対応デバイスがネットワークに接続されている場合、ファイルをバックアップしたいドライブを選択します

   c. ファイルをバックアップしたいMy Book Liveのフォルダを選択します

2. ［**バックアップ**］タブをクリックし、［**バックアップ**］画面を表示します。

3. ［バックアップ］画面で以下の操作を実行します。

内蔵ハードディスクドライブに . . . 以下をバックアップする場合	**操作 . . .**
すべてのカテゴリのファイル	ステップ 4 の p. 27 に進みます
選択したカテゴリのファイル	ステップ 5 の p. 28 に進みます
すべてのファイルとフォルダ	ステップ 8 の p. 29 に進みます
選択したファイルまたはフォルダ	ステップ 9 の p. 30 に進みます

4. My Book Live上のすべてのカテゴリをバックアップするには、以下の操作を行います。
   a. バックアップ モードが［**カテゴリ**］になっており、［バックアップ］ダイアログの左上端に［**カテゴリのバックアップを実行できます**］が表示されることを確認します。

   バックアップ モードが［**ファイル**］で［**ファイルのバックアップを実行できます**］が表示されている場合は、［**ファイル バックアップに切り替える**］ボタンをクリックして［**バックアップ計画を切り替える**］が表示されたら［**OK**］をクリックします。

b. ［**詳細表示**］をクリックしてカテゴリ別バックアップ選択ボックスを開き、6つのカテゴリすべてのチェックボックスが選択されていることを確認します

c. 必要に応じて、オフになっているチェックボックスを選択し、［**変更を適用する**］をクリックしてカスタム バックアップ プランを作成し、My Book Live ドライブのコンテンツ ゲージを更新します。

d. ［**バックアップの開始**］をクリックして、選択したすべてのカテゴリのバックアップを開始します。p. 30 のステップ 10に進みます。

5. 選択したカテゴリをバックアップするには、以下の操作を実行します。

a. バックアップ モードがカテゴリになっており、［バックアップ］ダイアログの左上端に［**カテゴリのバックアップを実行できます**］が表示されることを確認します

b. バックアップモードとして［**ファイルバックアップ**］が選択され、［**ファイルのバックアップを実行できます**］が表示されている場合は、［**カテゴリのバックアップに切り替える**］をクリックして［バックアッププランを切り替える］ダイアログで［**OK**］をクリックします

6. ［**詳細表示**］をクリックすると、カテゴリ選択ボックス別にバックアップを表示します。

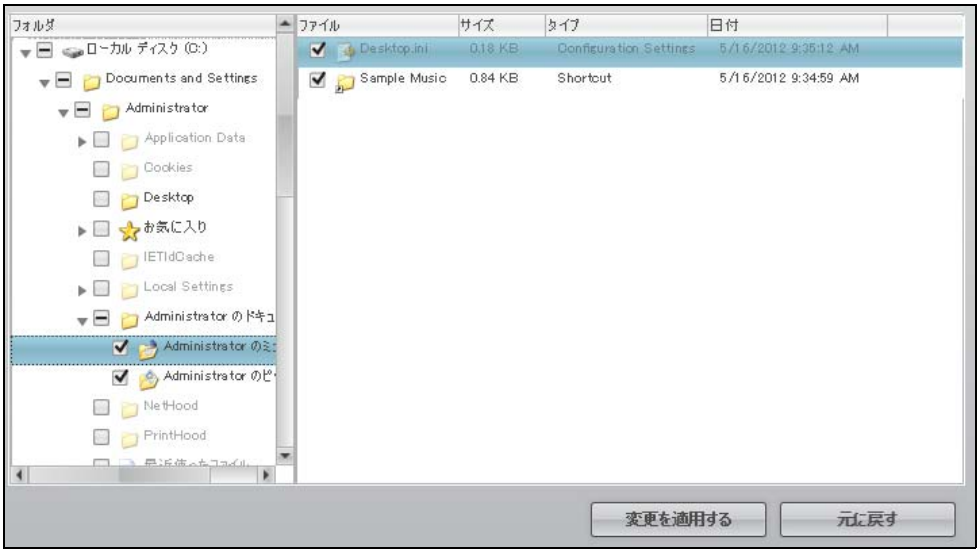
7. カテゴリ選択ボックスで、以下の操作を実行します。
   a. バックアップするカテゴリのチェックボックスをオンにします。
   b. バックアップから除外するファイルのカテゴリのチェックボックスをオフにします。

   c. ［**変更を適用する**］ボタンをクリックして 、My Book Live ドライブのコンテンツ ゲージを更新します。
   d. ［**バックアップの開始**］ボタンをクリックし、選択したファイルのカテゴリのバックアップを開始し、p. 30 の ステップ 10 に進みます。

8. 内蔵ハードディスクドライブのすべてのファイルおよびフォルダをバックアップするには、以下の操作を実行します。
   a. バックアップ モードが［**ファイル**］になっており、［バックアップ］ダイアログの左上端に［**ファイルのバックアップを実行できます**］が表示されることを確認します。
   b. バックアップ モードがカテゴリで［**カテゴリのバックアップを実行できます**］が表示されている場合は、［**ファイル バックアップに切り替える**］ボタンをクリックして［**バックアップ計画を切り替える**］が表示されたら［**OK**］をクリックします。
   c. ファイル選択ボックスで、コンピュータの内蔵ハードドライブのチェックボックスをオンにします

   d. ［**変更を適用する**］をクリックしてカスタム バックアップ プランを作成し、My Book Live ドライブのコンテンツ ゲージを更新します。
   e. ［**バックアップの開始**］をクリックし、すべてのファイルおよびフォルダのバックアップを開始し、p. 30 の ステップ 10 に進みます。

9. 選択したファイルまたはフォルダをバックアップするには、以下の手順を実行します。
   a. バックアップ モードが［**ファイル**］になっており、［バックアップ］ダイアログの左上端に［**ファイルのバックアップを実行できます**］が表示されることを確認します。
   b. バックアップモードとして［**カテゴリ**］が選択され、［**カテゴリのバックアップを実行できます**］が表示されている場合は、［**ファイルバックアップに切り替える**］をクリックして［バックアッププランを切り替える］ダイアログで［**OK**］をクリックします。
   c. ファイル選択ボックスで、ドライブやフォルダの展開アイコンをクリックしてフォルダ構造を展開します。



   d. バックアップしたい個々のファイルまたはフォルダのチェックボックスをオンにしますフォルダのチェックボックスをクリックすると、自動的にフォルダ内のすべてのサブフォルダおよびファイルを選択することになることに注意してください。
   e. ［**変更を適用する**］をクリックしてカスタム バックアップ プランを作成し、My Book Live ドライブのコンテンツ ゲージを更新します。［**戻る**］をクリックすると、チェック ボックスのすべてがクリアされて、初期/デフォルト設定が再表示されます。
   f. ［**バックアップの開始**］をクリックし、選択したファイルまたはフォルダのバックアップを開始し、p. 30 の ステップ 10 に進みます。
10. バックアップ中の動作：
   - 進行状況バーとメッセージはバックアップされたデータ量を表示します
   - カテゴリのバックアップでは、内蔵ハードディスクドライブのコンテンツゲージの背景（青色）が、まだバックアップされていないすべてのファイルについては黄色/こはく色に変わります
   - My Book Liveのコンテンツゲージにあるカテゴリまたはファイルの灰色の背景は、バックアップが完了すると青色に変わります
   - WD SmartWare はファイルをバックグランドでバックアップするため、お手持ちのドライブの設定や他の機能の実行を継続することができます

- ［**バックアップの開始**］トグルボタンは［**バックアップの停止**］に変わりバックアップを停止できます
- バックアップの正常終了メッセージが表示された場合は、バックアップが正常に完了したことを示します
- バックアップできないファイルがあった場合、WD SmartWare は以下のものを表示します
  - バックアップされなかったファイルの数を示す警告メッセージ
  - バックアップされなかったファイルの一覧と理由を見ることができる表示リンク

    一部のアプリケーションや実行中のプロセスではファイルがバックアップされないことがあります。一部のファイルがバックアップされなかった理由がわからない場合は、以下を実行してください
  - 開いているファイルをすべて保存して閉じる
  - 電子メール プログラムやウェブブラウザなどの実行中のアプリケーションをすべて閉じる

重要： バックアップを完了するのに十分な空き容量がない場合、ドライブがいっぱいであることを示す警告メッセージが表示されます。

長期的に最良なソリューションは、ドライブを長期のアーカイブストレージとし、以下を実行することです

a. ［ヘルプ］タブをクリックします
b. ［WD ストア］リンクをクリックして Western Digital のオンラインストアの Web サイトを表示します
c. ［外付けハードディスクドライブ］をクリックし、交換用ドライブの予備として最適なドライブを選択します

11. ステップ 10 で［**バックアップの停止**］を選択した場合、［**バックアップを中止しますか?**］という確認プロンプトが表示され、WD SmartWare ソフトウェアによってバックグラウンドでバックアップ ジョブが実行されていることを確認できるため、バックアップ中に他の作業のためにコンピュータを継続して使用することができます。引き続き、以下のいずれかの操作を行ってください。
    - ［**バックアップの継続**］– 一時停止要求を無視してバックアップを再開します
    - ［**バックアップの中止**］– 一時停止要求を実行し、バックアップを中止します
12. コンピュータに複数の内蔵ハードディスクドライブがある場合は、それぞれのハードディスクドライブについてチェックボックスをオンにします

バックアップの復元

WD SmartWare ソフトウェアでは、My Book Live ドライブ上にバックアップされたファイルを簡単に取得して以下を行うことができます。

- コンピュータ上の元の場所

- または -

- 特別な復元フォルダ

復元は通常4つのステップで実行します。

1. ［ホーム］画面で、コンテンツの復元元のドライブを選択します。
2. コンテンツを復元する場所を、特別な復元フォルダ、または元の場所のいずれかから選択します。
3. 復元するコンテンツを選択します（ファイル、フォルダ、あるいはすべて）。
4. コンテンツを復元します。

ファイルの復元

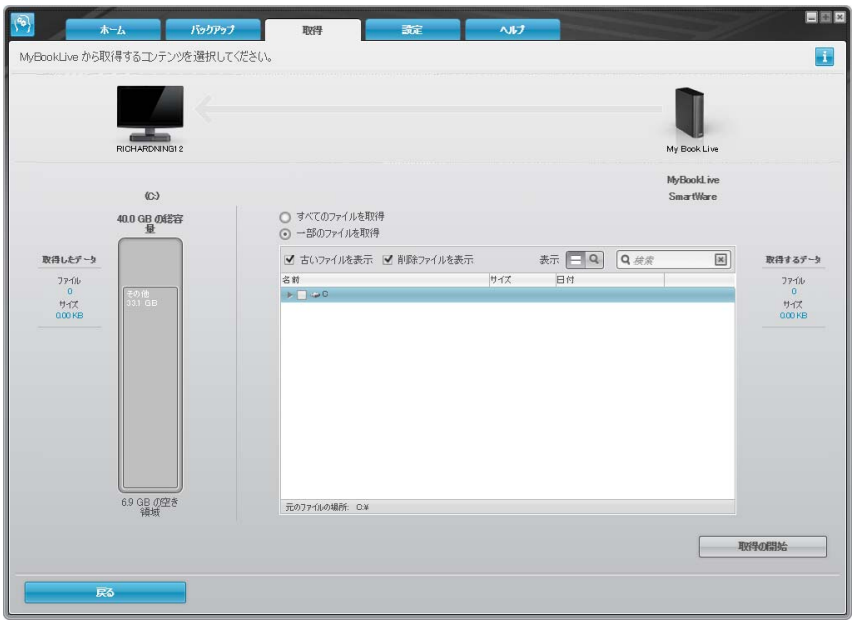
［ホーム］画面でドライブを選択後、My Book Liveドライブからファイルあるいはフォルダ全体を復元することができます。（フォルダの復元の詳細については、「フォルダの復元」p. 35を参照してください）

ドライブからファイルを復元するには、以下の手順を実行します。

1. **［取得］**タブをクリックし、［取得したファイルの保存先を選択してください］画面を表示します。

2. ドライブには他のコンピュータからのバックアップが含まれている場合があります。特定のコンピュータ（ボリューム）からファイルを復元するには、以下の手順を実行します。

a. ［**取得ボリュームの変更**］ボタンをクリックして、［取得元のボリュームを選択してください］画面を表示します。

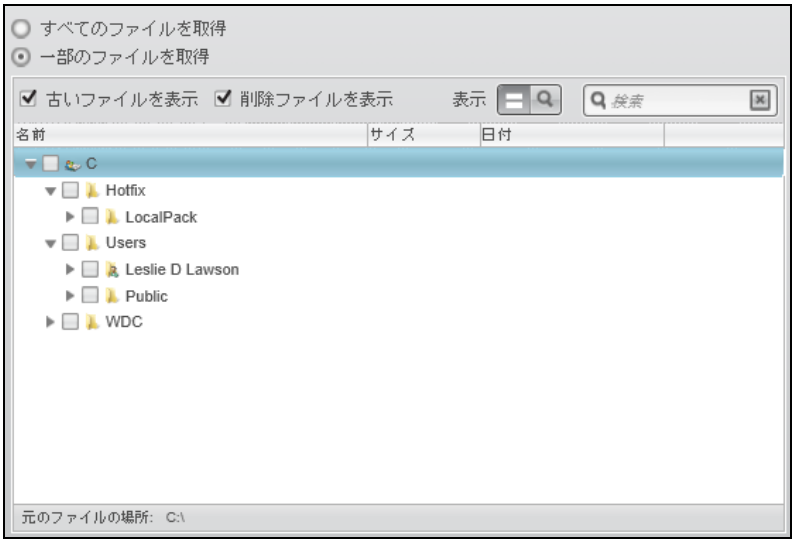


b. 目的のボリュームを選択し、［**次へ**］をクリックします

3. ［復元したファイルの保存先を選択］画面で、次の操作を行います。

目的のコピー先 . . .	**操作 . . .**
元の場所 *ご注意：*異なるコンピュータのバックアップを復元する際には利用できません。	a. ［**元の場所**］を選択します。 b. ［**次へ**］をクリックして［復元するコンテンツの選択］画面を表示します。
復元したコンテンツのフォルダ *ご注意：*復元コンテンツの場所を以前あった場所から変更した場合、以前の場所がバックアップの対象になります。	a. ［**復元したコンテンツのフォルダ**］を選択します。 b. 別の取得フォルダを指定する場合は、［**参照**］をクリックし、新しい取得フォルダを特定します。 c. ［**適用**］をクリックして新しいフォルダを保存し、確定します。 d. ［**次へ**］をクリックして［復元するコンテンツの選択］画面を表示します。

4. ［復元するコンテンツの選択］画面の［**一部のファイルを復元**］を選択し、［一部のファイルを復元］選択ボックスを表示します。



5. フォルダ構造に移動して対象ファイルを見つけます。
   - 適切なファイルカテゴリボタンをクリックして、カテゴリ別にファイルを一覧表示します。
     - 写真
     - 音楽
     - ムービー
     - ドキュメント
     - その他
     - メール
   - ［**表示**］アイコンを選択して、個々のファイルの一覧を表示することができます
   - 検索ボックスにファイル名の全体または一部を入力し、［**Enter**］キーを押して検索を開始します。検索により絞り込まれた状態を解除するには、検索ボックス内のテキストをすべて削除し、［**Enter**］キーを押します
   - 復元したいファイルまたはフォルダのチェックボックスをオンにします
6. ［**復元の開始**］ボタンをクリックします。
7. 復元中の動作：
   - ［復元］画面に、指定した復元場所にコピーされたデータ量を示す進捗バーとメッセージが表示されます。
   - ［**復元のキャンセル**］ボタンを使って、復元を中止することができます
   - 復元が完了すると、［復元完了］メッセージが表示されます。
   - 復元対象に選択したファイルの一部が指定した復元場所にコピーされなかった場合、［部分的復元完了］メッセージが表示されます。メッセージの内容は、次のとおりです。

- ［ファイルは復元されませんでした］メッセージには、復元されなかったファイルの数と、復元の失敗に関する情報を表示する画面へのリンクが表示されます。［**ファイルの表示**］リンクをクリックすると、復元されなかったファイルの一覧と理由が表示されます
- ［保存先はいっぱいです］メッセージは、復元を完了するために必要な空き容量がコンピュータにない場合に表示されます

フォルダの復元

ドライブから 1 つのフォルダ、および（複数のカテゴリを含んでいる可能性のある）1 つのフォルダ内のすべてのコンテンツを取得するには、取得ファイルの選択ボックスで、対象のフォルダを右クリックし、［**すべてのコンテンツカテゴリのフォルダを選択**］を選択します。

ファイルまたは削除されたファイルの古いバージョンを復元する

復元ファイルの選択ボックスで、［**削除されたファイルを表示**］チェックボックスおよび/または［**古いファイルを表示**］チェックボックスをオンにします。これで、復元するコンテンツを選択すると、上書き、あるいは削除された個々のファイルを選択することができます。同様に、この方法でフォルダ全体を復元すれば、古いバージョンおよび削除済みファイルも復元されます。

ご注意：1回の復元につきファイルの1バージョンのみを復元することができます。

コンテンツをすべて復元する

［復元するコンテンツの選択...］画面で、［**すべてのファイルを復元**］を選択すると、すべてのカテゴリにわたるファイルを復元し、それらを元の場所またはコンテンツ復元フォルダのいずれかにコピーします。

復元中の動作：

- ［復元］画面に、指定した復元場所にコピーされたデータ量を示す進捗バーとメッセージが表示されます
- ［**復元のキャンセル**］ボタンを使って、復元を中止することができます
- 復元が完了すると、［復元完了］メッセージが表示されます
- 復元対象に選択したファイルの一部が指定した復元場所にコピーされなかった場合、［部分的復元完了］メッセージが表示されます。メッセージの内容は、次のとおりです
  - ［ファイルは復元されませんでした］メッセージには、復元されなかったファイルの数と、復元の失敗に関する情報を表示する画面へのリンクが表示されます。［**ファイルの表示**］リンクをクリックすると、復元されなかったファイルの一覧と理由が表示されます

- または -

- ［保存先はいっぱいです］メッセージは、復元を完了するために必要な空き容量がコンピュータにない場合に表示されます

WD SmartWareのカスタマイズ

WD SmartWareを使用して、本製品の管理および最高のパフォーマンスを得るためのカスタマイズが簡単に行えます。

- ファイルごとに保持するバックアップバージョンの数を指定する
- ドライブから復元したファイルを格納する独自のフォルダを指定する
- WD SmartWareソフトウェアアップデートを自動的に確認する

［**設定**］タブをクリックし、［設定］画面を表示します。

［設定］画面では、以下のことが行えます。

- My Book Liveのソフトウェア設定を作成および編集
- My Book Liveのドライブ設定を設定

ソフトウェア設定の作成

［**ソフトウェア設定**］ボタンをクリックしてMy Book Liveのデスクトップを開いて、［ソフトウェア設定］をクリックします。［ソフトウェア設定］画面では、次の操作が行えます。

実行する内容 . . .	使用するボタン . . .	参照 . . .
ファイルごとに保存するバックアップバージョンの数を指定する	**ファイル履歴**	「ファイルの履歴」p. 38.
別の復元フォルダへのパスを指定	**復元フォルダ**	「別の復元フォルダを指定する」p. 37.
My Book Live をネットワークに再接続する際にソフトウェア更新をチェックするためのオプションを変更する	**環境設定**	「環境設定（自動更新）オプションの設定」p. 38.

バックアップバージョンの数を指定する

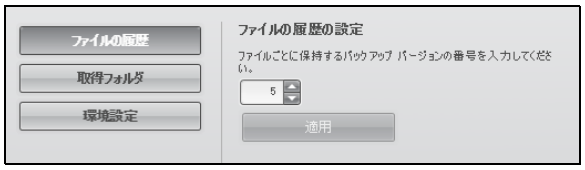
WD SmartWareを使用して、ファイルごとに最大で過去25回の更新履歴をバックアップすることができます。誤ってファイルを上書きしたり、削除してしまった場合でも、また以前のバージョンのファイルを見たい場合でも、WD SmartWareがコピーを保持しています。

より多くのバージョンを保持すると、

- ファイルのより多くのバージョンを保存/復元する能力が向上します
- より多くのディスクスペースを使用します

ファイルごとに保存するバックアップバージョンの数を指定する場合は、次の操作を行います。

1. ［ソフトウェア設定］画面で、［**ファイルの履歴**］ボタンをクリックし、［ファイルの履歴の設定］画面を表示します。



2. ［**ファイルごとに保持するバックアップバージョンの番号を入力してください**］ボックスに、保持するファイルバージョンの数（1～25）を入力します。
3. ［**適用**］をクリックしてバックアップバージョンの新しい数を保存し、確定します。

別の復元フォルダを指定する

復元の開始時に、復元したファイルを次のどちらの場所に保存するかを選択できます。

- コンピュータ上の元の場所

- または -

- 復元されたコンテンツフォルダ

WD SmartWareのデフォルト設定では、［復元したコンテンツ］サブフォルダが、［マイドキュメント］フォルダに作成されます。別のフォルダを指定する場合は、次の操作を行います。

1. 新しいフォルダを作成するか、使用する既存のフォルダを決めます。
2. ［ソフトウェア設定］画面で、［**復元フォルダ**］をクリックし、［復元フォルダの設定］画面を表示します。

3. ［**参照**］をクリックし、参照機能を使って新しい復元フォルダを指定します。

ご注意： すでに復元したコンテンツフォルダのバックアップを行わない場合は、変更を適用する前にそのフォルダを削除します。

4. ［**適用**］をクリックして新しいフォルダを保存し、確定します

環境設定（自動更新）オプションの設定

これを有効にすると、My Book Liveドライブをネットワークに再接続する都度、環境設定オプションにより、ソフトウェアの更新のチェックが実行されます。これにより、常に最新のソフトウェアバージョンを使うことができます。

環境設定オプションの有効、または無効を設定する場合は、次の操作を行います。

1. ［ソフトウェア設定］画面で［**環境設定**］をクリックして［環境設定の設定］画面を表示します。

2. ［**WD SmartWare ソフトウェア アップデートを自動的に確認する**］チェックボックスをオン、またはオフにして環境設定オプションを有効、または無効にします。選択すると、WD SmartWareソフトウェアにより、ダウンロードが利用可能なWDウェブページへのリンクが示されます。

ドライブ設定の作成

My Book Live Duo のドライブ設定の管理方法に関して、詳細は、［**ドライブの設定**］ボタンをクリックして WD Quick View を開きます。（「My Book Liveダッシュボードを使用する」p. 57 を参照してください）

Windows 8のファイルの履歴機能の使用

My Book LiveへのバックアップをWD SmartWareソフトウェアを使用しない場合は、ファイルの履歴機能を使用することができます。

ファイルの履歴

ファイル履歴機能は自動的にメディアファイル、ドキュメント、メール、およびその他の個人ファイルをMy Book Liveドライブにバックアップします。ファイルの消失、またはシステムのクラッシュが発生しても、簡単にファイルをWindowsに復元できます。Windows 8の履歴機能の詳細については、Microsoftのマニュアルをご覧ください。

Windows 8のファイル履歴

1. ［スタート］から［**デスクトップ**］をクリックします。
2. ツールバーで［**エクスプローラ**］をクリックします。
3. ［**コンピュータ**］を選択します。
4. リボンメニュー（ページの最上部）で、［**コンピュータ**］>［**コントロール パネルを開く**］を選択します。

5. ［システムとセキュリティ］の［**ファイルの履歴でファイルのバックアップコピーを保存します**］を選択します。
6. ［ファイル履歴］画面で、ファイル履歴が［**オン**］に設定されていることを確認します。
   - ファイル履歴がオフの場合は、［**オンにする**］ボタンをクリックします。
7. 右側のパネルで、［**ドライブの選択**］を選択します。ファイル履歴機能によって、My Book Liveデバイスが検出され、ファイル履歴の選択ドライブ(Select a File History drive)リストにリストアップされます。
8. ドライブを選択して［**OK**］をクリックします。ファイル履歴機能によってデータのバックアップが自動的に開始されます。
   - すぐにバックアップを開始する場合は［**今すぐ実行**］をクリックします。

Windows 7/Windows Vistaバックアップ機能を使用する

My Book LiveへのバックアップをWD SmartWareソフトウェアを使用しない場合は、Windows バックアップ機能を使用することができます。または、Apple Time Machineを使用することができます。

Windowsバックアップ

Windows Vista（Business、Ultimate、Home Premium、Enterpriseバージョン）およびWindows 7（ProfessionalおよびUltimateバージョン）のWindowsバックアップ機能を使用して、メディアファイル、ドキュメント、メール、その他の個人用ファイルをMy Book Liveにバックアップすることができます。ファイルの消失、またはシステムのクラッシュが発生しても、簡単にファイルをWindowsに復元できます。Windowsバックアップの詳細については、Microsoftのマニュアルをご覧ください。

Windows Vistaバックアップ

1. をクリックし、［**コントロールパネル**］をクリックします。
   - ［新しいハードウェアの検出］画面が表示された場合、［**キャンセル**］ボタンをクリックします。
2. ［**コントロール パネル**］> ［**システムとメンテナンス**］> ［**コンピュータのバックアップ**］をクリックし、ウィザードの手順に従います。
3. バックアップを保存する場所を選択するダイアログが表示されたら、［**ネットワークに保存**］をクリックします。
4. ［**参照**］をクリックし、**My Book Live**ドライブを選択します。
5. バックアップを作成したい共有を選択し、［**OK**］をクリックします。
6. My Book Liveのユーザー名に割り当てられているユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名が割り当てられていない場合、「**everyone**」をユーザー名として入力し、任意のパスワード（たとえば、「1234」）を入力します。［**OK**］をクリックします。
7. ウィザードの手順に従って操作を行います。

Windows 7バックアップ

1. > [**コントロール パネル**] > [**システムとセキュリティ**] をクリックします。
2. [**バックアップと復元**] をクリックします。
3. [**バックアップの設定**] をクリックし、ウィザードの手順に従って操作を行います。
4. バックアップを保存する場所を選択するダイアログが表示されたら、[**ネットワークに保存**] をクリックします。
5. [**参照**] をクリックし、バックアップ先としてMy Book Liveドライブを選択します。
6. バックアップを作成したい共有を選択し、[**OK**] をクリックします。
7. My Book Liveのユーザー名に割り当てられているユーザー名とパスワードを入力します。（p. 77 を参照してください）
8. バックアップの保存先が正しいことを確認し、[**次へ**] ボタンをクリックします。
9. バックアップするコンテンツを選択するダイアログが表示されたら、[**自動選択**] を選択するか、または希望するコンテンツを選択し、[**次へ**] ボタンをクリックします。
10. [バックアップ設定の確認] 画面で [**設定を保存してバックアップを実行**] をクリックします。

Apple Time Machineを使用する

バックアップ

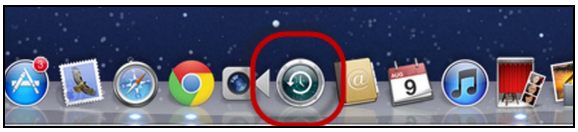
Apple Time Machineは、Mac OS X Mountain Lion、Lion、Snow Leopard、およびLeopardに内蔵されている機能で、コンピュータ上のあらゆるファイル（音楽、写真、書類、アプリケーション、電子メールからシステムファイルまで）をバックアップすることができます。My Book Liveドライブでこれらのバックアップを保存することができるので、ハードディスクドライブやオペレーティングシステムがクラッシュしたり、ファイルが消失しても、簡単操作で復元することができます。

また、Time Machineに割り当てる最大容量を指定することもできます（「Mac Backups (Mac OS)」（p. 68）を参照してください。）

Time Machineを設定

Time MachineでMy Book Liveにファイルをバックアップする設定を行う場合は、以下の操作を行います。

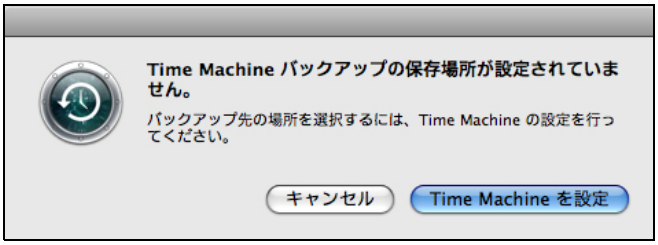
1. 以下の方法のいずれかを使って、Time Machineを開きます。
   - DockでTime Machineアイコンをクリックする



   - [**Appleメニュー**] > [**システム環境設定**] を順に選択し、[**Time Machine**] を選択する

- ［**移動**］>［**アプリケーション**］を順に選択し、［**Time Machine**］を選択する

2. 初めてバックアップを作成する場合、次のような画面が表示されます。



［**Time Machineの設定**］をクリックして、Time Machine環境設定画面を表示します。

3. ［**バックアップディスクを選択**］をクリックし、バックアップを保存したいMy Book Liveドライブを選択します。

4. ［**バックアップに使用**］をクリックします。ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

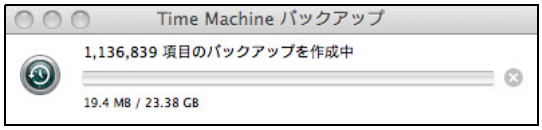
5. ［**ゲスト**］を選択し、［**接続**］をクリックします。

6. 環境設定画面に戻ります。

7. 自動バックアップを開始するには、スライダーを［**入**］に移動してください。

8. Time Machine ドロップダウンメニュー アイコン を画面上部のメニューバーに追加するには、［**Time Machine の状況を メニューバーに表示**］チェックボックスを選択します。アイコンからメニューを表示して、バックアップを開始する、Time Machineに入ってファイルを復元する、またはTime Machine環境設定画面を開くなど、様々な操作が行えます。

スライダーを「入」に移動すると、Time Machineがファイルのバックアップを開始します。初めての場合は少し時間がかかりますが、次回からは、新規項目、または変更項目のみをバックアップするので、時間が短縮されます。ステータスバーにバックアップの進捗状況が表示されます。



Time Machineはコンピュータを毎時間バックアップし、以下のバックアップセットを保持します。

- 過去24時間の1時間ごとのバックアップ
- 過去1ヶ月の1日ごとのバックアップ
- 毎週のバックアップ（My Book Liveドライブがいっぱいになるまで）

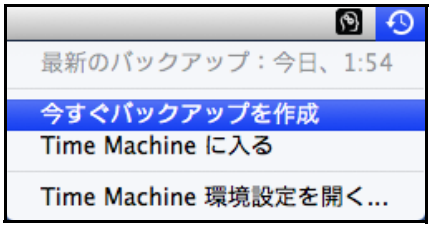
ご注意：コンピュータがスリープモードに入った場合、My Book Liveドライブの接続が切断されたなどの理由でバックアップが中断された場合、コンピュータが使用可能になるとバックアップ処理が自動的に再開します。

My Book Liveの名前を変更すると、以前に設定したTime Machineのバックアップ遅延、またはバックアップ失敗が生じます。この問題を解決するには、Time Machine 環境設定画面でドライブを選択し直してバックアップを再開します。

使用可能な容量、最新/最古の日付、次のバックアップなどの情報を表示するには、Time Machineドロップダウンメニューで［**Time Machine環境設定を開く**］を選択します。

バックアップの開始

すぐにバックアップを開始する場合は、ドロップダウンメニューから［**今すぐバックアップを作成**］を選択します。



ご注意：Time Machineバックアップを削除する場合は、My Book Liveダッシュボードを使用します（「セーフポイントを使用したMy Book Live ドライブのバックアップ」p. 86 を参照してください）

バックアップされた項目の復元

My Book Liveドライブにバックアップしたファイルやその他の項目を復元する場合（ファイルが損傷した場合、1週間前のファイルを見たい場合など）、個別の項目、複数の項目、または共有を復元することができます。また、システムがクラッシュした場合は、ハードディスクドライブ全体を復元することもできます。

バックアップ済みの項目をハードディスクドライブに復元する場合は、以下の操作を行います。

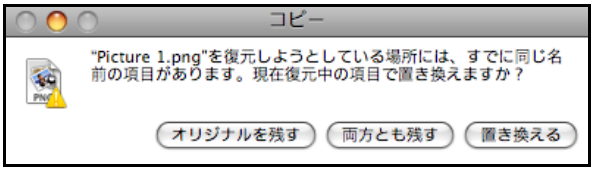
1. コンピュータ上の項目を復元したい場所でウィンドウを開きます。たとえば、書類を復元する場合は、［書類］フォルダを開きます（デスクトップに項目を復元する場合は、ウィンドウを開く必要はありません）。

2. Dock で［Time Machine］アイコンをクリックするか、ドロップダウンメニューから［**Time Machine に入る**］を選択します。

すべてのバックアップがカスケード表示され、最新のバックアップ項目が最前面に表示されます。

3. 矢印、または画面の右側にあるタイムラインをクリックして、Time Machine で作成したバックアップすべてをブラウズします

4. 復元したい項目を選択し、右下にある［**復元**］ボタンをクリックすると、コピー メッセージが表示されます。



5. 目的の操作のボタンをクリックします。
   - **オリジナルを残す** – バックアップドライブから項目を復元しない
   - **両方とも残す** – オリジナルの項目を残し、バックアップ済み項目をコンピュータ上の選択した場所に追加する
   - **置き換える** – バックアップ済み項目をオリジナル項目と置き換える

ご注意：Finder で、バックアップしたドライブの名前と「バックアップ」という単語を含むフォルダを確認することができます。これは自動的に作成される保護フォルダで、すべてのバックアップが保管されています。Time Machine でバックアップを保管するほかに、ユーザーがこのフォルダを使用することはありません。このフォルダにアクセスしようとすると、「接続に失敗しました」メッセージが表示されます。

5

ドライブの管理 WD Quick View

WD Quick View をインストールする（Windows のみ）
WD Quick View ショートカットオプションへのアクセス
ドライブステータスをチェックする
WD SmartWare を起動する（Windows のみ）
WD SmartWare を安全に終了する（Windows のみ）
共有を開く
My Book Live ダッシュボードを起動する
ドライブをマップする（Windows のみ）
パブリック共有のショートカットを作成する （Windows のみ）
ドライブのプロパティを表示する
安全にシャットダウンする
アラートを監視する
WD Quick View アイコンをアンインストールする

WD Quick View をインストールする（Windows のみ）

WD Quick View は、Mac OS X のメニューバーに、WD Quick View アイコンをインストールします。このアイコンを使用して WD SmartWare を起動したり、ドライブステータスを素早くチェックするなどの重要な機能を実行することができます。Windows 用のアイコンは、青色です。Mac 用のアイコンは、黒色です。これらのアイコンを使用してこの章で説明するタスクを迅速かつ簡単に実行することができます。

ご注意： Windows の場合、WD SmartWare をインストールする際に WD Quick View アイコンが Windows システムトレイにインストールされます。「WD SmartWare のインストール」（p. 23）を参照してください。

WD Quick View のアイコンをインストールする場合は、次の操作を行います。

1. オンラインラーニングセンター *http://www.wd.com/setup* にアクセスします。

2. ［**My Book Live**］を選択します。

3. ［**ソフトウェアのダウンロード**］ボタンをクリックし、［インストールのダウンロード］画面を表示します。

4. ［WD Quick View］ボックスで、［**ダウンロード**］をクリックします。
5. Mac にダウンロードした ZIP ファイルを解凍します。
6. 「WD Quick View Setup」ファイルをダブルクリックします。
7. 表示された Quick View インストーラ – 画面に従って、操作を行います。

WD Quick View ショートカットオプションへのアクセス

Windows の場合：

1. システムトレイ内のWD Quick Viewアイコン を右クリックまたは左クリックして、メニューを表示します。
2. マウスポインタをアイコン上に重ねるか、アイコンをクリックして My Book Live ドライブを選択すると、サブメニューが表示されます。

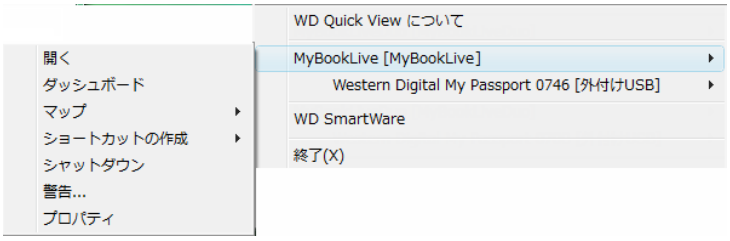


図 1 Windows WD Quick View **メニュー**

3. 目的のオプションを選択します。

Mac OS X の場合

1. メニューバーの WD Quick View アイコン をクリックすると、メニューが表示されます。
2. My Book Live の名前の上にポインタを重ねると、サブメニューが表示されます。

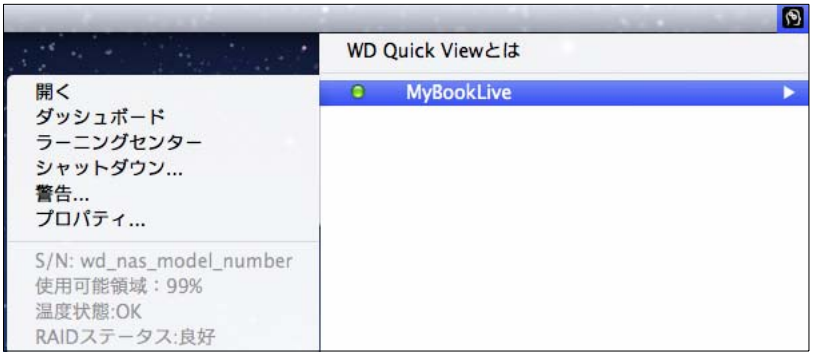


図 2 Mac OS X WD Quick View **メニュー**

3. 目的のオプションを選択します。

ドライブステータスをチェックする

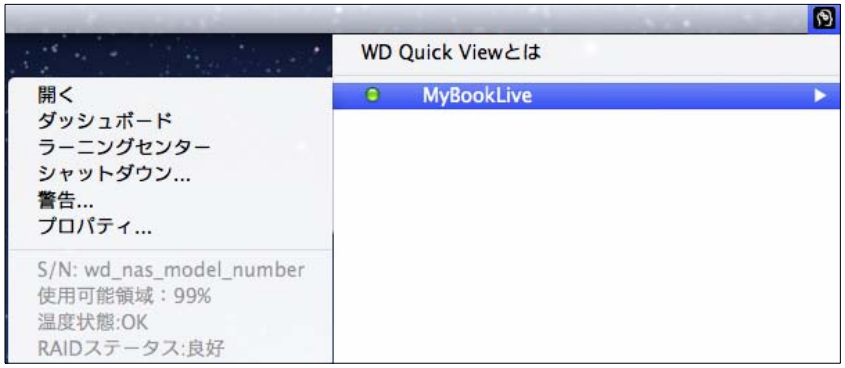
Windows の場合：

システムトレイの WD Quick View アイコン の上にポインタを重ねると、ドライブの使用済み容量とドライブ温度が表示されます。

- ドライブ名の隣にある緑色の点は、ドライブが正常に動作していることを示します。
- ドライブ名の隣にある赤色の点は、異常な高温など、ドライブに問題が発生していることを示します。

Mac OS X の場合

メニューバーの WD Quick View アイコン をクリックし、My Book Live ドライブの名前の上にカーソルを移動します。サブメニュー下にドライブステータスが表示されます。



WD SmartWare を起動する（Windows のみ）

WD SmartWare がインストールされている場合、WD Quick View メニューの［**WD SmartWare**］を選択すると、WD SmartWare の［ホーム］画面が表示されます。

WD SmartWare を安全に終了する（Windows のみ）

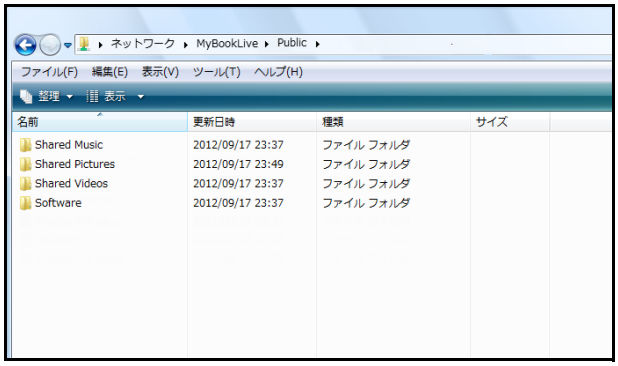
WD Quick View メニューの［**WD SmartWare の終了**］を選択すると、アプリケーションが終了します。（このオプションは、WD SmartWare を実行している場合にのみ表示されます）。

共有を開く

WD Quick View を使用して、アクセス権限があるドライブのパブリック共有およびプライベート共有を開くことができます。

1. WD Quick View サブメニューから［**開く**］を選択します。

   Windows の場合：共有が Windows エクスプローラに表示されます。



   Mac OS X の場合：パブリック共有のコンテンツが、Finder に表示されます：

   ご注意： ドライブ上の共有をすべて表示する場合は、［共有］の下に表示された［My Book Live］をクリックします。

2. 表示したい共有を選択します。

   Windows の場合：プライベート共有の場合、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、My Book Live ダッシュボードのユーザーアカウントとパスワードを入力します（「ユーザーの作成」p. 77 を参照してください）。ダッシュボードのユーザー名とパスワードがコンピュータへのログイン用のものと同じ場合、ここでユーザー名 / パスワードを入力する必要はありません

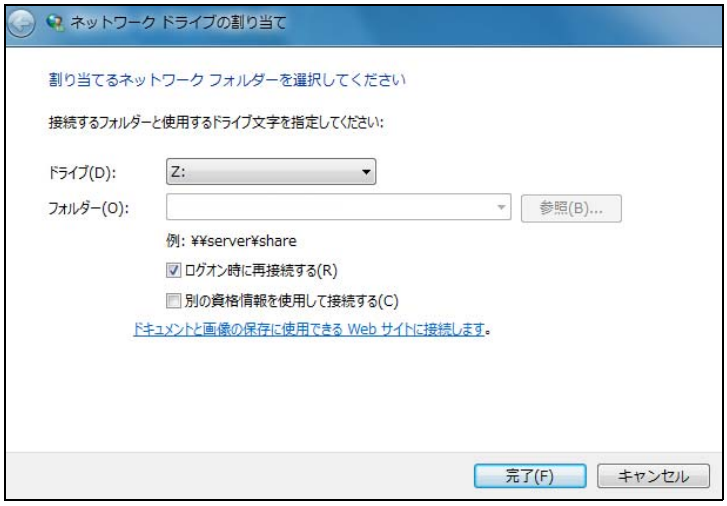
   Mac OS X の場合：プライベート共有の場合、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、My Book Live ダッシュボードのユーザーアカウントとパスワードを入力します（「ユーザーの作成」p. 77 を参照してください）。パブリック共有の場合、ユーザー名とパスワードの入力を促すプロンプトが表示されたら、［**ゲスト**］を選択します。

My Book Live ダッシュボードを起動する

WD Quick View サブメニューの［**ダッシュボード**］を選択すると、アプリケーションが起動します。［ようこそ］画面が表示されます（「My Book Live ダッシュボードを使用する」p. 57 を参照してください）

ドライブをマップする（Windows のみ）

1. WD Quick View サブメニューの［**「My Book Live 名」を割り当てる**］を選択します。［ネットワークドライブの割り当て］画面が表示されます。



2. ［**ドライブ**］ドロップダウンリストから、希望する文字を選択します。
3. ［**完了**］ボタンをクリックします。

ご注意：再起動後、マッピングされたネットワークドライブに Windows が再接続を試みると、「マッピングされたネットワークドライブに再接続できません」というエラーが表示される場合があります。これは、My Book Live ドライブのユーザー名とパスワードと、現在の Window のユーザー名とパスワード情報が一致しない場合に起こります。

自動的な再接続プロセスの際に、Windows は設定時に指定された My Book Live のユーザー名とパスワードではなく、現在の Window のユーザー名とパスワードの送信している可能性があります。マッピングされたネットワークドライブを開こうとすると、新しいログインウィンドウが開きます。My Book Live のユーザー名とパスワードを入力して共有に再接続します。これにより（次の再起動まで）再びアクセス可能になります。この問題の詳細については、WD ナレッジベースの回答 ID 6745 を参照してください。

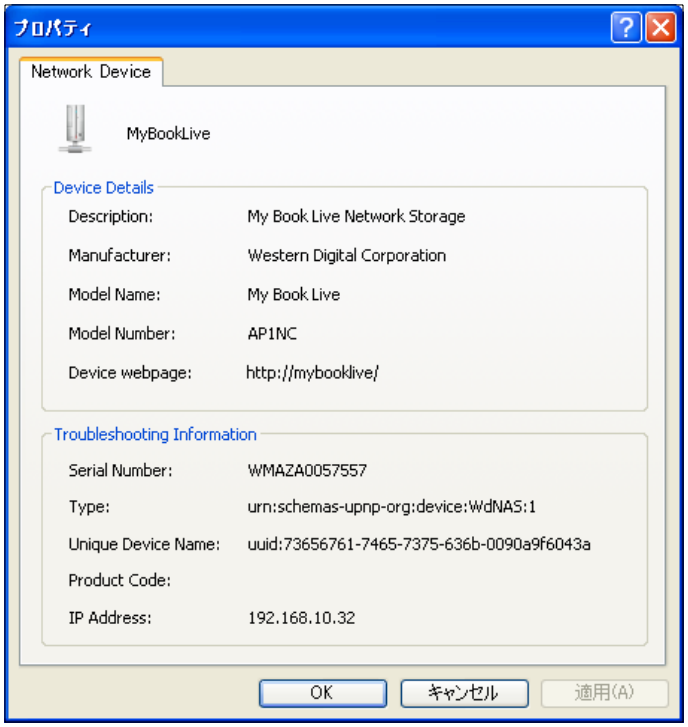
パブリック共有のショートカットを作成する（Windows のみ）

ご注意：Mac OS X ではパブリック共有のアイコンがデスクトップに自動的に表示されます。任意のサブ共有のエイリアスを作成できます。（「Mac OS X を使用する場合」p. 19 を参照してください）

WD Quick View サブメニューの [**ショートカットの作成**] を選択します。パブリック共有を示すアイコンがデスクトップに表示されます。

ドライブのプロパティを表示する

WD Quick View サブメニューの［**プロパティ**］を選択すると、［プロパティ］画面が表示されます。



Windows **の** My Book Live **プロパティ**

Mac OS X の My Book Live **プロパティ**

安全にシャットダウンする

My Book Live ドライブを安全に再起動したりシャットダウンするには、WD Quick View のアイコンを使用することをおすすめします。

ご注意：または、ダッシュボードを使用することをおすすめします以降の操作については、「再起動/ シャットダウン」p. 72 を参照してください 推奨されるいずれの方法を使用してもこのユニットをシャットダウンできない場合は、「My Book Live を安全にシャットダウンするにはどのようにすればいいですか？」p. 128 を参照してください。

重要： シャットダウンを行う前に、ファイルが転送中ではないことを確認してください。ドライブの前面にある LED をチェックし、点滅していないことを確認してください。点滅は、本製品が情報を処理していることを示します（たとえば、ファイルのバックアップや移動など）

警告！　シャットダウン中にドライブのプラグを取り外さないでください

1. WD Quick View サブメニューの［**シャットダウン**］を選択すると、［WDSmartWare のシャットダウン］画面が表示されます。

2. 管理者のパスワードを入力するか、あるいは空欄のまま、[**OK**] ボタンをクリックします。ドライブがシャットダウンします。

アラートを監視する

アイコンの点滅およびバルーンアラート

Windows と Mac の両システムでは、ドライブが過熱している可能性がある場合、またドライブに障害が発生している可能性がある場合に WD Quick View アイコンが点滅してそのことを知らせます。Windows ではバルーンアラートも表示されます。

ご注意： ドライブが高温になっている場合、ドライブの電源を切って、60 分間冷却してください。電源を再びオンにした後、状態が改善されない場合は、WD サポートにご連絡ください

WD Quick View アラートオプション

WD Quick View サブメニューのオプションでは以下のようなアラートが表示されます。

- ドライブは最大容量に達しています
- ドライブはいっぱいで、以降のバックアップは行うことができません（スペースが利用できるようになるまで 5 分 ごとに表示されます）
- 更新が利用できます

ドライブのアラートを表示するには、以下の操作を行います。

1. ご使用のデバイスを選択して、WD Quick View サブメニューの［**アラート**］を選択すると、1 つまたは複数のアラートが表示されます。複数のアラートが時系列で編成されます。

2. アラートパネルを閉じる場合は、［**終了**］をクリックします。

図 3 Windows **のアラート**

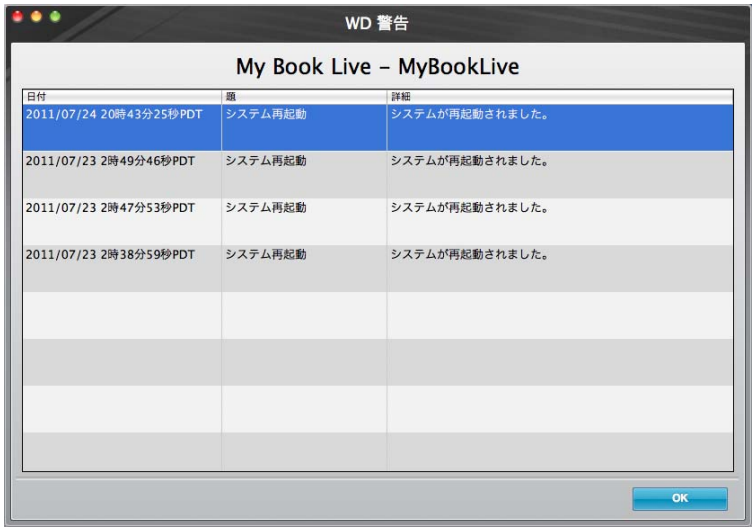


図 4 MacOS X **のアラート**

Mac OS の場合、閉じるには［**OK**］ボタンをクリックします。

WD Quick View アイコンをアンインストールする

Windows の場合：

Windows XP の場合は、［**スタート**］>［**コントロールパネル**］>［**プログラムの追加と削除**］**を順に選択し、**［uninstall WD SmartWare］（SmartWare のアンインストール）をクリックします。

Windows Vista/Windows 7 の場合 > ［**コントロール パネル**］>［**プログラムと機能**］をクリックして、WD Smartware をアンインストールします。

これでシステム トレイには WD Quick View アイコン は含まれません。

WD Quick View のアンインストールの詳細については、WD ナレッジベースの回答 ID 5373 を参照してください。

Mac OS X の場合

1. デスクトップで［お気に入り］から［**アプリケーション**］を選択し、［**Finder**］をクリックします
2. 画面右側のアプリケーションリストから「**WD Quick ViewUninstaller**」をダブルクリックします。
3. ［**続行**］をクリックします。［ログイン］画面に Mac ユーザー名が表示されます。
4. Mac パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
   メニューバーから WD Quick View アイコンが削除されます。

6

My Book Liveダッシュボードを使用する

My Book Live ダッシュボードを起動する
My Book Live ダッシュボードを起動する
ダッシュボードのコンポーネントについて理解する
カスタマーサポートを利用する
使用を開始する

My Book Liveダッシュボードを使用して設定を行い、使用方法に応じてMy Book Liveを管理することができます。たとえば、ユーザーアカウントの設定、My Book Liveドライブでのファイルのアクセス制限、ファイル保存のためのフォルダの設定、必要に応じたドライブのカスタマイズなどを行うことができます。

この章では、My Book Liveダッシュボードとその操作方法について説明します。

My Book Live ダッシュボードを起動する

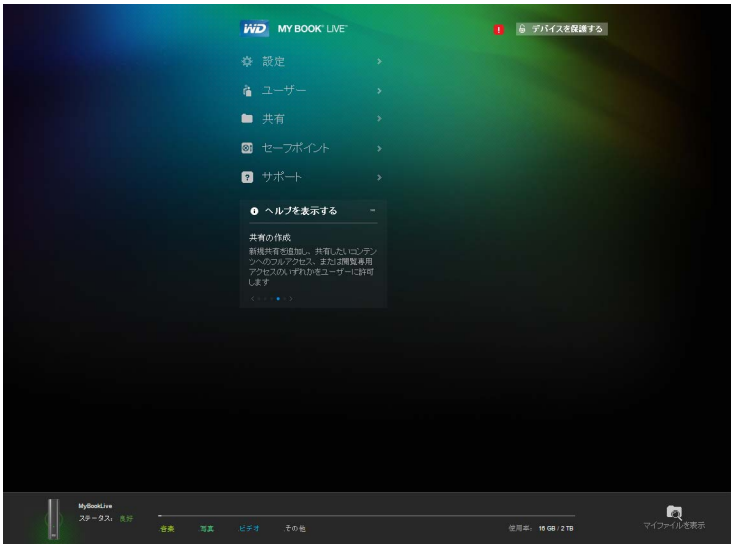
以下のいずれかの方法で、ダッシュボードを起動することができます。

起動元 . . .	**操作 . . .**
ダッシュボードデスクトップアイコン	• デスクトップにあるダッシュボードアイコンをダブルクリックします。 *ご注意：* オンラインセットアップソフトウェアウィザードの最後の画面で［ショートカットを作成する］チェックマークをオンにした場合、デスクトップにダッシュボードアイコンが表示されます。
ブラウザまたは Windows エクスプローラ	1. My Book Live の名前または IP アドレス（または URL）をアドレス欄に入力します。 http://mybooklive 2. **［移動］**をクリックします。
WD Quick View アイコン	1. WD Quick View アイコンを左クリックまたは右クリックします。 2. My Book Live を選択して、**［ダッシュボード］**を選択します。
Windows 8	1. ツールバーで［ファイルエクスプローラ］アイコンをクリックします。 2. 左のパネルで、**［ネットワーク］**を選択します。 3. 右側のパネルで、ストレージの下の My Book Live ドライブを確認します。 4. ドライブをダブルクリックするか、右クリックメニューから**［デバイスのウェブページを表示］**を選択します。
Windows 7/Vista	**1.** **>［コンピュータ］**の順に選択します。 2. 左側のパネルで、**［ネットワーク］**を選択します。 3. 右のパネルで、［ストレージ］の下に表示された My Book Live ドライブに移動します。 4. ドライブをダブルクリックするか、右クリックメニューから**［デバイスのウェブページを表示］**を選択します。

起動元 . . .	操作 . . .
Windows XP	1. ［**スタート**］ > ［**マイネットワークプレース**］を順に選択します。 2. My Book Live ドライブに移動します。 3. ドライブをダブルクリックするか、右クリックメニューから［**起動する**］を選択します。
My Book Live セットアップアプリケーション	• セットアップウィザードの最後のページで、［**ダッシュボード**］を選択します。
Mac OS X	1. Safari アイコン > ブックマークアイコン > **Bonjour** を順にクリックします。 2. ネットワーク上の My Book Live ドライブをダブルクリックします。

My Book Live ダッシュボードを起動する

1. 「My Book Live ダッシュボードを起動する」p. 57で説明されているオプションの1つを使用して、My Book Liveダッシュボードにアクセスします。



画面のオプションを選択すると、ナビゲーションパネルが左にスライドし、選択したオプションの画面が表示されます。

ダッシュボードのコンポーネントについて理解する

典型的な My Book Live ダッシュボー ドページでは、情報の表示や入力を行うための各オプションと、サポートや通知を提供します。

番号	項目	詳細
1	デバイス名	My Book Live ドライブの名前。デフォルト名を自分の好きな名前に変更できます（「一般」p.64 を参照してください）
2	アラートアイコン !	すべてのメッセージおよびアラートのドロップダウンリストを表示または非表示にします
3	アラートとイベントリスト	すべてのメッセージとアラートを表示します。必要に応じて、右隅の [X] をクリックして個々のアラートを閉じます
4	デバイス / ログアウトを保護する	必要に応じて、ユーザー名とパスワードを入力することができます。My Book Live ダッシュボードへのアクセスにパスワードを使用する場合、ログアウトリンクが表示されます
5	ナビゲーションパネル	マウスをリンクの上にのせると、画面に関する情報が表示されます。クリックすると、関連付けられている画面が表示されます
6	サポート	製品ドキュメント、ユーザーフォーラム、FAQ、カスタマーサポート問い合わせフォームに対するリンクを提供します

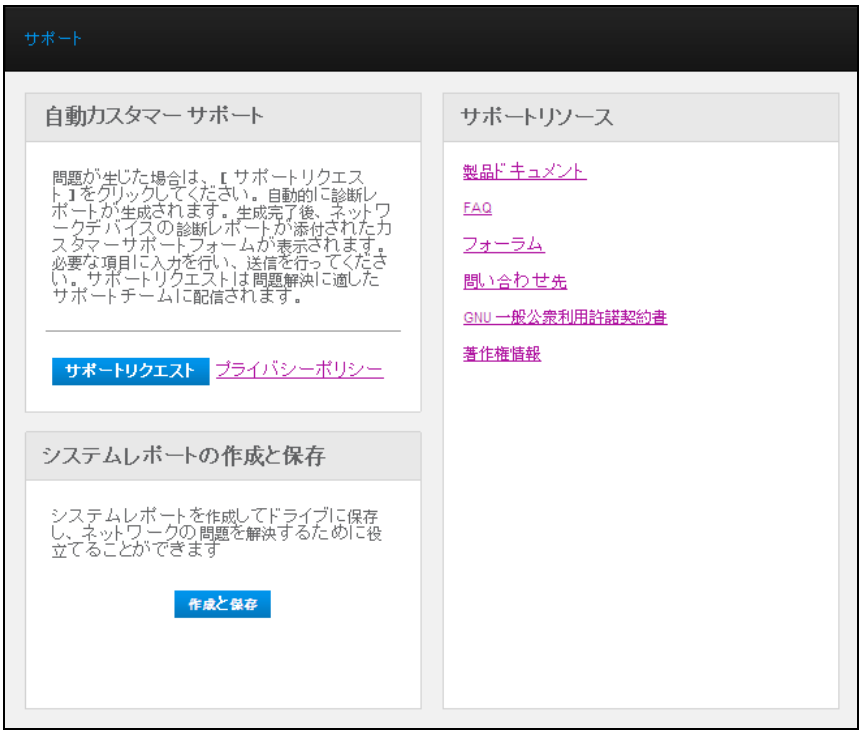
番号	項目	詳細
7	問題の解決	リストを下にスクロールすると示される各タスクの実行に関する情報を表示します。「**+**」または「**−**」記号により、スクロール表示を行ったり非表示にすることができます タスクの下の青色の点の横にある、戻りを示す **<** 矢印と次へを示す **>** 矢印をクリックして各タスクに移動します。
8	**>** または **V** ボタン	セクションの内容を表示または非表示にします
9	デバイス使用ドック	デバイス名、保存されているファイルの種類に関する情報、現在使用済みの容量、システムステータスを表示します
10	マイファイルを表示	このアイコンをクリックして、ご使用のデバイスの Public フォルダを表示します。
*	処理中アイコン	システムが情報を処理（例：設定の保存）しているときに表示されます
*	ツール チップ アイコン	一部の項目の右側に表示されます 自動アップデート： 有効にする（自動再起動を設定） アイコンの上にマウスを移動すると簡単な説明が提供されます

** 画面例には示されていません。*

カスタマーサポートを利用する

サポートページを開くには、以下の操作を行います。

1. ナビゲーション パネルの［**サポート**］オプションをクリックすると、サポート ページが表示されます。



カスタマーサポートへのログファイルの送信

My Book Liveドライブに問題が発生した場合は、サポートページのオンラインフォームに記入してログを生成し、それをWDのカスタマーサポートチームに送信します。また、システムログを手動で生成し、それを保存するかまたはメールで送信することもできます。

- システムレポートを実行して、自動的に WD カスタマーサポートに送信する場合は、以下の操作を行います。
  - ［**プライバシーポリシー**］をクリックし、WDのプライバシーポリシーを確認します。
  - ［**サポート リクエスト**］ボタンをクリックします。
  - WDナレッジベース（*http://support.wdc.com*）にサインインします。アカウントを持っていない場合は、事前にアカウントを取得してください。
  - リクエストを完了し、送信します。
- システムレポートを手動で実行し、保存するには、［**作成と保存**］をクリックします。次にそれをコンピュータに保存します。必要に応じて、それをWDカスタマーサポートにメールで送信します。

その他のサポートを利用する

- 最新のユーザーマニュアルを入手する場合は、［**製品ドキュメント**］をクリックします。
- よくある質問に対する回答、トラブルシューティングの手順を表示する場合は、［**FAQ**］をクリックします。
- My Book Liveに関するフォーラムに参加するには、［**フォーラム**］リンクをクリックします。
- WD　の電話番号やその他の問い合わせ先を表示する場合は、［**問い合わせ先**］をクリックします。

使用を開始する

以降の章では、My Book Liveダッシュボードを使用するための手順について説明します。以下の表は、一般的な操作手順に関する参照先を記載しています。

操作方法	参照
カスタマー サポートの支援を要請する	p. 61
ドライブをネットワーク上にセットアップする	p. 69
ドライブの設定を行う	p. 63
My Book Live ファームウェアを更新する	p. 65
ユーザーを作成する	p. 77
ユーザーのパスワードを変更する	p. 80
共有を作成する	p. 82
プライベート共有にアクセスする	p. 84
セーフポイントの作成や復元を行って My Book Live をバックアップする	p. 86
My Book Live をシャットダウンまたは再起動します	p. 72
リモートアクセスを有効または無効にする（WD Photos および WD 2go）	p. 97
メディア サーバーを有効または無効、または使用する	p. 112

7

基本的な設定

システムの設定
ネットワークの設定
ユーティリティの設定
リモートアクセスの設定
メディアサーバーの設定

管理者は設定オプションを使用して、ドライブのシステム、ネットワーク、ユーティリティ、リモートアクセス、メディアの各設定の表示およびカスタマイズができます。

システムの設定

以下の手順で、設定の各オプションを選択します。

1. ナビゲーションパネルで［**設定**］をクリックして、以下のタブが表示された画面を表示します。［**システム**］、［**ネットワーク**］、［**ユーティリティ**］、［**リモート アクセス**］、および［**メディア**］［**設定**］は青色でハイライトされます。

2. ［設定］画面には、展開表示が行えるセクションがあります。［**一般**］、［**日付と時間**］、［**アップデート**］、［**アラートとイベント通知**］、［**省エネ機能**］、および［**バックアップ設定**］セクションを表示または非表示にするには、セクション名の横にある矢印をクリックするか、またはセクション名自体をクリックします。

一般

ドライブ名と説明の表示と修正、ウェブページで表示する言語の選択、ストレージスペース使用率の表示、ドライブの登録を行う場合は、［一般］セクションを使用します。

警告！　My Book Live の名前を変更すると、すべてのネットワークコンピュータは強制的にその共有ネットワークリソースをマッピングし直します。必要に応じて、デバイス名を変更してください。

1. 以下の設定の表示または修正を行います。

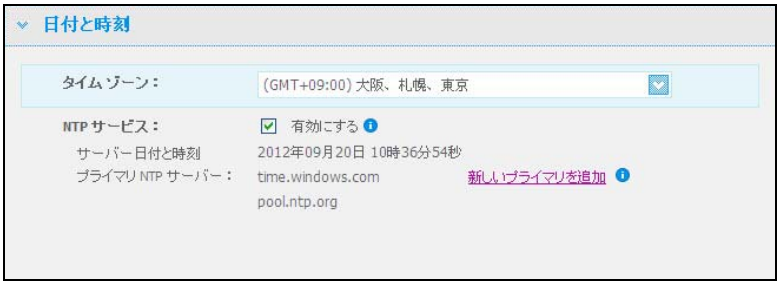
デバイス名	ネットワーク上で識別できるように、他と重複のないドライブの名前を入力します
デバイスの説明	初期設定の説明は「My Book Live」です。必要に応じて異なる説明を入力します
言語	ドロップダウンリストから、My Book Live ウェブページの表示に使用する言語を選択します。初期設定の言語は英語です
シリアル番号	装置を識別するために WD が割り当てた番号を表示します
使用率	使用済みのストレージ容量と全体のストレージ容量を表示します
保証登録	［**今すぐ登録**］をクリックすると、ドライブを登録するための画面が表示されます

2. 設定の変更を行った場合は、セクションの下に表示される［**保存**］をクリックします。

ご注意：My Book Live ダッシュボード全体を通じて、設定の変更を行った場合にのみ、［保存］と［キャンセル］が表示されます。

日付と時刻

日付と時刻は、初期設定で、NTP（ネットワークタイムプロトコル）サーバーと同期しています。日付と時刻の手動設定も、NTPサービスがインターネットにアクセスして自動的に時刻を設定する方法も選択できます。インターネットに接続していない場合は、日付と時刻を手動で入力する必要があります。



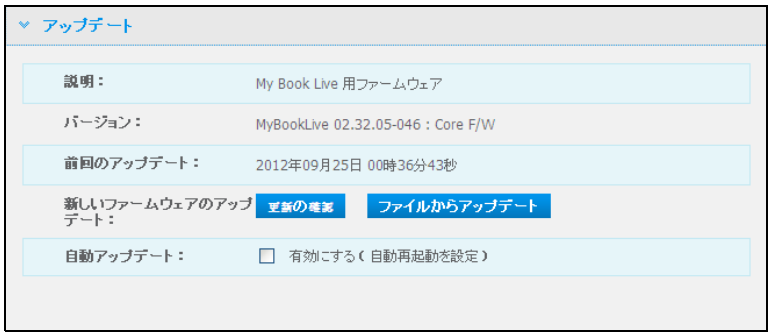
1. 以下の設定の表示または修正を行います。

タイムゾーン	ドロップダウンリストから、ドライブが置かれている場所のタイムゾーンを選択します
日付と時刻	ドロップダウンリストから、現在の月、日、年を選択します
NTP サービス	チェックボックスをオンにして NTP サービスを有効にすると、自動的にドライブと同期し、日付と時刻が更新されます 別のプライマリ NTP サーバーに変更したい場合は、[**新しいプライマリを追加**] をクリックし、新しいプライマリサーバーの URL アドレスを入力します

2. 設定の変更を行った場合は、[**保存**] をクリックします。

アップデート

[アップデート] セクションでは、ファームウェアの自動更新または手動によるアップデートファイルのチェックをドライブに設定することができます。



My Book Liveダッシュボードファームウェアの説明、現在のバージョン番号、最終アップデート日付が表示されます。

重要： 電源をオンにした後、My Book Live ドライブの起動が完了するまで（約 3 分間）お待ちください。起動が完了すると LED の点滅が停止し、LED が緑に点灯（通常）、または青に点灯（スタンバイ）します。

更新の確認

新しいファームウェアが利用可能かどうかを手動でチェックする場合、または新しいファームウェアを任意にインストールする場合は、以下の操作を行います。

1. [**更新の確認**] をクリックします。「確認中」メッセージが表示されます。アップデートが検出されたら、[**OK**] をクリックします。
2. 必要に応じて [**インストールして再起動**] をクリックします。進行状況バーが表示されます。このプロセスが完了すると、ネットワークドライブが再起動します。

ファイルからアップデート

ファームウェアを手動でアップデートする場合は、以下の操作を行います。

1. 新しいファームウェアが利用可能かどうかについては、WDテクニカルサポート（*http://support.wdc.com*）にお問い合わせください。
2. 新しいファームウェアファイルが提供された場合、ファイルをコンピュータのデスクトップの場所に保存します。
3. ［**ファイルからアップデート**］をクリックします。
4. ハードディスクドライブに保存されたファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。今すぐアップデートを行うかどうかを確認するメッセージが表示されます。［**OK**］をクリックします。
5. 「アップデートをインストール中」進行状況バーが表示され、インストールが完了するとドライブが再起動します。

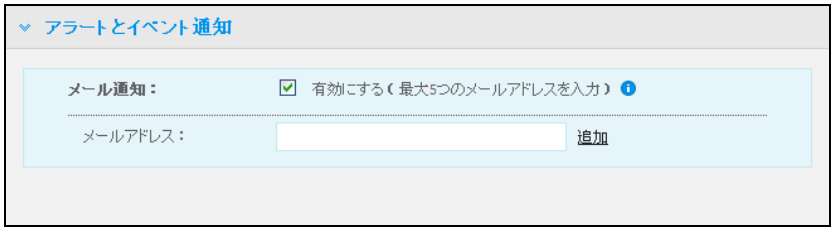
自動アップデート

ファームウェアのチェックやアップデートを自動的に行う場合は、以下の操作を行います。

1. ［**自動アップデート**］で、［**有効にする**］チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウンリストから、WDウェブサイトのアップデートをチェックする頻度および時間を指定すると、アップデートが利用可能な場合、アップデートのインストールと再起動が自動的に行われます。
3. ［**保存**］をクリックします。

アラートとイベント通知

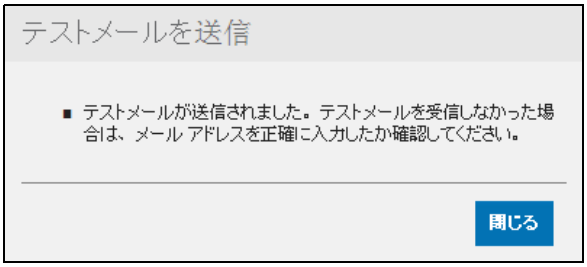
［アラートとイベント通知］セクションでは、通知を受け取るユーザー（最大5人）のメールアドレスの追加または削除を行うことができます。通知には、温度、ハードディスクドライブ、ボリューム、ネットワークステータスなどが記載されます。これらのアラートは管理者がイベントやエラーを管理および検出する上で役に立ちます。



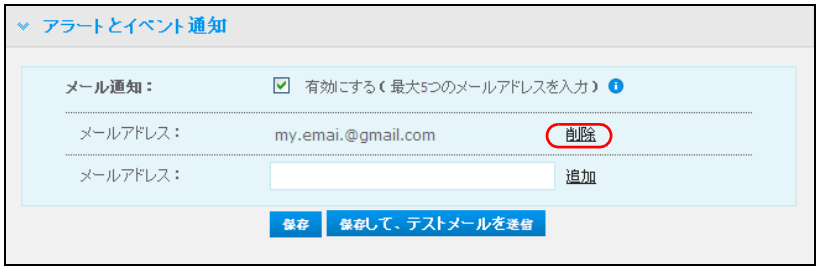
メールアドレスの追加または削除を行うには、以下の操作を行います。

1. ［**有効にする**］チェックボックスをオンにします。
2. 受信者のメールアドレスを入力し、［**追加**］をクリックします。
3. ［**テストメールを保存して送信**］をクリックします。

次のメッセージが表示されます。

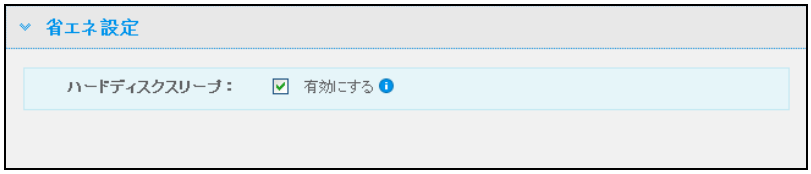


4. ［**閉じる**］をクリックします。
5. 電子メール アドレスを削除するには、その右側にある［**削除**］リンクをクリックします。



省エネ機能

ハードディスクスリープ機能が有効になっている場合は、指定された期間に何の操作もなかった場合、ハードディスクドライブがスタンバイモードに移行して電力を節約します。ハードディスクスリープは初期設定で有効になっています。



ハードディスクスリープを有効にするには、以下の手順を実行します。

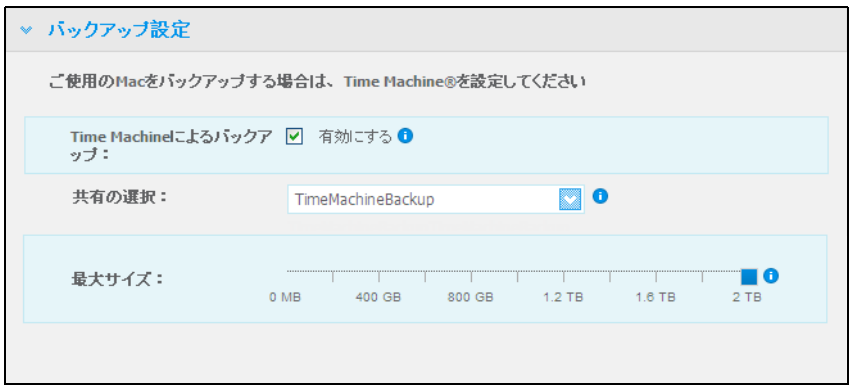
1. ［**ハードディスクスリープ**］の横にある［**有効にする**］チェックボックスをオンにします。
2. ［**保存**］をクリックします。

ハードディスクスリープを無効にするには、以下の手順を実行します。

1. ［**ハードディスクスリープ**］の横にある［**有効にする**］チェックボックスをオフにします。
2. ［**保存**］をクリックします。

Mac Backups (Mac OS)

ページのMac Backupsのセクションでは、Macのバックアップ用ソフトウェアであるApple Time Machine を設定できます。Mac Backupsを使用して、ファイルをバックアップするためにTime Machineで使用する最大の領域を表示できます。



Time Machineへの容量の割当て:

ご注意： 初回のバックアップを行った後、Time Machineのに割り当てる最大容量より大きな値に変更することはできません。WDは、初回のバックアップで設定した最大容量のままにしておくことをおすすめします。初回のバックアップを行った後、上図のスライダーを使用してこの設定を変更できます

1. ［有効にする］がオフの場合は、［**有効にする**］をオンにします。
2. プルダウンメニューからバックアップを保存したい共有を選択します。
3. ［最大サイズ］で、最大値までスライダーを移動します。
4. ［**保存**］をクリックします。
5. 初回のバックアップが完了したら、［**システム**］**>**［**Mac Backups**］パネルを再度アクセスします。
6. ［最大サイズ］で、目的のサイズまでスライダーを移動します。
7. ［**保存**］をクリックします。

重要： Time Machine が選択した共有にファイルのバックアップを開始した後は、同じ共有でバックアップを継続することをおすすめします。バックアップ先を変更した場合、以前の情報が保存されていないため、新しいバックアップが生成されます

ネットワークの設定

［**ネットワーク**］タブにはドライブのMACアドレスとIPアドレスが表示されます。ネットワークオプションの設定、安全なファイル転送のためのFTPプロトコルの有効化、ワークグループの作成を行うことができます。

LAN設定

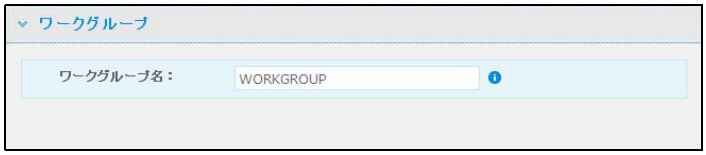
1. 以下のLAN（ホームまたはオフィスネットワーク）設定の表示または修正を行います。

インターネットアクセス	NTP、ファームウェアアップデートのチェック、リモートアクセス接続などのインターネット接続性の現在のステータスを表示します
MAC アドレス	ドライブを一意に識別することができます
IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します
ネットワークモード	ドライブに一意の IP アドレスを割り当てるための方法を選択します • ［**DHCP クライアント**］を選択すると、My Book Live はローカルの DHCP サーバーから IP アドレスと関連の設定を自動的に取得します • ［**静的 IP**］を選択すると、IP アドレスを手動で設定することになります。**IP アドレス**、**ネットマスク**、**ゲートウェイ**、**DNS サーバー**の入力を促されます（これらの情報についてわからない場合は、ルータの設定をチェックしてください）

2. ［**保存**］をクリックします。

ワークグループ

ワークグループは、ネットワーク環境の 1 つのコンピュータ グループの各メンバーに割り当てる名前です。同じワークグループ名を持つコンピュータ間では、ネットワーク経由で簡単に情報を交換することができます。ワークグループには中心となるサーバーは必要ありません。



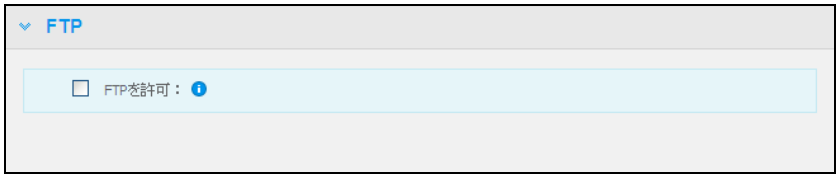
ワークグループ名の設定またはその名前を変更するには、以下の手順を実行します。

1. ワークグループの名前を入力します。
2. ［**保存**］をクリックします。

FTP

FTP（File Transfer Protocol）により、あるコンピュータから別のコンピュータにネットワークを介してデータを転送することができます。FTPは初期設定では無効になっています。

1. ［**FTPを許可**］チェックボックスをオンにして、FTPを有効にします。



2. ［**保存**］をクリックします。

ユーティリティの設定

［**ユーティリティ**］タブでは、ネットワークドライブのテストの実行、診断情報の取得、工場出荷時の状態にドライブを初期化、ドライブのシャットダウン・再起動、設定ファイルのインポート・エクスポートを行うことができます。

診断情報

ドライブに問題がある場合は、診断テストを実行します。［ショートテスト］では重大なパフォーマンス問題がないかドライブをチェックします。ショートドライブテストの結果は、合格または不合格として判定されます。ショートドライブテストが完了するまでに数分間かかる場合があります。

より総合的なドライブ診断は、フルテストです。各セクターをすべて、エラー状態がないか徹底的にテストし、必要に応じて不良セクター マーカーを挿入します。ドライブのサイズやそのドライブ上のデータ設定によって、フルテストが完了するまで数時間かかる場合があります。

テストを実行するには、以下の操作を行います。

1. ［**ショートテスト**］（初期設定）または［**フルテスト**］を選択し、［**実行**］をクリックします。進行状況バーが表示されます。

   テストが実行中であること、またドライブのテストの合格・不合格の判定を示すメッセージが示されます。

2. ドライブがテストに合格した場合、［**閉じる**］をクリックして［ユーティリティ］画面に戻ります。

   - または -

   ドライブがテストに不合格の場合は、［**カスタマーサポート**］をクリックしてサポートを受けてください。

初期化

*ご注意：パスワードとネットワークモードを出荷時の初期値に戻すための［**リセット**］ボタンの使い方については、「My Book Liveのリセット」p.126を参照してください*

［初期化］セクションでは、管理者は［クイック初期化］または［フル初期化］を選択することができます。実行することによりドライブはすべての情報を失い、管理者パスワードは「なし」に戻ります。

ご注意：クイック初期化ではドライブはフォーマットされて、フル初期化ではドライブは安全に消去されます

重要： 出荷時の初期設定を復元する前に、現在の設定を後でインポートできるようにドライブの現在の設定をエクスポートし、保存しておくことをおすすめします。ただし、設定をインポートした場合でも、共有またはユーザーの設定は復元されません。

ユーザーの設定、バックアップ、データを含む My Book Live の完全なコンテンツを復元したい場合は、p. 86 で説明されているセーフポイント機能を使用します。

出荷時の初期値に復元するには、以下の操作を行います。

1. ［**復元タイプ**］で、［**クイック初期化**］（デフォルト設定）または［**フル初期化**］を選択し、［**開始**］ボタンをクリックします。
2. 操作の確認画面が表示された場合、続行する場合は［**はい**］を、［ユーティリティ］画面に戻る場合は［**いいえ**］をクリックします。

3. 進行状況バーが表示されます。手順1で［**フル初期化**］を選択していた場合でもクイック初期化に変更したい場合は、［**クイック初期化に変更**］をクリックすれば最初からクイック初期化を開始できます。

警告！ **初期化プロセスを中断すると、My Book Live ドライブに損傷を与える可能性があります。再起動後までドライブは使用しないようにしてください。**

復元の終了時に「復元が終了しました」メッセージが表示され、システムが再起動します。

再起動/シャットダウン

2つの方法を使用してMy Book Liveドライブの安全な再起動とシャットダウンを行うことができます。

- ［ユーティリティ］画面の［再起動/シャットダウン］セクションを使用する（このセクションで説明します）

- または -

- WD Quick Viewアイコンを使用する（「安全にシャットダウンする」p.53を参照）

いずれの方法でもシャットダウンできない場合は、以下を参照してください。を参照してください「My Book Live を安全にシャットダウンするにはどのようにすればいいですか?」p.128.

重要： 再起動またはシャットダウンする前に、ファイルが転送中でないことを確認します。ドライブの前面にある LED をチェックし、点滅していないことを確認してください。点滅は、本製品が情報を処理していることを示します（たとえば、ファイルのバックアップや移動など）

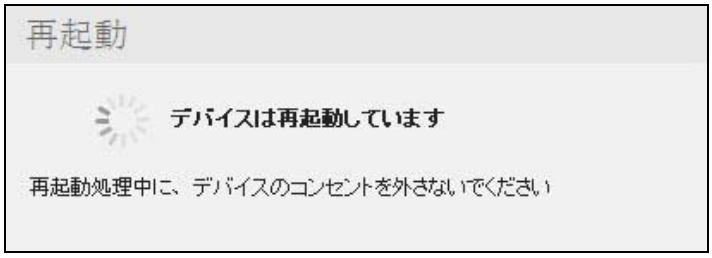
警告！ **再起動またはシャットダウン中にドライブのプラグを取り外さないでください**

ドライブを再起動する場合は、以下の操作を行います。

1. ［**デバイスの再起動**］ボタンをクリックします。

次のメッセージが表示されます。

2. ドライブが情報を処理しているかどうかにかかわらず次に進む場合は、［**続行**］をクリックします。次のメッセージが表示されます。



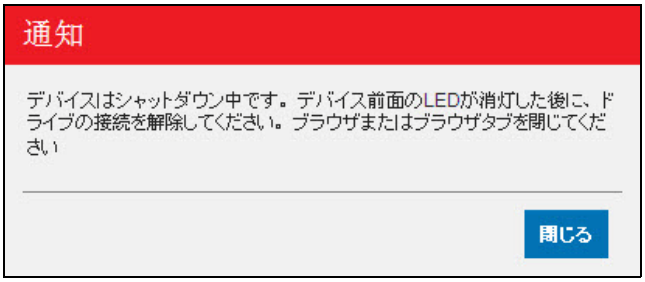
ドライブはシャットダウンした後に、再起動します。緑のLEDが点灯した後に、My Book Liveドライブの作業を再開します。

ドライブをシャットダウンする場合は、以下の操作を行います。

1. ［**デバイスのシャットダウン**］ボタンをクリックします。

シャットダウンすると重要な処理を中断する場合があるというメッセージが表示されます。

2. ドライブが情報を処理しているかどうかにかかわらず次に進む場合は、［**続行**］をクリックします。次のメッセージが表示されます。



3. ［**閉じる**］ボタンをクリックし、メッセージを閉じます。
4. デバイスの正面のLEDがオフになると、安全にドライブのプラグを抜くことができます。
5. ブラウザを閉じます。

現在の設定のインポート/エクスポート

重要： 初期化またはシステム更新を行う前に、ドライブの現在の設定を保存しておくことをおすすめします。そうすれば必要に応じて後で、以前保存した設定をインポートすることができます。ただし、出荷時の初期値の復元後は、設定をインポートしても、共有またはユーザーの設定は復元されません。

現在の設定を保存する場合は、以下の操作を行います。

1. ［**エクスポート**］セクションで、［**設定ファイルの保存**］をクリックします。
2. ファイルを保存する場所を参照し、［**保存**］をクリックします。

現在の設定を置き換える場合は、以下の操作を行います。

1. ［**インポート**］セクションで、［**ファイルの選択**］をクリックし、置換ファイルの置き場所を参照します。
2. ［**インポート**］をクリックし、確認メッセージが表示されたら、［**OK**］をクリックします。My Book Liveが再起動されます。

リモートアクセスの設定

［リモートアクセス］画面を使用して、外出時にもファイルにアクセスできるように設定することができます。WD PhotosおよびWD 2goのモバイルアプリを使用してMy Book Liveに保存された写真やファイルにアクセスすることができます。また、WD2go.comウェブサイトを使用して、保存されたファイルへの安全なリモートでのWebアクセスを設定することができます。

このページでリモートアクセスの設定、およびWD PhotosおよびWD 2goの使用方法については、「My Book Liveへのリモートアクセス」p.94を参照してください。

メディアサーバーの設定

［メディア］ページを使用して、ご自宅のどのお部屋からでもメディアを楽しむことができるように、DLNA (Digital Living Network Aliliance) とiTunesの設定を定義することができます。

ご注意：DLNA とiTunes はネットワーク上でのみ機能します。

このページの DLNA メディア サーバー と iTunes の設定、およびメディアの表示またはストリーミングの手順については、「ビデオ、写真、および音楽の再生/ストリーミング」p.112 を参照してください。

8

ユーザーの管理

ユーザーの表示
ユーザーの作成
ユーザーのためにプライベート共有を作成する
ユーザーのパスワードの変更
ユーザー設定の編集
ユーザーの削除

管理者は、他の人が My Book Live ドライブへのアクセス権を持つためにアカウントを作成することができます。これらのアカウントはユーザーと呼ばれます。ユーザーには、自分のプライベート共有とパブリック共有へのフルアクセス権があり、その他のユーザーの共有については制限付きアクセス権があります。

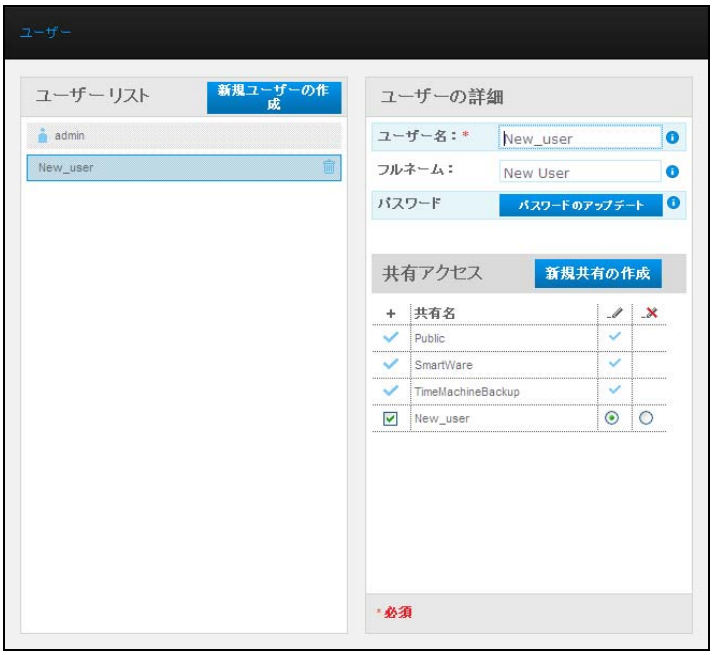
ご注意： 管理者（通常は所有者）は、ネットワーク上のコンピュータの設定を管理する管理者を意味します。

ナビゲーションパネルの［**ユーザー**］には、現在のユーザーが一覧表示され、管理者アカウントを使用する管理者は、ユーザーの詳細を表示、新規ユーザーを作成、既存の共有へのユーザーアクセスを許可、および、共有を作成することができます。

ユーザーの表示

1. ナビゲーション パネルで、［**ユーザー**］をクリックして左のパネルに現在のユーザーのリストを、右のパネルに、オンライン ヘルプを表示するリンクを表示します。

2. ユーザーの詳細を表示する場合は、［ユーザー名］をクリックします。［ユーザーの詳細］と［共有アクセス］が右のパネルに表示されます。



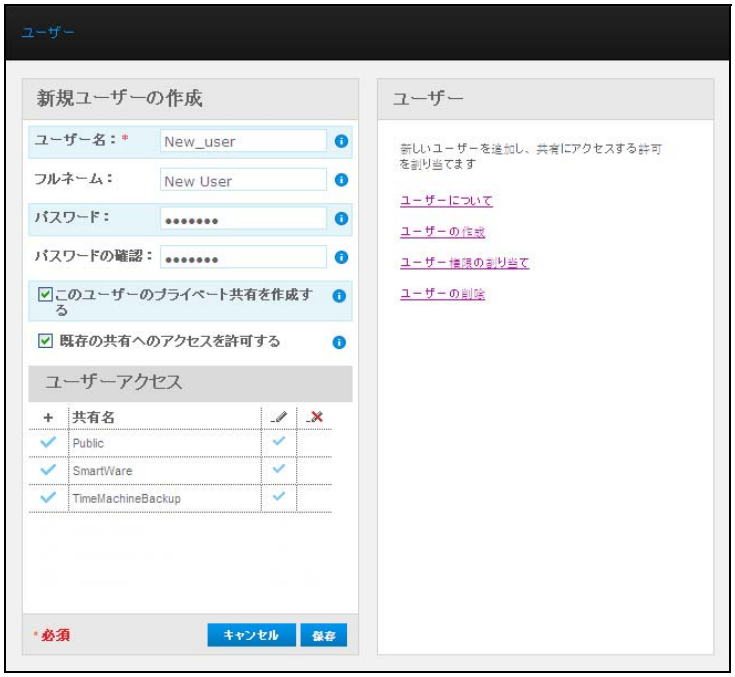
ユーザーの作成

管理者は、ユーザーを作成し、アクセス可能な共有を制限することができます。

フル アクセス – ユーザーは共有にあるファイルの読み取り、書き込み、削除が可能です。

読み取り専用アクセス – ユーザーは共有にあるファイルの表示のみに制限されます。

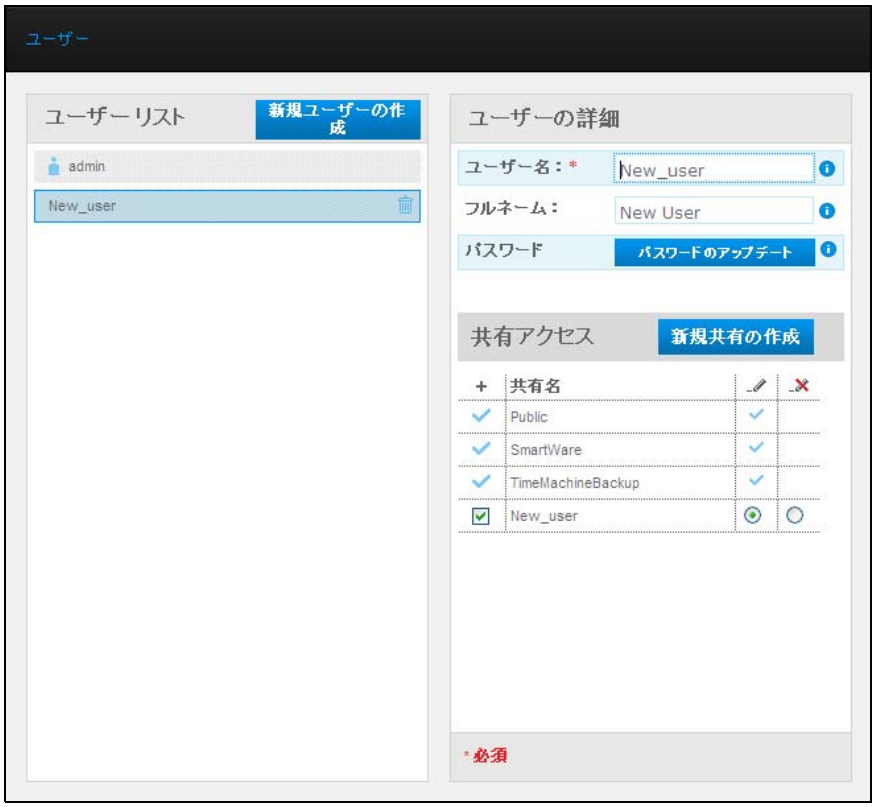
1. ［**新規ユーザー作成**］をクリックします。［新規ユーザー作成］パネルがユーザーリストと入れ替わって表示されます。



2. 必須情報（赤いアスタリスク部分）をすべて入力します。
3. 必要に応じて、次のオプション設定も入力します。

ユーザーパスワード / パスワードの確認	他のユーザーが新しいユーザーのプライベート共有にアクセスできないようにしたい場合は、新しいユーザーのパスワードを入力して、パスワードによる制限を設定します
このユーザーのプライベート共有を作成する	新しいユーザーがフルアクセス権を持つプライベート共有を作成します
既存の共有へのアクセスを許可する	新しいユーザーに他の共有へのアクセス権を与えます。新しいユーザーがアクセスできるようにする各共有の横にあるチェックボックスをオンにし、フルアクセスまたは読み取り専用アクセスアイコンのいずれかを選択してアクセスレベルを指定します たとえば、新しいユーザーに家族の写真や母親のビデオへの読み取り専用アクセス権を与え（変更、削除、追加ができないように）、プロジェクトに対してはプロジェクトファイルの追加、編集、削除などができるようにフルアクセス権を与えることができます

4. ［**保存**］をクリックします。新しいユーザーが［ユーザーリスト］にリスト表示され、［**共有アクセス**］セクションが右のパネルに移動して表示されます。



ユーザーのためにプライベート共有を作成する

1. ユーザー用にプライベート共有を作成したい場合は、右パネルの［**共有アクセス**］セクションで［**新規共有の作成**］をクリックします。［新規共有の作成］ボックスがページの前面に表示されます。

2. すべての必須設定（赤いアスタリスク部分）とオプションの設定を行います。

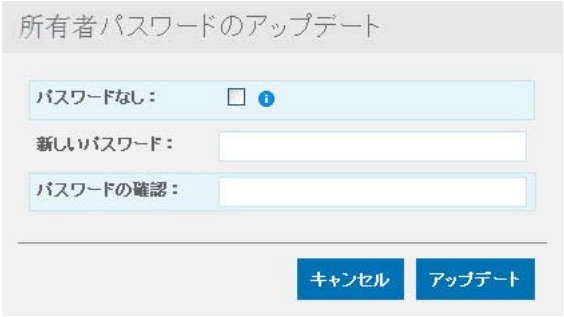
共有名	含まれるファイルの種類を明確に示す名前を共有に割り当てます
共有の説明	共有のコンテンツについて、簡単な説明を入力します
ユーザーアクセス	［**プライベート**］を選択し、共有へのユーザーのアクセスを制限します
メディアサービス	ドロップダウンリストから、［**すべて**］（音楽、写真、ビデオ）または［**なし**］（すべてのメディアを除外）を選択します

3. ［**保存**］をクリックします。新しい共有がプライベート インジケータとともに［共有アクセス］パネルに表示されます。ユーザーにフルアクセス権が自動的に与えられます。

ユーザーのパスワードの変更

ユーザーに関する詳細を表示する際、管理者はユーザーのパスワードを変更する（初期設定はパスワードなし）ことができます。

1. 右の列にユーザー詳細を表示するユーザーを選択します。
2. ［**パスワードのアップデート**］をクリックすると以下のように表示されます。



3. ［**パスワード**］および［**パスワードの確認**］の両方に同じパスワードを入力します。あるいは、［**パスワードなし**］チェックボックスを選択します。
4. ［**保存**］をクリックします。

ユーザー設定の編集

1. ユーザーのプロファイルを変更する場合は、ユーザーリストでユーザーを選択します。［ユーザーの詳細］と［共有アクセス］パネルが表示されます。
2. 必要に応じて、必須設定とオプションの設定を修正します。共有へのユーザーのアクセス権を更新するには、［共有アクセス］パネルで必要な変更を行います。
3. ［**保存**］をクリックします。

ユーザーの削除

管理者を除き、すべてのユーザーを削除することができます。

1. ユーザーリストで、ユーザー名の右にあるごみ箱アイコンをクリックします。
2. 確認メッセージの［**削除**］をクリックします。

9

共有の管理

共有リストの表示
新しい共有の作成
新規ユーザーの作成
共有をパブリックにする
共有の削除
共有を開く

共有はファイルを保存するための My Book Live ドライブ上の領域です（フォルダやディレクトリに類似しています）。

ご注意： このマニュアルでは、「共有」と「フォルダ」の語を置き換えてお読み頂けます。

共有には、全ユーザーがコンテンツにアクセスできる「パブリック」共有と、特定のユーザーにアクセスが制限される「プライベート」共有があります。ナビゲーションパネルの［共有］オプションには、My Book Live 上の共有リストが表示され、管理者は共有とユーザーアクセスを管理することができます。

共有リストの表示

ナビゲーションパネルで、［**共有**］をクリックして My Book Live ドライブ上の共有リストを表示します。各共有について、使用量、共有されている（提供されている）メディアの種類、およびリモートアクセスステータスが表示されます。

共有がプライベートの場合は、鍵のアイコン が左に表示されます。これは、特別なアクセス権を持つユーザーのみがそれを表示または修正できることを示します。右のパネルにはオンラインヘルプへのリンクが表示されます。

共有をクリックすると、共有の詳細とユーザーアクセス情報が右のパネルに表示されます。

新しい共有の作成

共有を作成してそれをパブリックまたはプライベートとして指定します。たとえば、家計簿を共有にいれる場合、子どものアクセスを禁止する場合に指定します。あるいは、友人に見て欲しいが変更や削除はして欲しくない写真がある場合、そのユーザーに対して読み取り専用アクセス権を割り当てます。

1. ［共有アクセス］リストの上にある［**新規共有の作成**］をクリックして［新しい共有の作成］画面を表示します。

2. すべての必須設定（赤いアスタリスク部分）とオプションの設定を行います。

共有名	共有に名前を割り当てます
共有の説明	内容がわかるように、共有の簡単な説明を入力します。
メディアサービス	ドロップダウンリストから、［**オン**］を選択して、すべてのメディアタイプ（写真、音楽、ビデオ）に対してメディアサービスを有効にします。サービスを停止する場合は、［**オフ**］を選択します。
ユーザーアクセス	この共有に全ユーザーのアクセスを許可する場合は［**パブリック**］を選択し、この共有へのユーザーのアクセスを制限する場合は［**プライベート**］を選択します。

3. ［**保存**］をクリックします。［**プライベート**］を選択した場合、［ユーザーアクセス］パネルが表示されます。
4. 新しい共有へのアクセスを指定するには、ユーザー名の横にある **+**（追加）チェックボックスを選択して、フル アクセスか読み取り専用のいずれかを選択します。［フルアクセス］を選択すると、ユーザーは、ファイルの追加や削除など、共有に変更を加えることができます。［読み取り専用］の場合は、ユーザーはファイルの閲覧のみが可能です。ユーザーに共有へのアクセスを許可したくない場合は、必ず［**+**］チェックボックスをブランクにしてください。

   たとえば、管理者（パパ）とママは家族のビデオに対しフル アクセス権を持ち、サリーはビデオを見るだけにします。
5. ［**保存**］をクリックします。

新規ユーザーの作成

［**共有**］の設定の際に、新しいユーザーを作成して同時にアクセス権限を割り当てたることができます。

1. リストから共有を選択して共有の詳細を表示します。

2. 右の［**共有アクセス**］セクションで、［**新規ユーザー作成**］をクリックします。［新規ユーザー作成］ボックスが画面の前面に表示されます。

3. 「ユーザーの作成」p. 77 で行ったように情報の入力を行います。
4. ［**保存**］をクリックします。

共有をパブリックにする

プライベート共有へのアクセスを制限する理由がない場合は、パブリック共有に変換することができます。

1. 共有リストでプライベート共有を選択し、右のパネルの［**共有アクセス**］セクションで［**プライベート**］ではなく［**パブリック**］を選択します。
2. ［**保存**］をクリックします。

共有の削除

1. 共有リストで、共有名の右にあるごみ箱アイコンをクリックします。

警告！　共有を削除すると、共有上のすべてのファイルとフォルダが消去されます。

2. 確認メッセージの［**削除**］をクリックします。

共有を開く

My Book Live のパブリック共有およびアクセス権があるプライベート共有を開く方法は数通りあります。

プライベート共有を開くには、以下が必要です。

- ユーザー名とユーザー名に割り当てられたパスワード
- 共有への読み取り専用またはフルアクセス権

使用するツール /OS . . .	操作 . . .
システムトレイ内の WD Quick View (Windows)	**パブリックおよびプライベート共有** 1. WD Quick View アイコン を左または右クリックしてメニューを表示します。 2. ドライブ名の横の矢印をクリックして、［**開く**］をクリックします。共有が Windows エクスプローラに表示されます。 3. プライベート共有の場合、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、My Book Live ダッシュボードのユーザーアカウントとパスワードを入力します。 プライベート共有の場合、ユーザーの名前とパスワードがコンピュータにログインするものと同じ場合は、ユーザー名とパスワードは必要ありません。それらが異なる場合は、*http://support.wdc.com* にあるナレッジ ベースで回答 ID 5681 を参照してください。
メニューバーの WD Quick View (Mac OS X)	**パブリックおよびプライベート共有** 1. メニュー バーの WD Quick View アイコン をクリックします。My Book Live ドライブの名前の上にカーソルを移動するとサブ メニューが表示されます。 2. WD Quick View サブメニューから［**開く**］を選択します。2 番目のサブメニューに共有が表示されます。 3. 目的の共有を選択します。プライベート共有の場合、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、My Book Live ダッシュボードのユーザーアカウントとパスワードを入力します（「ユーザーの作成」p. 77 を参照してください）。パブリック共有の場合、ユーザー名とパスワードの入力を促すプロンプトが表示されたら、［**ゲスト**］を選択します。
Windows 8	1. ツールバーで［ファイルエクスプローラ］アイコンをクリックします。 2. 左のパネルで、［**ネットワーク**］を選択します。 3. ［**My Book Live**］を選択します。 4. ドライブ上の「Public」フォルダをダブルクリックします。
Windows Vista/Windows 7	1. > ［**コンピュータ**］をクリックします。 2. 左のパネルで、［**ネットワーク**］を選択します。 3. ［**My Book Live**］をクリックします。 4. ドライブ上の「Public」フォルダをダブルクリックします。
Windows XP	**パブリック共有** 1. ［**スタート**］>［**マイ コンピュータ**］をクリックします。 2. ネットワークドライブの下層で、ドライブ上の「Public」フォルダをダブルクリックします。
Mac OS X の場合	**パブリックおよびプライベート共有** 1. Finder ウィンドウを開き、サイド バーの［**共有**］見出しの下で My Book Live ドライブを探します。 2. ドライブをダブルクリックし、パブリック共有およびアクセス権があるプライベート共有を表示します。

10

セーフポイントの管理

セーフポイントを使用した My Book Live ドライブのバックアップ

セーフポイントを使用した My Book Live ドライブのバックアップ

本製品に実装されているセーフポイントテクノロジーを使用すると、My Book Live の複製を自動的に作成し、別の My Book Live、使用可能なネットワーク共有に保存することができます。すべてのメディアを二重に保護することができるので、安心してお使い頂けます。

セーフポイントとは？

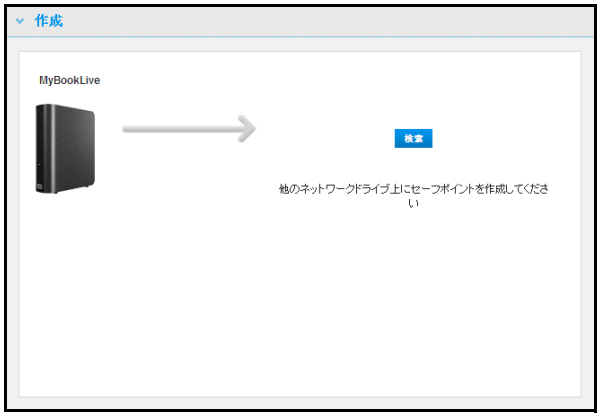
セーフポイントは、別の My Book Live など互換性のあるネットワーク接続デバイスに保存される、特定の時点における My Book Live のスナップショットです。セーフポイントは、ユーザー、共有、WD SmartWare/Time Machine、またはWindows 8/Windows 7/Vista バックアップ、および関連付けられたデバイス詳細設定を含む、ドライブ上の全データのコレクションです。起こりそうもないことですが、My Book Live が万一故障した場合、セーフポイントから、初期設定状態の My Book Live にデータを完全に復元できます。

セーフポイントの作成

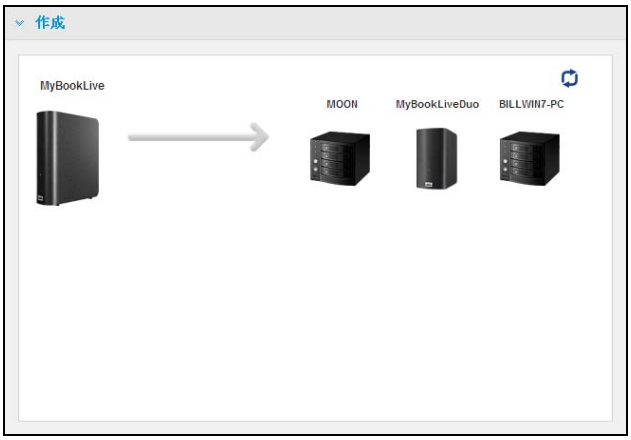
My Book Live のセーフポイントを作成する場合は、以下の操作を行います。

1. ナビゲーションペインで［**セーフポイント**］をクリックします。

2. ［**作成**］セクションを開きます。

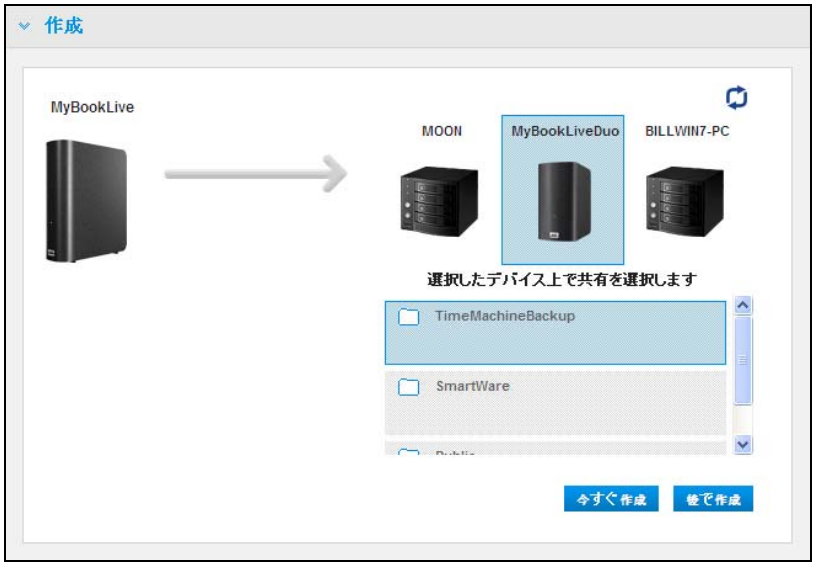


3. ［**検索**］をクリックし、ネットワーク上で使用できるデバイスのリストを表示します。ネットワークを再スキャンする場合は、右上の［更新 / 再検索］アイコンをクリックします。

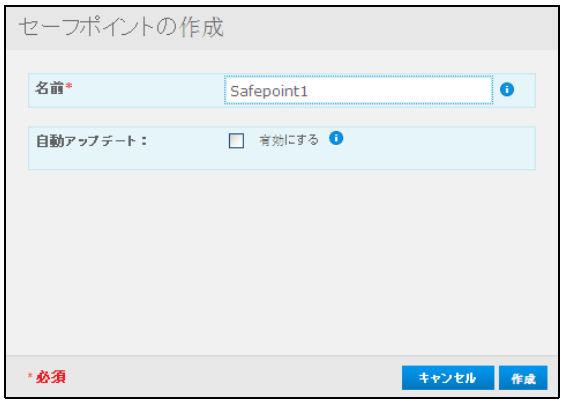


4. 保存先デバイスと処理対象の共有を選択します。共有がパスワードで保護されている場合は、必要な認証情報を入力します。

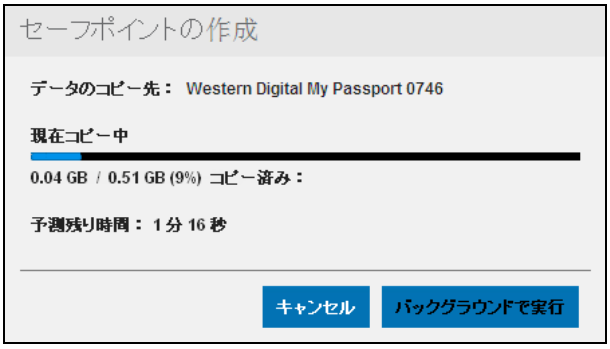
重要： プライベートに保ちたい共有でセーフポイントを作成する場合は、プライベート共有にセーフポイントを作成してください。



5. 今すぐ共有上にセーフポイントを作成するには、[**今すぐ作成**] をクリックし、必須フィールドに入力を行います。自動更新を有効にすることもできます。

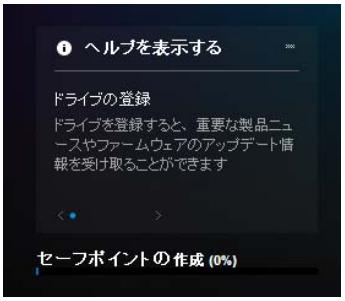


進行状況バーが表示されます。



ご注意： セーフポイントの作成にかかる時間は、ご使用のネットワークの速度、および My Book Live に保存されているファイル数やサイズによって異なります。総データ量から見た場合、少数の大きなファイルは、多数の小さなファイルに比べてより迅速に複製されます。My Book Live で実行されるプロセスの種類や、保存先デバイスの速度および有用性などその他の要素も、処理速度に影響を与えます。

6. プロセスをバックグラウンドで実行させるには、[**バックグラウンドで実行**] をクリックします。進行状況バーのリンクが、ナビゲーションパネルの［問題の解決］の下に表示されます。

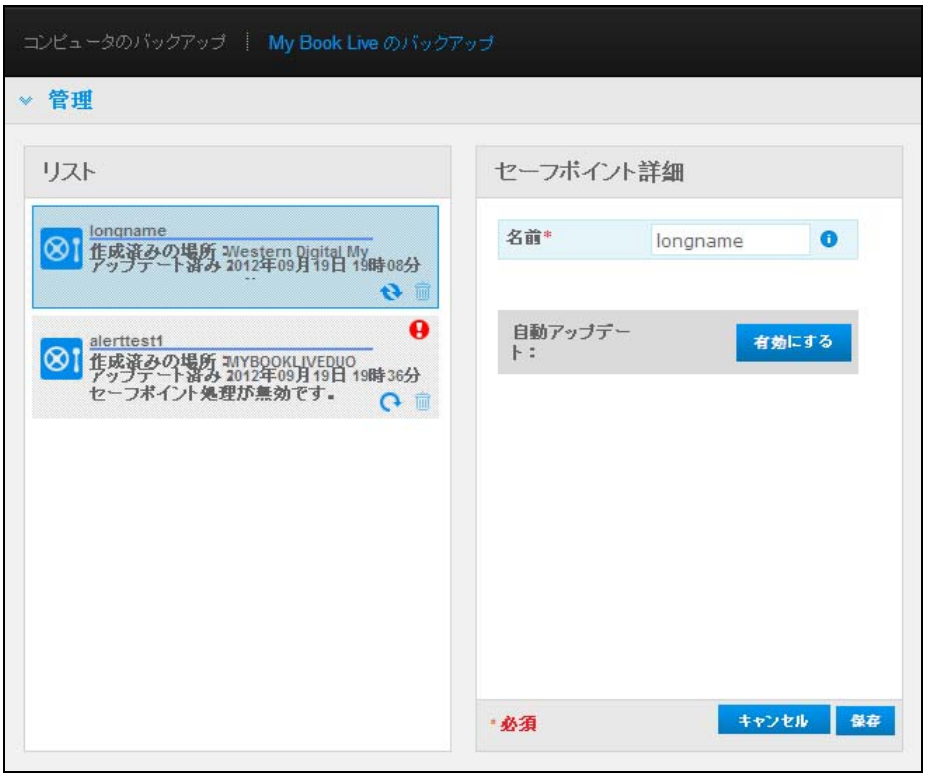


ステータス領域にある進行状況バーのリンクをクリックすると、コピー中のファイルや完了状況などの処理に関する詳細な情報が表示されます。処理が完了すると「セーフポイントが正常に作成されました」というメッセージが表示されます。

7. セーフポイントの作成を後で設定する場合は、[**後で作成**] をクリックし、セーフポイントを作成したい日付と時刻を入力します。自動更新を有効にすることもできます。自動更新では、前回のアップデート以降の変更を複製するので、セーフポイントが最新の My Book Live のコンテンツで保たれます。

重要： セーフポイント処理進行中に行われた変更は、ただちにバックアップされない場合があります。

8. 作成プロセスが正常に完了しなかった場合、または中断された場合、該当するステータスが［**管理**］セクション（ページの先頭）に表示されます。セーフポイントの［やり直し］アイコン をクリックすると、処理が再開されます。

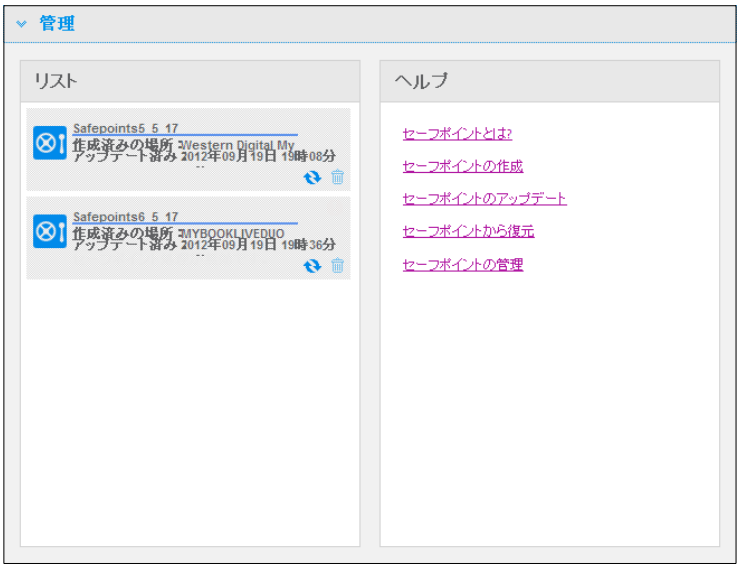


ご注意：別のデバイスに保存されたセーフポイントのコンテンツを表示したい場合は、保存したデバイスのフォルダにアクセスします。

セーフポイントのアップデート

セーフポイントをアップデートする方法には、手動と自動の 2 つの方法があります。

1. セーフポイントを手動でアップデートする場合は、トップページで［**管理**］セクションを開き、セーフポイントの右下にある［アップデート］アイコンをクリックします。



2. セーフポイントの自動更新を有効にするには、［**管理**］セクションに進み、セーフポイントを選択し、右のペインにある［**自動アップデート**］［有効化］ボタンをクリックします。

3. 自動更新がすでに有効な場合は、［詳細］ペインの自動更新設定を編集することもできます。また、この機能を完全に無効にすることもできます。自動更新として、毎日、毎週、または毎月のセーフポイントアップデートを設定できます。

   他のタスクを実行する間、プロセスをバックグラウンドで実行させるには、［**バックグラウンドで実行**］をクリックします。

   ステータス領域にある進行状況バーをクリックすると、コピー中のファイルや完了状況などの処理に関する詳細な情報が表示されます。

重要： セーフポイント処理進行中にデータに行われた変更は、ただちにバックアップされない場合があります。

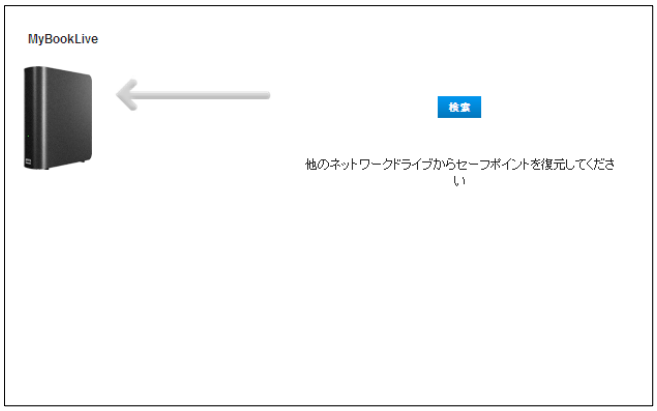
---

4. アップデートプロセスが正常に完了しなかった場合、または中断された場合、［**管理**］セクションには該当するステータスが表示されます。［やり直し］アイコンをクリックすると、処理が再開されます。

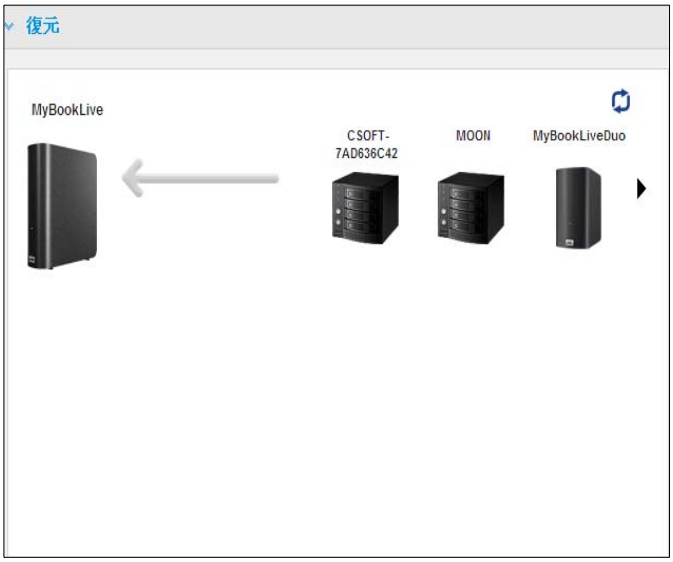
セーフポイントからの復元

［**復元**］セクションでは、セーフポイントから、初期設定の My Book Live または互換性のある Western Digital デバイスにデータを復元できます。

1. ［**復元**］セクションを開きます。

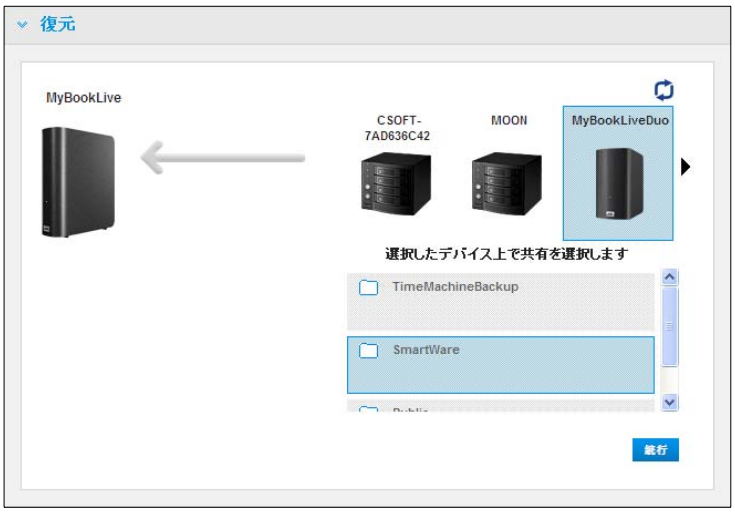


2. ［**検索**］ボタンをクリックし、ネットワーク上の利用できるデバイスのリストを表示します。

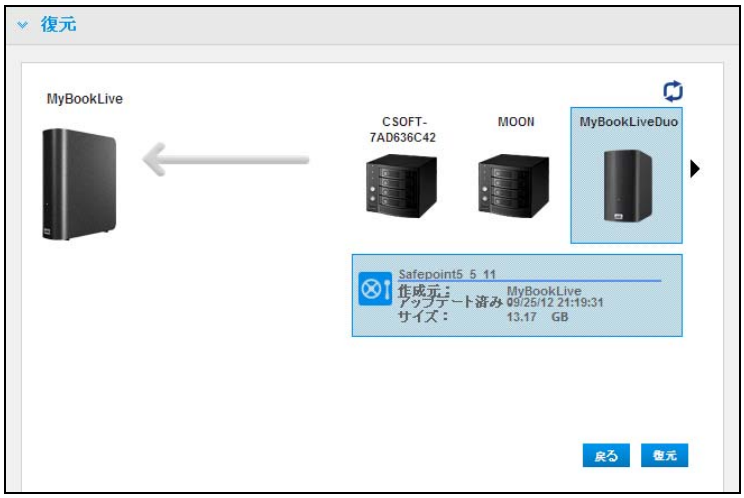


3. デバイスを選択して、利用可能な共有のリストを表示します。

4. セーフポイントのある共有を選択し、［**続行**］をクリックします。共有がパスワードで保護されている場合は、適切な証明を入力します。



5. 復元を開始する元になるセーフポイントを選択し、［**復元**］ボタンをクリックします。

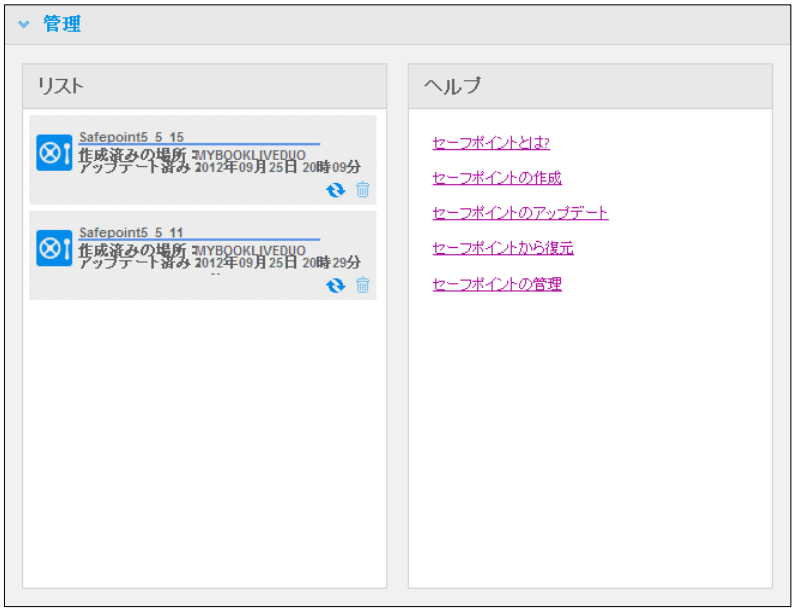


復元先のデバイスが初期設定でない場合は、トラブルシューティング手順を示すメッセージが表示されます。

6. エラーがない場合、復元処理が開始し、進行状況バーが表示されます。処理が完了するのをお待ちください。復元処理の後、デバイスが再起動され、元の My Book Live の代わりに使用できるようになります。

セーフポイントの管理

［**管理**］セクションには、My Book Live ドライブの全セーフポイントが一覧表示されます。セーフポイントを選択して、そのセーフポイントの名前変更、アップデート、または削除ができます。



セーフポイントを My Book Live ドライブの最新の変更内容でアップデートするには、セーフポイントの［アップデート］アイコンをクリックします。

- セーフポイントとその全コンテンツを削除するには、セーフポイントの［ごみ箱］アイコンをクリックします。
- セーフポイントにエラーが生じると、［警告］アイコンが［**管理**］セクションに表示されます。マウスポインタをアイコンの上に移動すると詳細が表示されます。

11 My Book Live へのリモートアクセス

WD 2go: パーソナルクラウドへの入口
リモートアクセスを有効にする
モバイルアクセスの設定
WD 2go 経由のウェブアクセスの設定
パーソナルクラウドへのアクセス

この章では、リモートアクセスのために My Book Live ドライブを設定する方法と、多くの機能を利用するためのいくつかの方法について説明します。

WD 2go: パーソナルクラウドへの入口

パーソナルクラウドとは、自分の大切なデジタルデータをご自宅内に設置したネットワークハードディスク上で安全に保存・保護・管理する、いわば自分専用のクラウド環境です。パブリッククラウドとは異なり、パーソナルクラウドでは、自分のデータをホームネットワーク上で安全に一元管理することができます。どこにいてもファイルの共有、メディアのストリーミング、ファイルへのアクセスができます。月額費用は、一切かかりません。データを安心できる場所に保存できます。動画・写真・音楽・ファイルを自宅に安全に管理して、常にアクセスすることができます。

インターネットアクセスさえあれば、世界中のどこにいても、PC で自分の動画、写真、音楽にアクセスすることができます。WD 2go web にアクセスするだけで、出先からご自宅の My Book Live パーソナルクラウドストレージに無料でリモートアクセスすることができます。WD 2go web にログインすると、My Book Live がローカルディスクドライブのようにコンピュータにマウントされます。マウントされた My Book Live 上のフォルダは、リモートフォルダのように使用することができます。このバーチャルハードディスクドライブから、スムーズにファイルを開いたり、保存したり、メールに添付することができます

ご注意： 自宅からコンテンツのコピーやストリーミングを行う場合、ISP のアップロード帯域幅による制限が生じる場合があります。たとえば、一般的な自宅のインターネット接続（ADSL またはケーブルモデム）の場合、500Kb/s（0.063 MB/s）のアップロード制限が課される可能性があります。この場合、2GB のムービーをコピーするのに 8.8 時間、また一般的な 2MB の MP3 音楽ファイルをコピーするのに 32 秒を要します。自宅からデータを定期的にコピーまたはストリーミングする予定がある場合は、インターネット接続のアップグレードを検討されることをおすすめします

WD 2go モバイルアプリでお手持ちのファイルを常に携帯

WD 2go モバイルアプリ、WD Photos モバイルアプリを使えば、あなたの iPad、iPhone、iPod touch、Android 搭載のタブレット、スマートフォンからご自分のすべての写真やファイルにアクセスできます。

ご使用いただくために必要な事項は、次のとおりです。

- インターネットに接続されたMy Book Liveパーソナルクラウドストレージ
- My Book Live で生成したアクセスコード
- Android デバイス – OS 2.1 以降を備える一般的なスマートフォンおよびタブレット
- Apple デバイス
  - WD Photos – OS 3.2 以降を備える iPhone、iPod touch、iPad。
  - WD 2go – OS 4.x 以降を備える iPhone、iPod touch、iPad。

WD 2go モバイルアプリについて

モバイル端末で、ファイル、音楽、写真にアクセスすることができます。My Book Live に保存されたプレゼンテーションファイルや文書ファイルを外出先から確認したり、動画・音楽のストリーミングや写真の再生が可能です。スマートフォンやタブレットから、保存されたファイルを見たり、音楽データのストリーミングやビデオクリップを楽しめます。Google Play または Apple iTunes ストアから WD 2go モバイルアプリ（無料）をダウンロードするだけで、スマートフォンが注目の的になります。

WD 2go モバイルアプリを使用して以下のことが行えます。

- My Book Live に保存された重要なファイルをモバイル端末にコピーしなくても、どこからでも開いて表示できます
- My Book Live ドライブに保存された写真をみなさんで楽しんで頂けます
- My Book Live ドライブに保存された音楽やビデオファイルをストリーミングし、楽しんで頂けます

  ご注意： ビデオのストリーミングパフォーマンスは LAN 経由が最適です。WAN のストリーミングパフォーマンスは自宅のインターネット接続のアップロード速度によって制限を受ける場合があります

- プレゼンテーションファイルを iPad で開き、1024 x 768 の解像度で表示することができます。WD 2go をお使いの場合、ファイル形式は一切問いません。Microsoft Word の文書ファイル、Microsoft Excel のスプレッドシート、PowerPoint のプレゼンテーション ファイルをはじめ、ほぼどんなファイル形式にも対応します。

WD 2go モバイルアプリの特長と使用方法については、オンラインのガイドミーページおよび FAQ、または http://wd2go.wdc.com をご覧ください。

ご注意：WD 2go は、My Book Live からデータを取得し、Google Android または Apple iOS を使用するタブレット、ヘッドセット、またはその他のデバイスにそのデータを提供することができます。WD 2go は、My Book Live のコンテンツの簡単なファイルリストを提供します。また、ファイル形式に応じてお気に入りのプレーヤーまたはビューアを起動し、表示することができます。モバイル端末がサポートするファイル形式については、モバイル端末のマニュアルを参照してください

WD Photos モバイルアプリについて

身の周りで起こる楽しいシーンの数々。シャッターチャンスを逃さずに撮影したら、ご自宅のドライブに転送しましょう。ご自宅のテレビやその他のデジタル端末でそれらの写真を表示して楽しむことができます。スマートフォンやタブレットで写真やビデオクリップを撮影し、My Book Live パーソナルクラウドストレージに直接アップロードすることができます。帰宅したら新しいファイルが待っているので、すぐにお楽しみ頂けます。

WD Photos では .jpg 形式の写真のみを表示することができます。

スマートフォンの保存スペースを圧迫することなく、撮影した写真のコレクション（最大 285,000 枚まで）をスマートフォンでお楽しみ頂けます。

WD Photos は、Apple の主要なモバイルデバイスおよび一般的なほとんどの Android デバイスに対応しています。写真は、自動的にモバイル端末に最適化されます。

WD Photos では、オフライン時でも、閲覧した写真にアクセスすることができます。モバイル端末が、写真を縦にも横にも表示できる、究極のフォトアルバムになります。

WD Photos を使用して以下のことができます。

- Facebook に写真をアップ
- スライドショーにトランジション効果を付けてデジタルアートをクリエイト
- 一度表示した写真を、オフラインで再表示
- すべての写真の一括表示、フォルダ別やアルバム別にフィルタ分けして表示
- ファイル名、フォルダ名、日付で写真を検索
- 写真をメールで友達に送信
- 連絡先に写真を追加
- パーソナルクラウドストレージから写真をモバイル端末のカメラロールに追加

- カメラロールから写真をパーソナルクラウドにどこからでも直接アップロード

  ご注意：写真をアップロードした場合、WD Photos により、My Book Live の「Public/Shared Pictures」ディレクトリにモバイル端末名の付いたサブフォルダが自動的に作成されます。同様に、ビデオをアップロードした場合、WD Photos により、My Book Live の「Public/Shared Videos」ディレクトリにモバイル端末名の付いたサブフォルダが作成されます。

WWD Photos の特長と使用方法については、オンラインのガイドミーページおよび FAQ、または *http://wdphotos.wdc.com* をご覧ください。

リモートアクセスを有効にする

My Book Live ダッシュボードのリモートアクセスページを使用すると、お客様およびその他の認証済みユーザーは外出時にもファイルにアクセスすることが可能になります。

1. ナビゲーションパネルで［**設定**］をクリックします。
2. ［**リモート アクセス**］タブをクリックします。［リモートアクセス］ページの［設定］セクションが表示されます。

3. リモートアクセスを有効または無効にして、My Book Live の接続ステータスを確認します。

   接続状態は以下のように表示されます。

   - **無効** – ユーザーは［**リモート アクセスを有効化**］チェックボックスを選択していません。
   - **可能** – ユーザーはモバイル デバイスを追加していないか、またはウェブ アクセス アカウントをまだ登録していません。
   - **情報を取得中** – リモート アクセスの取得中を示す接続ステータス。
   - **失敗** – My Book Live は、モバイル デバイスまたはウェブ アクセス アカウントとのリモート アクセス接続を確立できません。
   - **接続中** – My Book Live は、モバイル デバイスまたは登録済みウェブ アクセス アカウントへの接続を試みています。お待ちください。

- **接続済み** – これはピアツーピアの直接接続で、より良いパフォーマンスを得るための望ましい状態です。
- **接続済み（リレー接続確立済み）** – My Book Live ドライブは、できる限り直接接続を得るためにネットワークの設定を試みています。一部のネットワークでは、UPnP プロトコルをサポートしていません。My Book Live はピアツーピアの直接接続に UPnP プロトコルを使用します。リレーではなく直接接続を希望する場合は、ルーターのオペレーティングガイドを参照して UPnP 互換性の有無を確認してくださいさらに、一部の ISP では、「ダブル NAT」を実装しています。これにより、ルーターの IP アドレスが直接接続（ポートフォワーディング）の場合に到達不可能になります。この場合は、ポート開放を有効にする代替方法について ISP にお問い合わせください。

モバイルアクセスの設定

Apple または Android 端末を使用して My Book Live の写真、音楽、ドキュメント、ビデオへのリモートアクセスのセットアップと管理を行います。[リモートアクセス］ページの［モバイルアクセス］セクションで、Apple App Store/Google Play からモバイル端末にインストールされた WD Photos/WD 2go アプリのアクティベーションコードを生成します。

接続するモバイル端末の追加

My Book Live にモバイル端末接続を追加するには：

1. ［リモートアクセス］ページの［設定］セクションで、**［リモートアクセスを有効にする］**チェックボックスが選択されており、**［接続ステータス］**が［可能］または［接続済み］になっていることを確認します。
2. ［リモートアクセス］ページの［モバイルアクセス］セクションで、**［アクセスの追加］**をクリックします。

3. ドロップダウンリストから、ユーザーを選択します。リストには My Book Live 共有に対するアクセス権を持つユーザーが表示されます（「ユーザーの作成」p. 77 を参照してください）

ご注意：WD Photos などのモバイル端末アプリケーションのアクセスを追加すると、指定されたユーザー ID は、その共有アクセス特権を保持します。

4. [**コードを取得**] ボタンをクリックし、モバイル デバイスのアクティベーション コードを自動的に生成します。有効にするアプリごとに 1 つのコードを生成しておく必要があります。コードは、生成から 48 時間の間は有効です。また、一度限りの使用になります。

5. **［続行］**ボタンをクリックします（ボタンが見つからない場合は、ページの下部までスクロールします）。「待機中」のステータスを持つ新しいデバイスが表示されます。

6. モバイル端末のコードを入力すると、端末名とアプリ名が表示されます。

7. 「モバイル端末への WD Photos のインストール」p. 101 または 「WD 2go モバイル アプリのインストール」p. 103 を続けます。

ご注意： モバイル端末へのアクセスを削除、または使用していないコードを削除するには、ごみ箱アイコンをクリックします。

モバイル端末への WD Photos のインストール

重要： モバイル端末で表示したい写真が、My Book Live ドライブのパブリック共有の「Shared Pictures」サブフォルダ 6 に保存されていることを確認してください。WD Photos では .jpg 形式の写真のみを表示することができます

モバイル端末に WD Photos をインストールするには：

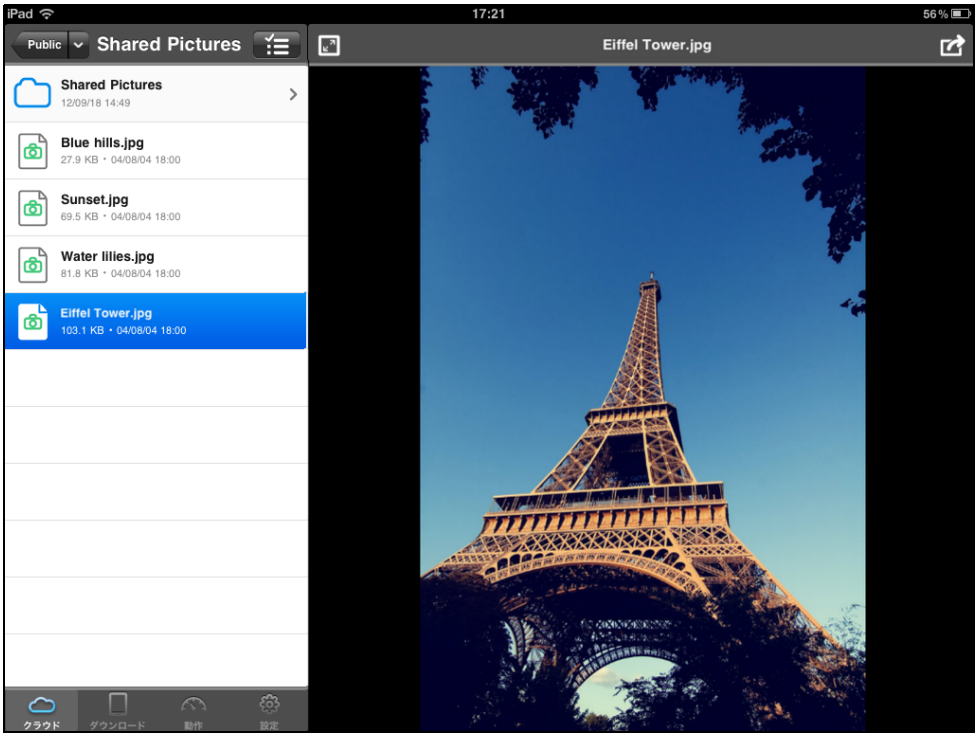
1. Apple App Store/Google Play から WD Photos をダウンロードし、モバイル端末にインストールします。
2. モバイル端末で WD Photos を起動し、［ようこそ］画面を表示します。

3. ［**今すぐ接続**］をタップすると、［デバイスの選択］画面が表示され、お客様が所有している NAS デバイスの種類が示されます。

4. My Book Live ドライブをタップします。

5. My Book Live のダッシュボードで生成したアクティベーション コードを入力し（「接続するモバイル端末の追加」p. 98 を参照）、［有効にする］ボタンをタップします。有効にするアプリごとに 1 つのコードを生成しておく必要があります。コードは、生成から 48 時間の間は有効です。また、一度限りの使用になります。

6. My Book Live ドライブをタップするとアルバムが表示されます。アルバムをタップするとアルバム内の写真が表示されます。



ご注意：WD Photos のインストールで問題がある場合は、http://websupport.wdc.com/rn/wdphotos.asp をご覧ください。特長と使用手順の詳細については、オンラインのガイドミー ページとヒントを参照するか、http://wdphotos.wdc.com をご覧ください。

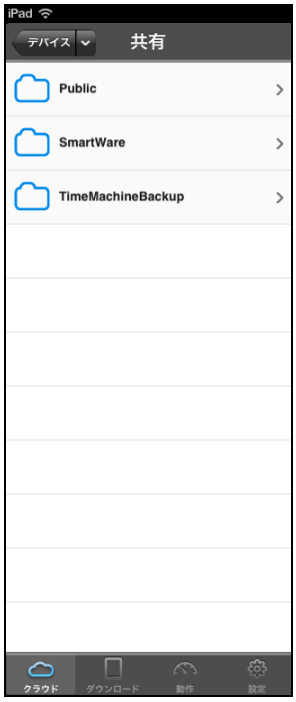
WD 2go モバイル アプリのインストール

1. Apple App Store/Google Play から WD 2go をダウンロードし、モバイル端末にインストールします。
2. WD 2go アプリを起動し、［ようこそ］画面を表示します。

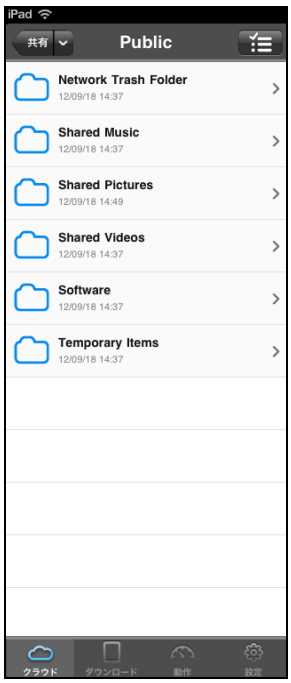
3. ［**今すぐ接続**］をタップします。
4. ± をタップします。

5. ［ネットワーク］の［検出］の下で、MyBookLive の横の ⊕ をタップします。デバイスが表示されていなかった場合は、次の操作を行います。
   - ［手動で追加］の下に表示された「WD 製デバイス」の隣の ⊕ をタップします。
   - My Book Live のダッシュボードで生成したアクティベーション コードを入力し（「接続するモバイル端末の追加」p. 98 を参照）、［**有効にする**］ボタンをタップします。コードは、生成から 48 時間の間は有効です。また、一度限りの使用になります。

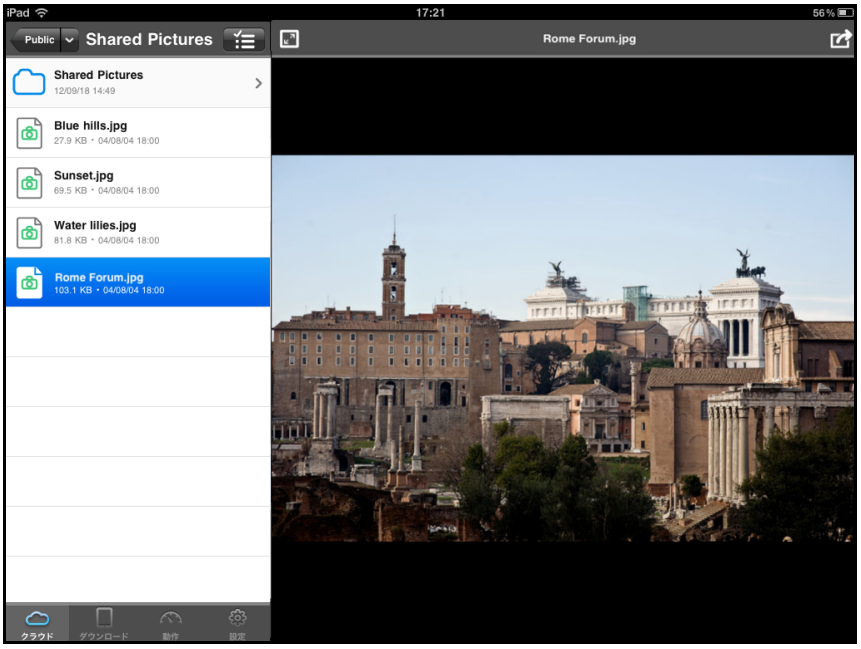
6. ［**完了**］をクリックします。
7. **My Book Live** ドライブをタップして、共有を表示します。



8. 共有をタップして、ファイルを表示します。



9. ファイルをタップして、コンテンツを表示します。



ご注意： WD 2go のインストールで問題が生じた場合は、*http://websupport.wdc.com/rn/wd2go.asp* を参照ください。特長と使用手順の詳細については、アプリのガイド ミー ページ、FAQ、ヒントを参照するか、または *http://wd2go.wdc.com* をご覧ください。

WD 2go 経由のウェブアクセスの設定

WD 2go では、お客様がコンピュータからインターネットへのアクセスが可能であれば、どこからでもパーソナルクラウドのすべてのファイルにアクセスすることができます。

*WD 2go は、Mac Leopard (OS X 10.5.x) ではご利用頂けません

ウェブアクセスアカウントの登録：

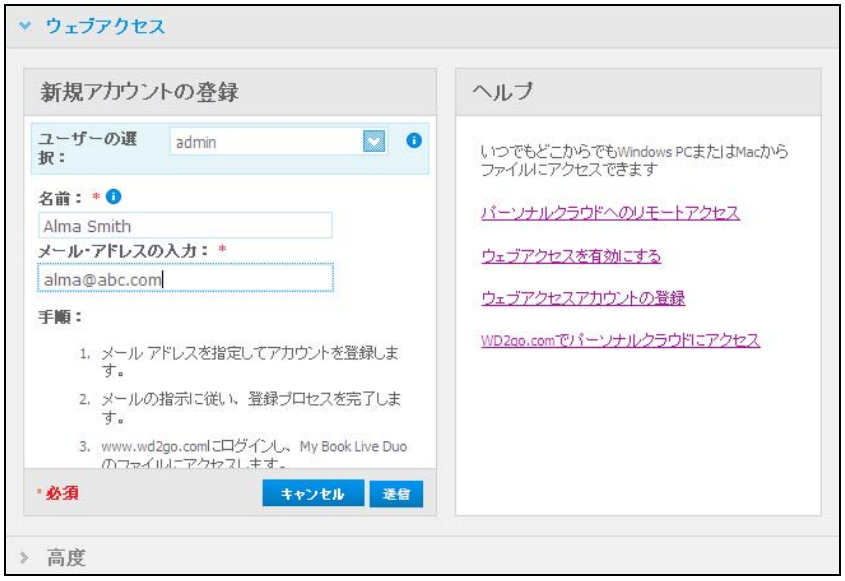
［リモートアクセス］ページの［**ウェブアクセス**］セクションから、ウェブアクセスアカウントの作成、表示、管理を行います。

ウェブアクセスアカウントの登録

1. ウェブ アクセスを有効にするには、リモート アクセス ページの［**設定**］セクションで［**リモート アクセスを有効化**］チェックボックスが選択されていることを確認します。［**接続ステータス**］は［可能］または［接続済み］である必要があります。

2. ［リモートアクセス］ページの［**ウェブアクセス**］セクションに移動します。

3. ［**登録**］ボタンをクリックし、［新規アカウントの登録］パネルを表示します。



4. アカウントを登録する電子メールアドレスを入力し、［**送信**］をクリックします。

   ご注意： ウェブ アクセス アカウントを要求するデバイス ユーザーを指定すると、アカウントはそのユーザーの共有アクセス特権を保持します。（詳細については、「ユーザーの作成」p. 77 を参照してください）

5. 「登録電子メール送信済み」メッセージが表示されます。［**閉じる**］をクリックします。より詳細な手順を記したメールがユーザーに届きます。

6. **[続行]** ボタンをクリックし、アカウント リストに新規アカウントを表示します。

ご注意： 登録メールを再送信する必要がある場合は、［メールを再送信］アイコンをクリックします。

ご注意： ユーザーのウェブアクセスを削除するには、アカウント名の右にあるごみ箱アイコンをクリックします。

WD Photos データベースのトラブルシューティング

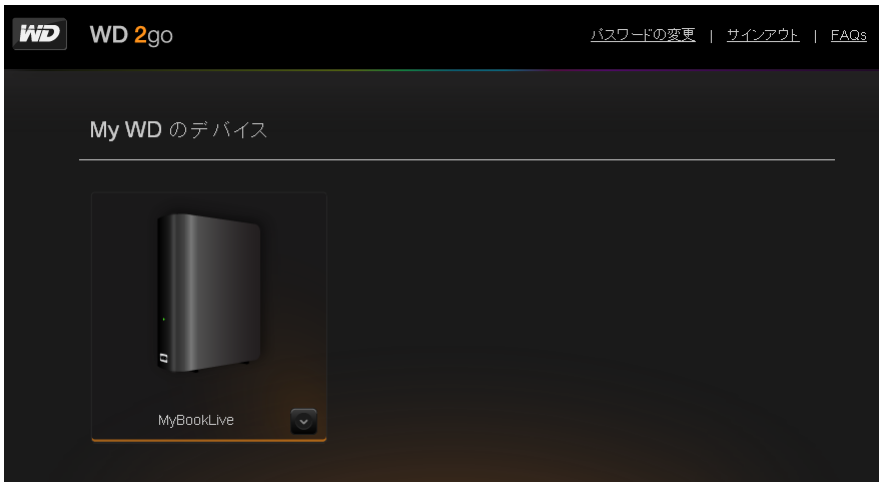
WD Photos データベースが破損している疑いがある場合は、以下の操作を行います。

1. ［リモートアクセス］ページページの［詳細］セクションに移動します。
2. **［再構築］** をクリックします。WD Photos のデータベースが再構築されます。

パーソナルクラウドへのアクセス

ご注意：WD 2go ウェブアクセスは、64 ビット版 Windows XP には対応していません。

1. p. 105 の説明に従ってウェブ アクセス アカウントを登録します。
2. ブラウザで、ステップ 1 で関連付けられた電子メール アドレスとパスワードを使用して *http://www.wd2go.com* にサインインします。画面には WD NAS デバイスが表示されます。



3. 接続する My Book Live を選択します。共有にリモートアクセスしたことがあるかどうかに応じて、Java アプリケーションの実行要求が表示されます。
4. Windows の場合、次のメッセージが表示されます。このメッセージを今後表示しない場合は、［**この発行者からのコンテンツを常に信頼します**］チェックボックスをオンにします。［**実行**］をクリックします。

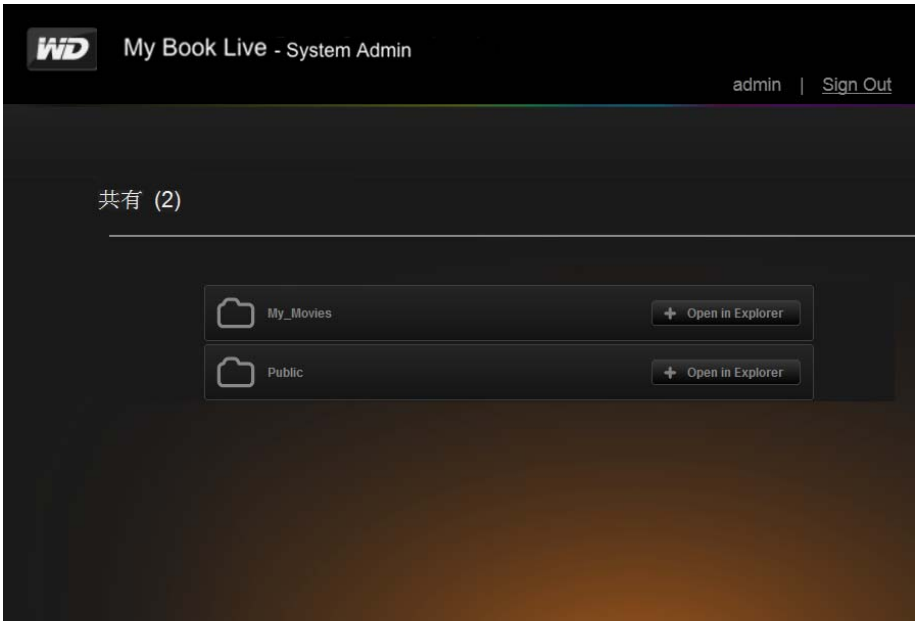
Mac の場合、次のメッセージが表示されたら、［**許可**］をクリックします。

ご注意： Lion、および Mountain Lion をご使用の場合は、Java ランタイムクライアントをインストールする必要があります。詳細は、*http://support.apple.com/kb/dl1421* をご覧ください

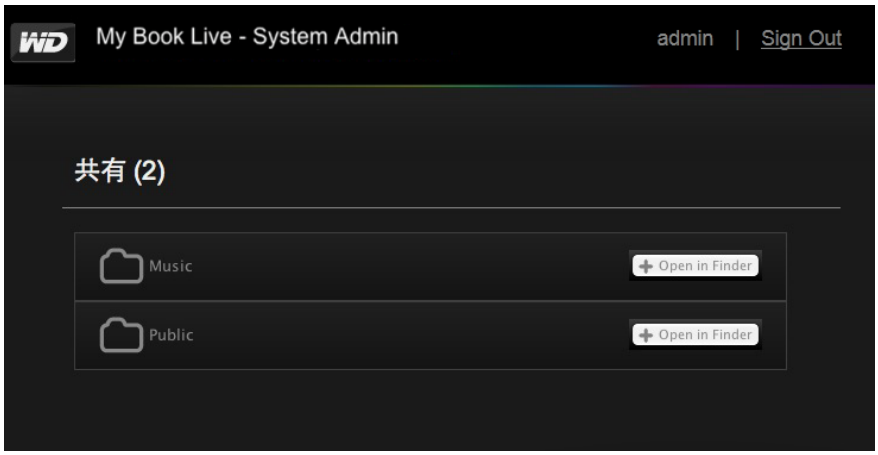
5. Java アプレットが正常に実行されると、アクセス可能な共有が表示されます。
6. Windows XP の場合、次のメッセージが表示されます。このメッセージを今後表示しない場合は、チェックボックスを選択します。［**OK**］ボタンをクリックします。

7. Windows の場合、アクセスする共有の横にある［**+ エクスプローラで開く**］をクリックします。

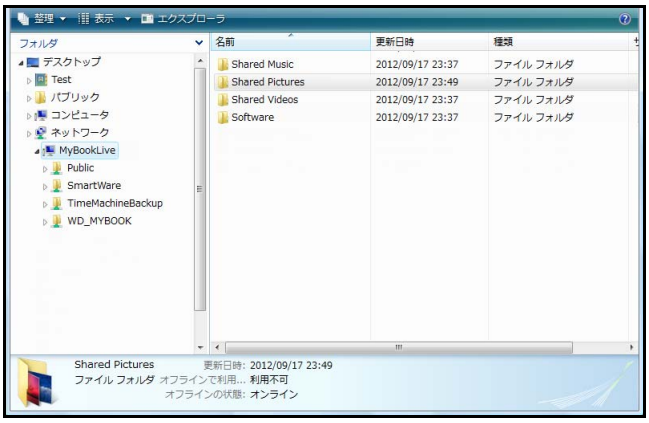
ご注意：Windows XP の場合、再起動メッセージが表示されたら、［**今すぐ再起動する**］*をクリックします*



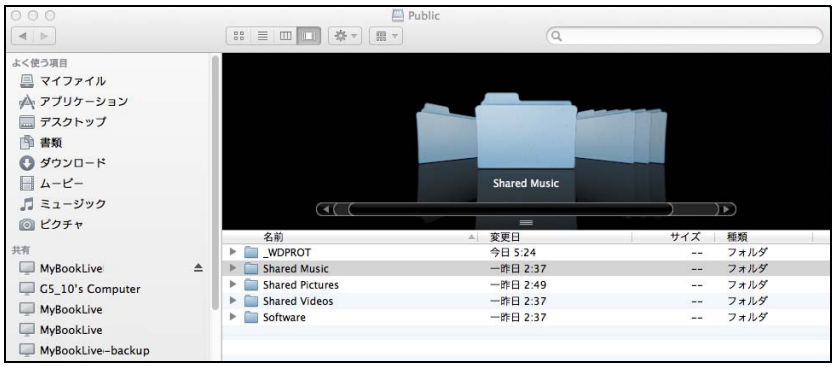
Mac の場合、アクセスする共有の横にある［**+Finder で開く**］をクリックします。



8. Java メッセージにより、接続を許可するか、または拒否するかを尋ねられた場合、［**許可**］をクリックします。
9. これでファイルにアクセスできます。オペレーティング システムの設定により、共有が自動的に表示されない場合もあります。
   - Windows の場合、共有が正常にマウントされると、共有のドライブ文字が［マイコンピュータ］の下に表示されます。このドライブ文字は、マッピングされたネットワークドライブと同じように使用できます。ドライブを開くと、共有内のすべてのファイルおよびフォルダが表示されます



   - Mac の場合、ドライブが WD My Book Live に正常に接続すると、Finder ウィンドウが開き、共有が表示されます。



10. アクセスしたいファイルを選択します。

    ネットワークドライブの場合と同じように、ファイルの表示、編集、削除、コピーができます。

ファイルをリモートで共有する

家族や友人でファイルをリモートから共有するには、My Book Live に新しいユーザーを作成し、このユーザー用に別のウェブアクセスアカウントを作成します。このユーザーがアクセスできる共有が表示されます。

1. このユーザーがまだMy Book Liveドライブのユーザーになっていない場合は、新しいユーザーを作成します（「ユーザーの作成」p. 77 を参照してください）。
2. ユーザーのウェブアクセスアカウントを登録します（p. 105 を参照してください）。WD 2go を使用する際の手順を記したメールがユーザーに届きます。

12 ビデオ、写真、および音楽の再生 / ストリーミング

メディア サーバーの概要
メディアサーバーの設定
サポートされているメディアの種類
メディアストレージ
メディアプレーヤーから My Book Live にアクセスする
iTunes を使って My Book Live にアクセスする

メディア サーバーの概要

My Book Live パーソナルクラウドストレージは、ご自宅のメディアハブの中心として機能するように設計されています。写真、音楽、およびビデオをご家庭のエンターテイメントセンターや、ホームネットワーク上の他のコンピュータにストリーミングすることが可能です。

DLNA (Digital Living Network Alliance) は、製品の互換性のための標準を確立して、ユーザーが自宅でコンテンツを共有できるようにするため、家電、コンピュータ業界、および携帯機器会社で構成される業界団体です。

DLNA サーバーは、ホーム ネットワークに接続されている My Book Live 上のすべての共有に保存されているすべてのメディアを検索します。DLNA が特定のメディアファイルを表示しないようにする場合は、メディア共有が無効に設定されているプライベート共有にファイルを保存してください。

このサーバーはあらかじめ設定済みなので、My Book Live デバイス上の個々の共有パブリックフォルダにマルチメディア コンテンツ（写真、音楽、ビデオなど）を転送するだけで、ホーム エンターテインメント センター、ゲーム コンソール（たとえば、Xbox 360™、PlayStation® 3、または DLNA® 1.5 デジタル メディア アダプタ）、および iTunes などのメディア サービスにコンテンツをストリーミングおよび表示することができます。詳細は、*http://www.dlna.org* を参照してください。

メディアサーバーの設定

My Book Live ダッシュボードの［メディア］タブにより、DLNA や iTunes メディアの設定を定義できるため、ご家庭にあるお好きな部屋でメディアを楽しむことができます。

ご注意：DLNAa と iTunes はネットワーク上でのみ機能します。

DLNA メディア サーバー

DLNA は、自宅にある対応デバイスに音楽、写真、ビデオをストリーミングします。対応デバイスでのメディアの再生は簡単です。

DLNA サーバーは、ホームネットワークに接続している My Book Live のすべての共有に保存されているすべてのメディアを検索します *。このサーバーはあらかじめ設定済みなので、My Book Live 上の各共有フォルダにマルチメディアコンテンツを転送するだけで、ホームエンターテインメントセンター、ゲーム機（Xbox 360、プ

レイステーション 3、WD TV Live HD メディアプレーヤー、または DLNA 1.5 デジタルメディアアダプタなど)、およびホームネットワーク上の他の PC にコンテンツをストリーミングして表示することができます。DLNA に関する詳細は、*http://www.dlna.org* を参照してください。

* My Book Live デバイスフォルダの外に保存されているメディアについてもインデックスに追加されるので、DLNA メディアプレーヤーから使用することができます。このメディアを使用できないようにする場合は、別の共有にメディアを保存して、その共有に対する DLNA インデックスをオフに設定してください。「新しい共有の作成」(p. 82) を参照してください。

My Book Live デバイスでコンテンツをメディアサーバーにストリーミングする場合は、以下の操作を行います。

1. My Book Live ダッシュボードのナビゲーション パネルで、[**設定**] をクリックし、[**メディア**] タブをクリックします。
2. [**DLNA メディア サーバー**] をクリックしてセクションを開きます。
3. DLNA に対して、[**有効**] チェックボックスを選択します (デフォルトでは有効になっています)。

4. メディアプレーヤー/ レシーバーのリストを表示するには、下矢印をクリックしてメディア ストリーミング セクションを展開します。

5. メディアプレーヤーがデータストリームの受信をブロックする場合は (たとえば、ペアレンタルコントロール)、メディアプレーヤーリスト内のメディアプレーヤーの横に表示された [**ブロック**] チェックボックスをオンにします。プレーヤーをブロックしたくない場合は、そのチェックボックスをオフにします。設定を変更すると、ドライブはその変更を自動的に保存します。

6. 新しいメディアプレーヤーをスキャンするには、[**再スキャン**] をクリックします。「**再スキャンの進行中**」メッセージが表示されます。再スキャンが完了すると、メディアプレーヤーの新しいリストが表示されます。

   ご注意： システムは自動的にメディアプレーヤーを再スキャンします。

7. ステータス情報をレビューするには、[ステータス] の隣にある **>** をクリックします。

   ステータス情報には、DLNA ソフトウェアのバージョン、設定が更新された日時、ストリーミングされた音楽トラック、写真、ビデオの数が含まれています。

8. ドライブ内の更新された音楽および写真ファイルのみを DLNA でチェックさせるには、テーブルの下にある [**再スキャン**] ボタンをクリックします。
9. ドライブ内のすべての音楽および写真ファイルを DLNA で読み込ませるには、テーブルの下にある [**再構築**] ボタンをクリックします。再構築は再スキャンよりも完全ですが、より多くの時間がかかる場合があります。

   ご注意： 再スキャンと再構築は自動的に実行されます。これらのボタンは問題が発生している場合にのみ使用するようにしてください。

iTunes

My Book Live に接続しているユーザーは誰でも iTunes を使って保存されている音楽ファイルを再生することができます。このサービスによって、デバイス上に仮想の音楽ライブラリーが作成され、iTunes のリポジトリとして扱われます。これにより、iTunes が稼働している Windows または Mac コンピュータに My Book Live デバイスから音楽ファイルをストリーミングできるようになります。

ご注意： iTunes 10.4 以上は音楽ファイルのみに対応しています。iTunes の対応バージョンに関する追加情報については、WD ナレッジベース回答 ID 8412 を参照してください。

iTunes メディアサーバーは、以下の種類のファイルをサポートします。

- AAC
- MP3
- WAV
- MPEG-4

ご注意： iTunes は、初期設定でパブリック共有を含み、メディアサービスが有効になっている共有をスキャンします。

iTunes を有効にするには、以下の操作を行います。

1. My Book Live ダッシュボードのナビゲーション パネルで、[**設定**] をクリックし、[**メディア**] タブをクリックします。
2. [**iTunes**] の隣にある **>** をクリックし、iTunes セクションを展開表示します。

3. iTunes が iTunes プレーヤーを通じて音楽ファイルにアクセスできるようにするには、[**有効にする**] チェックボックスをオンにします。iTunes は初期設定では有効になっています。
4. [**再スキャン**] をクリックし、メディアファイルを更新します。「iTunes 再スキャンが開始しました」とメッセージが表示されたら、[**閉じる**] をクリックします。

コンテンツの保存

パブリック共有内の該当フォルダにメディアファイルをドラッグ & ドロップすることができます（たとえば、音楽ファイルを My Book Live の /Public/Shared Music 初期設定フォルダなどにドラッグ & ドロップ）。

サポートされているメディアの種類

オーディオファイル	ビデオファイル	イメージファイル
3GP AAC AC3 AIF ASF FLAC LPCM M4A M4B MP1 MP2 MP3 MP4 MPA OGG WAV WMA	3GP AVI DivX DVR-MS FLV M1V M4V MKV MOV MP1 MP4 MPE MTS MPV MPG MPEG2 SPTS VDR VOB WMV Xvid	BMP GIF JPEG PNG TIF TIFF

ご注意：一部のモバイル端末はすべてのファイル再生をサポートしていない場合があります。モバイル端末のユーザーマニュアルを参照してどの形式がサポートされているか確認してください。

メディアストレージ

ネットワーク共有を介して My Book Live ドライブにアクセスし、メディアコンテンツを保存することができます。共有は、フォルダまたはディレクトリに類似し、ネットワーク上でメディアを整理し、アクセスするように設定されているエリアです。共有は、誰とでも共有（パブリック）あるいは、ネットワーク上の選択したユーザーと共有（プライベート）することができます。

ドライブにはパブリックネットワーク共有があらかじめ設定され、メディアストレージ用に以下のフォルダがあります。

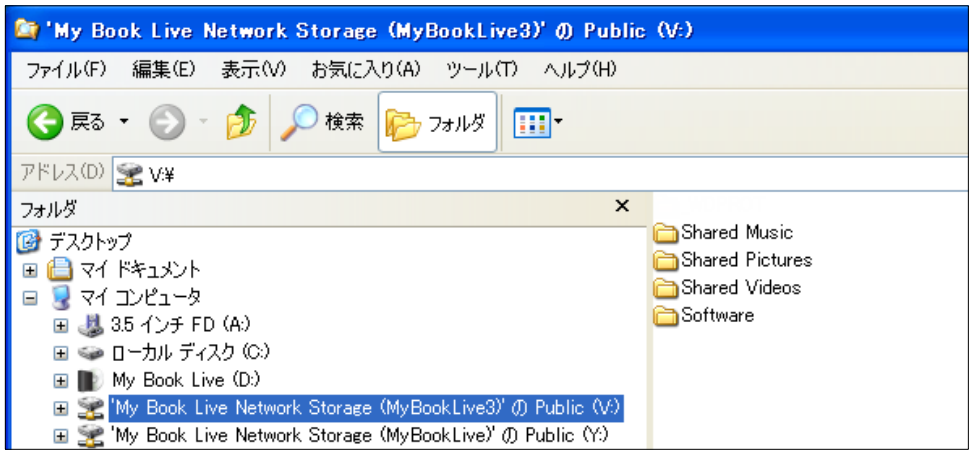
- **Shared Music** – 他のユーザーと共有したい音楽ファイルを保存します。
- **Shared Pictures** – 他のユーザーと共有したいイメージ ファイルを保存します。
- **Shared Videos** – 他のユーザーと共有したいビデオ ファイルを保存します。

重要： 「Shared Pictures」フォルダを削除したり、その名前を変更したりしないでください。このフォルダは WD Photos アプリケーションに必要なフォルダです

ご注意：My Book Live デバイスフォルダの外に保存されているメディアについてもインデックスに追加されるので、DLNA メディアプレーヤーからこれらのメディアを使用することができます。このメディアを使用できないようにする場合は、別の共有にメディアを保存して、その共有に対する DLNA インデックスをオフに設定してください。「新しい共有の作成」（p. 82）を参照してください。

フォルダにメディアコンテンツを追加する

1. Windows エクスプローラまたは Mac の Finder を開きます。



2. 音楽ファイルを「Shared Music」フォルダにコピーします。
3. 同じ手順で個々の「Pictures」および「Video」フォルダに、ビデオとピクチャをコピーします。

メディアプレーヤーから My Book Live にアクセスする

ファイルを該当フォルダにコピーすると、各種のメディアプレーヤーを使ってメディアをストリーミングすることができます。このセクションでは以下の種類について説明します。

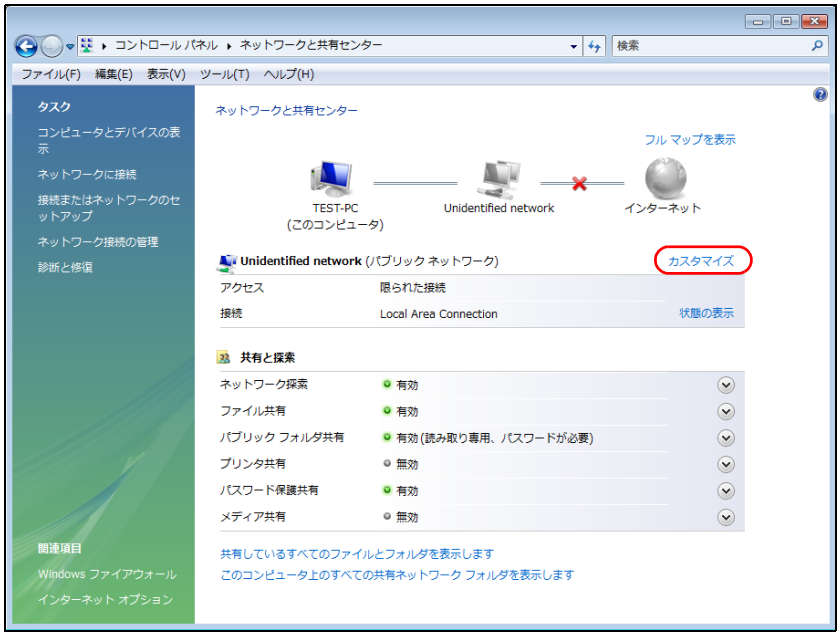
- Windows Media Player 12 (Windows 7) – p. 118
- WD TV Live/Live Plus HD メディアプレーヤー – p. 120
- Xbox 360 – p. 123
- プレイステーション 3 – p. 123
- その他のメディアプレーヤー – p. 124
  - ブルーレイレコーダー
  - インターネットに接続されたテレビ
  - デジタルピクチャフレーム
  - ネットワーク音楽プレーヤー
- DLNA デバイス – p. 124

Windows Media Player 11/12（Windows Vista/Windows 7）

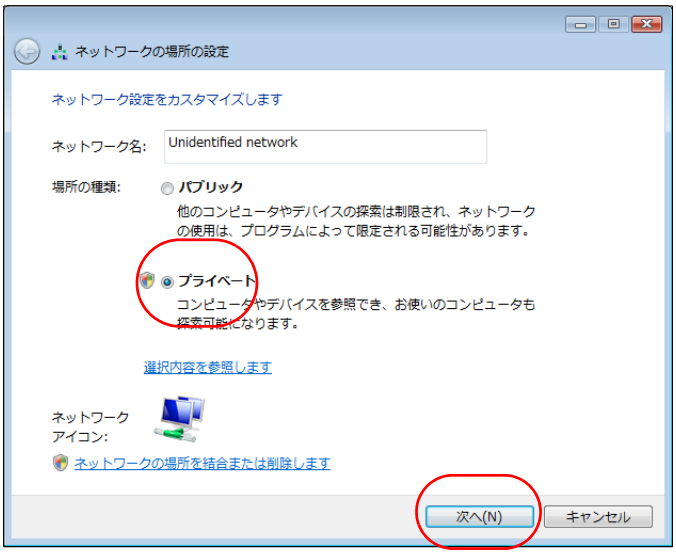
ご注意：Windows Media Player の使い方やアップデートの詳細については、Windows Media Player サポートサイトを参照してください。

Windows Media Player 11/12 ライブラリを使ってメディアをストリーミングする場合：

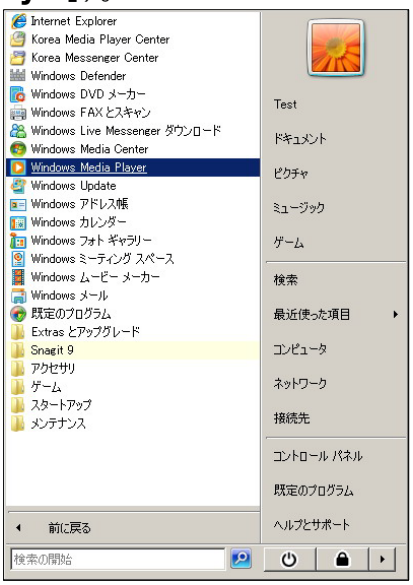
1. ［**コントロールパネル**］>［**ネットワークと共有センター**］をクリックします。
2. ［**カスタマイズ**］をクリックします。



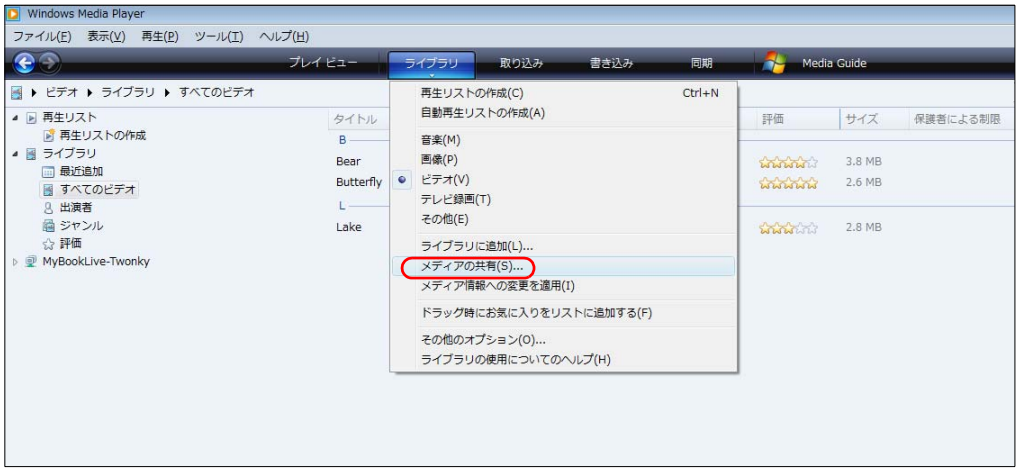
3. ［**プライベート**］をクリックし、次に［**次へ**］をクリックします。



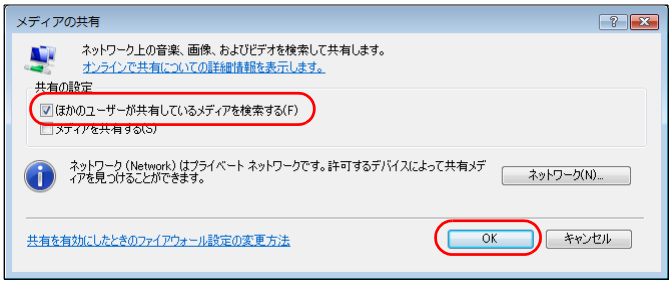
4. Windows Media Player を起動します（［**スタート**］> ［**すべてのプログラム**］> ［**Windows Media Player**］）。



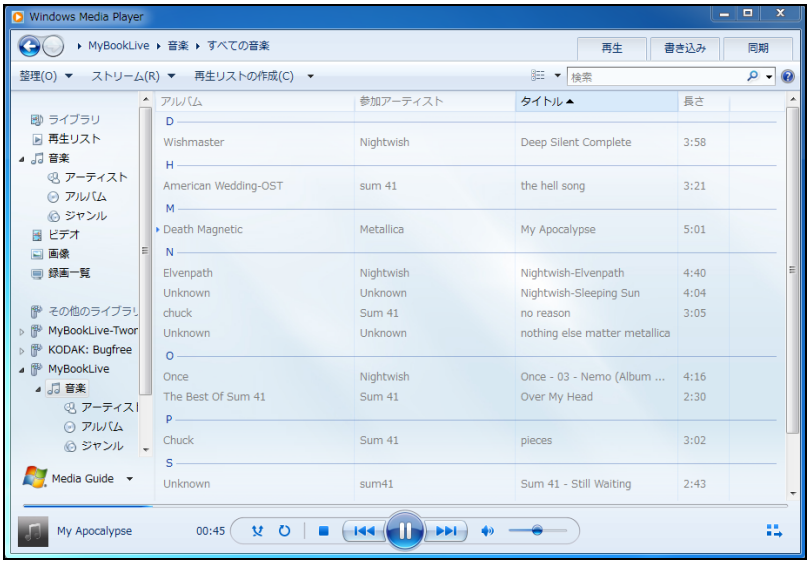
5. ［**ライブラリ**］> ［**メディアの共有**］をクリックします。



6. ［**ほかのユーザーが共有しているメディアを検索する**］をクリックし、［**OK**］をクリックします。



7. メディアの種類（音楽、ピクチャ、またはビデオ）を選択し、**MyBookLive** をクリックします。



8. 再生したいメディアファイルをダブルクリックします。

WD TV Live/Live Plus HD メディアプレーヤー

WD TV Live/WD TV Live Plus HDメディアプレーヤーをホームネットワークに接続して、My Book Live などのネットワークドライブに保存されているメディアコンテンツにアクセスすることができます。WD TV Live/Live Plus を使用して、My Book Live ドライブのファイルにアクセスする一般的な手順は以下のとおりです。My Book Live に接続し、メディアコンテンツを再生する手順の詳細は、WD TV Live/Live Plus メディアプレーヤーのユーザーガイドを参照してください。

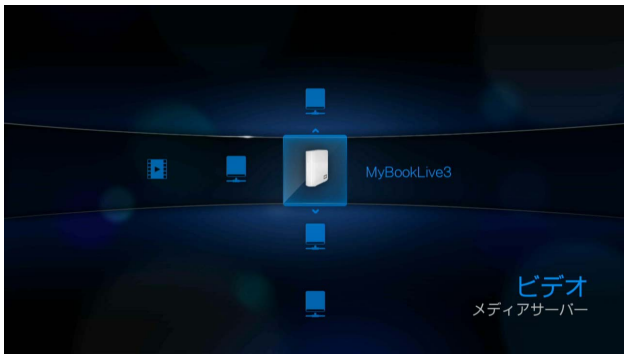
ご注意： My Book Live では、同様の方法で他の WD NAS ストレージ デバイスからコンテンツを取得することができます。

1. My Book Live をホームネットワークに接続して装置の電源を入れます。
2. WD TV Live/Live Plus は必ずテレビに接続し、電源を入れておいてください。

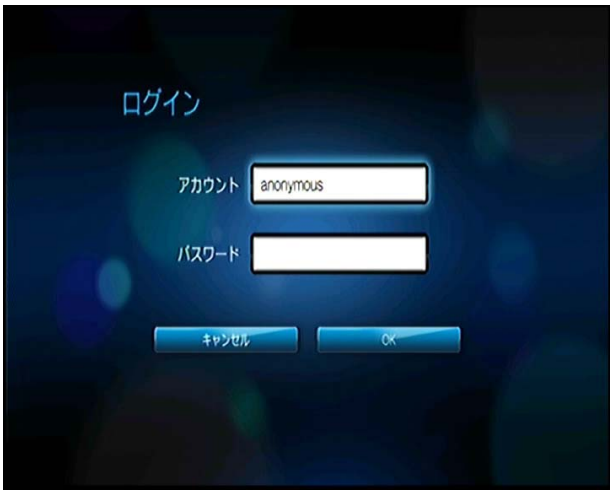
3. WD TV Live/Live Plus をホームネットワークに接続します。

4. ホーム画面に移動して、アクセスしたいメディアコンテンツのアイコンを選択します。音楽、ビデオ、または 写真 のいずれかです。
5. ▲ / ▼を押して**メディアサーバー** を選択し、［**Enter**］キーを押します。

6. ▲ / ▼を押して My Book Live を選択し、［**Enter**］キーを押します。

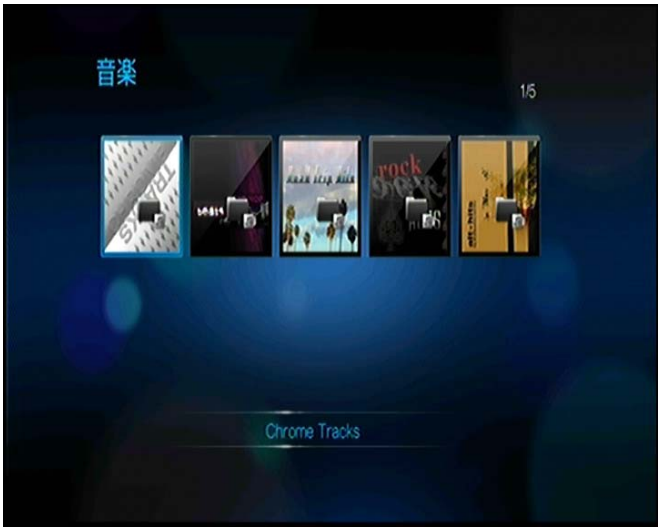


7. 必要に応じて、My Book Live のアカウント（ユーザー名）とパスワードを入力します。



► を押して、［**OK**］を選択し、**Enter** キーを押します。

8. 選択したメディアの種類に対してサポートされているコンテンツが表示されたら、アクセスしたいコンテンツを選択し、［**Enter**］キーを押してメディア再生を開始します。



Xbox 360

ご注意： Xbox 360 の使い方やアップデートの詳細については、Microsoft Xbox 360 サポートサイトを参照してください。

1. Xbox 360 および My Book Live の電源がオンであり、ローカルエリアネットワークに接続されていることを確認してください。
2. メイン Xbox ユーザー インターフェースから、My Xbox 画面までスクロールします。
3. Xbox 360 コントローラを使って、ビデオ、音楽およびピクチャライブラリオプションが見えるまで右にスクロールします。
4. コントローラ上の **A** ボタンを押して、これらの 3 つのオプションから 1 つを選択します。ソースの選択画面が表示されます。
5. 前に作成したデバイス名に基づいて MyBookLive オプションを選択し、**A** ボタンを押します。MyBookLive に保存されているメディアコンテンツが見えます。
6. コントローラを使って、メディアコンテンツが表示され、再生されるまでスクロールします。

プレイステーション 3

ご注意： プレイステーション3の使い方やアップデートの詳細については、Sony® プレイステーション3 サポートサイトを参照してください。

1. プレイステーション 3 および My Book Live の電源がオンであり、ローカルエリアネットワークに接続されていることを確認してください。一連のオプションが TV 画面に水平に並んでいるメイン画面が表示されます。
2. プレイステーション 3 コントローラの方向ボタン（左右）を使い、再生するメディアの種類に従って、音楽、写真、またはビデオに移動し、[**X**] ボタンを押します。
3. 方向ボタン（左右）を使い、My Book Live（または、前に作成した新しいデバイス名）にスクロールし、[**X**] ボタンを押して選択します。これで MyBookLive アイコンの右にフォルダ（音楽、写真、およびビデオ）のリストが表示されるようになります。
4. 必ず、手順 2 で選択したオプションと一致するフォルダを選択してください。たとえば、メイン画面から写真を選択した場合は、My Book Live アイコンの右の該当する写真フォルダを開きます。そうしないと、コンテンツが正しく表示されません。

他のメディアプレーヤー

デジタルピクチャフレーム、ブルーレイレコーダー、インターネットに接続されたテレビ、デジタルメディアアダプタなどのデバイスを設定する一般的な手順は以下のとおりです。

1. My Book Live がご自宅のホームネットワークに接続されていて、電源がオンになっていることを確認します。
2. お使いのメディアプレーヤーに付属のユーザーマニュアルに従って、ドライバの初期設定またはインストールを行います。
3. プレーヤーのナビゲーション機能を使用してスキャンを行い、ネットワーク上の My Book Live を検出します。
4. お使いのプレーヤーによっては、[設定 / ネットワーク設定] 画面でプレーヤーが My Book Live にリンクできるように接続を確立する必要がある場合があります。個々の手順については、プレーヤーのユーザーマニュアルを参照してください。

DLNA デバイス

My Book Live 上のコンテンツにアクセスできるように DLNA 対応デバイスをローカルエリアネットワークに接続する手順については、DLNA メディアデバイスのユーザーマニュアルを参照してください。DLNA 認定デバイスのリスト、および詳細情報については、*http://www.dlna.org* をご覧ください。

iTunes を使って My Book Live にアクセスする

メディアサーバーの概要

iTunes メディアサーバーがあれば、My Book Live に接続している人なら誰でも iTunes に保存している音楽ファイルを再生できます。このサービスは、デバイス上に仮想音楽ライブラリを作成し、iTunes レポジトリとして扱います。これにより、My Book Live から iTunes が動作する Windows PC または Mac への音楽ファイルのストリーミングが可能になります。

サポートされているメディアの種類

iTunes メディアサーバーは、以下の種類のファイルをサポートします。

- AAC
- ALAC
- MP3
- FLAC
- Ogg Vorbis
- Musepack
- WMA
- WMV

- AIFF
- WAV
- MPEG-4
- 音楽とビデオのプレイリスト

ご注意：iTunes サーバーは、初期設定でパブリック共有を含み、メディアサービスが有効になっている共有をスキャンします。

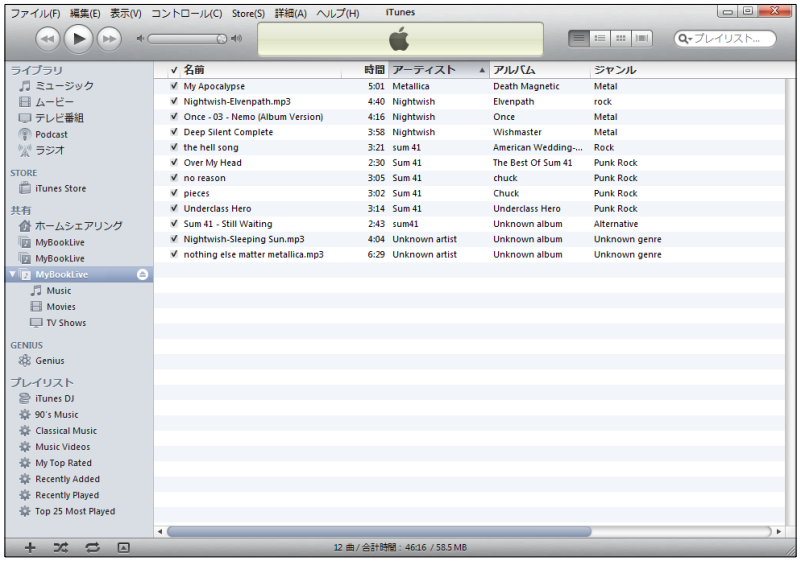
コンテンツの保存

パブリック共有内の該当フォルダにメディアファイルをドラッグ & ドロップすることができます（たとえば、音楽ファイルを My Book Live の /Public/Shared Music 初期設定フォルダなどにドラッグ & ドロップ）。

iTunes でメディアをストリーミングする

iTunes メディアサーバーはダッシュボードの初期設定では有効になっています。詳細については、「メディアサーバーの設定」p. 75 を参照してください

1. コンピュータ上で iTunes を起動します。
2. 左ペインにある［共有］セクションの下にある［**MyBookLive**］をクリックします。iTunes がサポートする形式の音楽を「/Public/Shared Music」フォルダに、または iTunes がサポートする形式のビデオを「/Public/Shared Videos」にコピーすると、右のペインに一覧表示されます。



3. 再生するにはメディアファイルをダブルクリックします。

13 トラブルシューティング

最初に確認するチェックリスト
My Book Live のリセット
具体的な問題と修復方法

どのような問題が発生した場合でも、最初に、最新の My Book Live 用ファームウェアを使用していることを確認してください。アップデートの手順については、「アップデート」p.65 を参照してください。

最初に確認するチェックリスト

- 電源が壁コンセントおよびドライブに接続されていますか？
- すべてのケーブルが正しく接続され、固定されていますか？
- ステータスインジケータが緑色に点灯していますか？緑色に点灯していない場合は、「フロントパネル LED を確認する」p.12 を参照してください。

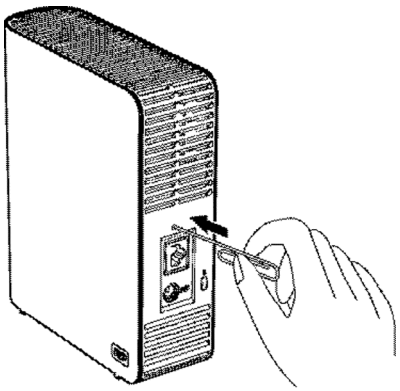
My Book Live のリセット

My Book Live ダッシュボードでパスワードまたは静的 IP アドレスを設定したけれども忘れてしまった場合は、本製品の電源がオンの状態で［リセット］ボタンを押し、パスワードを初期設定値の「なし」に、IP を初期設定値に戻してください。リセットによってファイルが消去されることはありません。

［リセット］ボタンを使用してデバイスをリセットするには、以下の手順に従ってください：

警告！　電源がオンの状態で本製品を移動しないでください。本製品の背面を操作できない場合は、ドライブの電源プラグを抜き、ドライブを回して操作できるようにしてから、再度ドライブの電源プラグを差し込んでください

1. デバイスの電源が入っている状態で、ペーパークリップか先の細いペンを、本製品の背面にある［リセット］ボタンのスロットに差し込みます。



2. リセットボタンを 4 秒間押し続けます。本製品が再起動します（最大 3 分かかることがあります）。

具体的な問題と修復方法

My Book Live を使用する際に発生する可能性のある問題は次のとおりです。問題ごとに可能な解決策を記載します。

LED が点灯しません

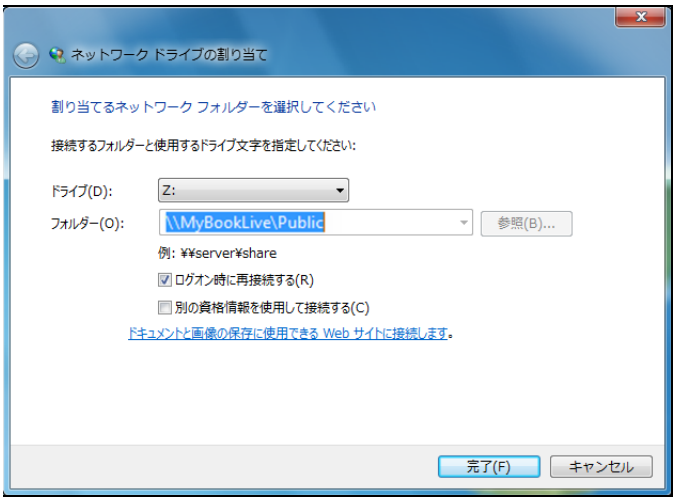
- 電源コードが正しく接続されていることを確認します
- 壁コンセントが通電していることを確認します。これをテストするために、別のデバイスのプラグを差し込んでみてください

My Book Liveのフロントパネルのランプが赤色で、ネットワークアダプタのLEDが点灯しません

1. ネットワークケーブルが My Book Live およびネットワークスイッチまたはルーターに正しく接続されていることを確認します。
2. ネットワークスイッチまたはルーターの電源が入っていることを確認します。
3. ネットワークスイッチまたはルーターで、別のネットワークケーブルとポートを使ってみてください。作動中のネットワークデバイスで My Book Live のケーブルポートを一時的に入れ替えると、不具合のあるケーブルとポートを特定できます。

ルーターが故障しました。手動でドライブ番号をマッピングするにはどうしたらよいですか？

1. 本製品をコンピュータのイーサネットポートに直接接続します。
2. ［**マイ コンピュータ**］をダブルクリックします。
3. ［**マイ ネットワーク**］をクリックします。
4. ［**ツール**］メニューで、［**ネットワーク ドライブの割り当て**］をポイントします。
5. ドライブは初期設定の文字に設定したままにします。
6. ［フォルダ］ドロップダウリストで、「\\device name\public」を選択します。



7. ［**完了**］をクリックします。
8. ［マイコンピュータ］画面に戻り、ネットワークドライブの下に表示されたデバイスの「Public」フォルダを表示します。

初期設定の際、または WD SmartWare 使用時に My Book Live を検出できません

初期設定の際、または WD SmartWare 使用時に My Book Live を検出できない場合は、一部のネットワークプロトコルがネットワークまたはコンピュータ上でブロックされている可能性があります。この場合、IP アドレスまたはネットワーク名を使用した直接の接続を介して My Book Live を使用することができます。たとえば、「http://129.25.676.30/」または「http://mybooklive/」を使って My Book Live ダッシュボードを開くことができます。

- コンピュータがワイヤレスネットワーク上にある場合は、イーサネットケーブルを使って接続して再試行してください
- 一時的にコンピュータのファイアウォール、セキュリティソフトウェアまたは他のネットワークを無効にして、再試行してください
- ローカルルーターまたはセキュリティソフトウェアにファイアウォールがないか確認します。ある場合は、ルーターのドキュメントを調べてソフトウェアを一時的に無効にするか、UPnP または UDP トラフィックを許可するようにソフトウェアを構成してください

私のデジタルメディアアダプタでは、音楽やビデオを再生したり、ピクチャを表示したりすることができません

- 写真、ビデオ、音楽には多くの種類のファイル形式があります。再生や表示をサポートしていないデジタルメディアアダプタも一部あります。デジタルメディアアダプタデバイス（たとえば、Xbox 360 やプレイステーション 3）によっては、目的のメディア形式を再生するためにはデバイスをアップデートが必要となる場合があります。詳細については、お使いのデジタルメディアアダプタデバイスのユーザーマニュアルを参照してください
- メディアコンテンツを含む共有がその種類のメディアにサービスを提供する設定になっているかを確認してください。以降の操作については、「新しい共有の作成」p.82 を参照してください

My Book Live を安全にシャットダウンするにはどのようにすればいいですか？

My Book Live ダッシュボードまたは WD Quick View アイコンを使用してドライブをシャットダウンできない場合は、ドライブの前面にある LED が点滅していないことを確認してください。点滅は、本製品が情報を処理していることを示します（たとえば、ファイルのバックアップや移動など）

LED が緑に点滅している場合、データはドライブからの読み取り、またはドライブに書き込みが行われています。この場合は、次の操作を行ってください。

1. できれば、LED の点滅が終了するまで待ってください。
2. ネットワーク上の全コンピュータの再チェックを行い、開いているファイルがなく、また転送が進行中でないことを確認してください。
3. イーサネットケーブルを取り外します。
4. 60 秒お待ちください。
5. 電源ケーブルを取り外します。

LED が緑色に点灯（ドライブのアイドル状態を表示）の場合、または青色に点灯（ドライブのスタンバイ状態を表示）の場合は、ドライブはシャットダウンする準備ができています。

1. イーサネットケーブルを取り外します。
2. 電源ケーブルを取り外します。

LED が白色の場合、ファームウェアはアップデート中です。電源のプラグを絶対に取り外さないでください。ドライブのファームウェアの破損やデータ損失を招く恐れがあります。

LED が他の色の場合は、緑色に変わるまでお待ちください。緑に変わらない場合は、「フロントパネル LED を確認する」p.12 をご覧ください。

My Book Live 3.0 ファームウェアを My Book Live 3.5 ファームウェアにアップグレードするにはどのようにすればいいですか？

手順については、*http://support.wdc.com* にアクセスして、ナレッジベースの回答 6742 をご参照ください。

14

規制および保証情報

規制遵守
サービスを受けるには
保証期間

規制遵守

FCC クラス B 情報

この装置は、FCC 規定の 15 部に従って、クラス B デジタルデバイスの制限に関するデバイスのテストが行われ、制限を遵守していることが確認されています。これらの制限事項は、住宅地域での設置の場合に有害な電波障害に対し妥当な予防策を与えるよう設計されています。この装置はラジオ周波数エネルギーを発生、使用し、それを放射する可能性があり、そして指示通りに取り付けられ、使われない場合、ラジオ、テレビまたは通信の受信に対して、有害な干渉の原因となることがあります。しかしながら、特定の設置条件でこれらの障害が発生しないという保証はありません。WD が明示的に承認していない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

次の冊子はフェデラルコミュニケーションズコミッションが作成したもので、役に立つでしょう。*ラジオ/テレビ干渉の問題を特定し、解決する方法*。この小冊子はストック番号 004-000-00345-4 で、US Government Printing Office, Washington, DC 20402 からお求めいただけます。

FCC パート 15 クラス B および EN-55022 クラス B に適合するために、ユニットとネットワーク間の接続には、付属のイーサネットケーブルを使用する必要があります。

ICES/NMB-003 遵守

Cet appareil de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

このデバイスは Canadian ICES-003 クラス B に準拠しています。

安全準拠

アメリカおよびカナダで承認済み。CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1, UL 60950-1: 情報技術機器の安全性。

Approuvé pour les Etats-Unis et le Canada. CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 : Surete d'equipement de technologie de l'information.

この製品には、リストされている制限された電源、二重被覆、または「クラス 2」とマークされている直接プラグ差し込み型電源ユニットを使用してください。

ヨーロッパ CE 遵守

EN55022（RF 放射）、EN-55024（一般電磁波耐性、該当する場合）、および EN-60950（安全）に準拠していることを検証済み。

GS マーク（ドイツのみ）

機械の騒音 – 規制 3. GPSGV: 別段の宣言のない限り、本製品からの音圧の最大レベルは、EN ISO 7779 により、70db(A) 以下です。Maschinenlärminformations-Verordnung 3. GPSGV: Der höchste Schalldruckpegel beträgt 70 db(A) oder weniger gemäß EN ISO 7779, falls nicht anders gekennzeichnet oder spezifiziert.

KCC 告知（韓国のみ）

기종별	사용자 안내문
B 급기기 (가정용방송통신기자재)	이기기는가정용(B 급) 전자파적합기기로서주로가정에서사용하는것을 목적으로하며, 모든지역에서사용할수있습니다

Class B 機器 1 本機器は非商用目的で承認されており、住居地域を含むいかなる環境でも使用できます。

環境基準の遵守（中国）

部件编号	铅 (Pb)	水银 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴联苯醚 (PBDE)
PCBA	○	○	○	○	○	○
大写	○	○	○	○	○	○
小写	○	○	○	○	○	○
光管	○	○	○	○	○	○
螺钉	○	○	○	○	○	○
橡胶垫	○	○	○	○	○	○
电源	×	○	○	○	○	○
电缆	○	○	○	○	○	○

○：表示该部件中不包含相应的物质或者含量没有超出 SJ/T 11363-2006 规定中同类物质的最大允许水平。

×：表示该部件中对应物质的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。

サービスを受けるには

WD は、お客様のビジネスを大切にし、常に最高のサービスの提供に努めております。この製品に保守が必要な場合は、製品を最初に購入された代理店に連絡するか、または弊社のサポートウェブサイトである *http://support.wdc.com* をご覧になり、サービスを受ける方法または返品許可（RMA）について詳細をお調べください。製品に欠陥があると確認された場合、RMA 番号と本製品返品手順が通知されます。承認されていない返却（RMA 番号が未発行のもの）は、お客様の費用負担でお客様に送り返されます。承認された返却は、承認された発送用コンテナで梱包を行い、前払いで保険を掛け、返却書類に示されている送付先に発送してください。購入時の箱および梱包材料は、本製品を保管あるいは発送する場合に備えて保管しておいてください。保証期間を確定するために、*http://support.wdc.com* で保証の有効期限をお調べください（シリアル番号が必要です）。WD は、いかなる理由においても、損失したデータ、損失したデータの回復、あるいは製品に含まれていたデータについて責任を負いません。

保証期間

WD は、通常の使用に供された場合、以下に規定する期間内、材質においても仕上がり状態においても本製品に欠陥が生じないこと、また本製品が WD の仕様に合致するものであることを保証します。WD 製品をお買い求めになった国によって保証期間が異なります。製品保証期間は、法律で義務付けられている場合を除き、北米と中南米では 3 年間、ヨーロッパ、中東、アフリカでは 3 年間、アジア太平洋地域では 3 年間となっています。お客様の製品保証期間は、正規販売店または正規再販業者の領収書に記載された購入日より開始します。製品が WD から盗取されたものであると断定された場合、または次の場合、WD は責任を負いません。当該故障が a) 存在しない場合、b) WD が製品を受け取る前に生じた損傷のために適切に修正できない場合、または c) 不正な使用、不適切な取り付け、改変（ラベルの取り外しまたは消滅および外部エンクロージャの開封または取り外しを含む。ただし、制限されたユーザーサービス可能製品リストに製品がある場合、および特定の改変が *http://support.wdc.com* にある該当手順の範囲内にある場合は除く）が行われたか、または WD 以外の者による事故または不注意な取り扱いの場合。上記の制限に従って、お客様が受ける排他的な唯一の保証は、上記指定保証期間における、WD の意志による製品の修理または交換になります。

前記の限定保証が WD の唯一の保証であり、新品として販売された製品にのみ適用されます。ここで提供される救済は、明示、黙示または法定かを問わず、a) 市販性、特定の目的との適合性に関する黙示の保証を含む（ただし必ずしもこれらに限らない）他のすべての救済と保証に取って代わるものであり、b) この製品の購入、使用、性能との関連から生じた、偶発的、派生的、または特別な損害、財務的な損失、利益の喪失、データの喪失（ただし必ずしもこれらに限らない）に対して一切責任を負いません。これは、WD が、あらかじめそのような損害が生じる可能性を知らされていた場合でも同様です。アメリカのいくつかの州では付随的または結果として生じる損害の制限を許容せず、そのために上記の制限がお客様に適用されない場合があります。この保証はお客様に特定の法的権利を与えますが、お客様には州ごとに異なるその他の権利があるかもしれません。

GNU 一般公衆利用許諾契約書 (GPL)

本製品に組み込まれたファームウェアには、Western Digital のエンドユーザー使用許諾契約ではなく、GPL または劣等一般公衆利用許諾契約書（「LGPL」）（総称して「GPL ソフトウェア」）で許諾されたサードパーティ著作権付きソフトウェアが含まれている場合があります。GPL に従い、該当する場合：1) GPL ソフトウェアの ソースコードは、http://support.wdc.com/download/gpl から無料でダウンロードできます。または、http://support.wdc.com/download/gpl から、あるいは購入された日から 3 年以内にカスタマー サポートに連絡することによって CD を通常価格で入手可能です。2) GPL ソフトウェアは再使用、再頒布 および、改変が可能です。3) GPL ソフトウェアに関しては、適用される法律によって許容される範囲となり、保証はありません。また、4) GPL のコピーは、*http://www.gnu.org*、および http://support.wdc.com/download/gpl から入手できる場合もあります。

オープンソースソフトウェアを含むがこれに限定されないソフトウェアの変更または改ざんは、もっぱらお客様ご自身のリスクで実行されるものとします。Western Digital は、そのようないかなる変更あるいは改ざんにも責任を負いません。Western Digital は、Western Digital によって提供されたソフトウェアを変更したりあるいは変更を試みたりした製品のサポートは行いません。

15

付録

TwonkyMedia

TwonkyMedia

メディアサーバーとして、ファームウェアバージョン 02.40.xx 以前が使用された TwonkyMedia。この項ではこれらの古いファームウェアリリースについて説明します。

TwonkyMedia は、自宅にある対応デバイスに音楽、写真、ビデオをストリーミングします。対応デバイスでのメディアの再生は簡単です。

TwonkyMedia サーバーは、ホームネットワークに接続されている My Book Live 上のすべてのパブリック共有に保存されているすべてのメディアを検索します。このサーバーはあらかじめ設定済みなので、My Book Live のパブリック共有にマルチメディアコンテンツを転送するだけで、ホームエンターテインメントセンター、ゲームコンソール（Xbox 360、PlayStation 3、WD TV Live HD メディアプレーヤー、DLNA 1.5 Digital Media Adapter など）、およびホームネットワーク上の他の PC にコンテンツをストリーミングして表示できます。TwonkyMedia の詳細については、*http://www.twonkymedia.com* をご覧ください。

TwonkyMedia を有効にして My Book Live ドライブからコンテンツをメディアサーバーにストリーミングするには、以下の手順を実行します。

1. My Book Live ダッシュボードのナビゲーションパネルで、［**設定**］をクリックし、［**メディア**］タブをクリックします。
2. **Twonky** をクリックしてセクションを開きます。
3. ［**Twonky サービス**］に対して［**有効にする**］チェックボックスを選択します（初期設定では有効になっています）。
4. メディアプレーヤー / レシーバーのリストを表示するには、矢印をクリックして［Twonky サービス］セクションを展開表示にします。

5. メディアプレーヤーでデータストリームの受信をブロックする場合は（たとえば、ペアレンタルコントロール）、メディアプレーヤーリスト内のメディアプレーヤーの横に表示されたチェックボックスをオンにします。プレーヤーをブロックしたくない場合は、そのチェックボックスをオフにします。設定を変更すると、ドライブはその変更を自動的に保存します。
6. 新しいメディアプレーヤーをスキャンするには、［**再スキャン**］をクリックします。「再スキャンの進行中」メッセージが表示されます。再スキャンが完了すると、メディアプレーヤーの新しいリストが表示されます。

   ご注意：システムはメディアプレーヤーを自動的に再スキャンします。［**再スキャン**］*は、主にトラブルシューティングを行うためのものです。*

7. ステータス情報をレビューするには、［**ステータス**］の隣にある **>** をクリックします。

   ステータス情報には、Twonky ソフトウェアのバージョン、設定が更新された日時、ストリーミングされた音楽トラック、写真、ビデオの数が含まれています。

8. ドライブ内の更新された音楽、写真、ビデオファイルのみを Twonky でチェックさせるには、テーブルの下にある［**再スキャン**］をクリックします。
9. ドライブ内のすべての音楽、写真、ビデオファイルを Twonky で読み込ませるには、テーブルの下にある［**再構築**］をクリックします。再構築は再スキャンよりも完全ですが、より多くの時間がかかる場合があります。

   ご注意：再スキャンと再構築は自動的に実行されます。これらのボタンは問題が発生している場合にのみ使用するようにしてください。

16 用語集

CIFS – Common Internet File System（共通インターネット ファイル システム）。Windows プラットフォームの場合の推奨ファイル共有プロトコルです。このプロトコルが、ユーザーは［マイネットワーク］から共有フォルダにアクセスすることを可能にします。Mac OS X 以降でも CIFS プロトコルに対応しています。プロトコルも参照してください。

DHCP – Dynamic Host Configuration Protocol（動的ホスト構成プロトコル）。ネットワーク上のデバイスに IP アドレスを割り当てるためのプロトコル。動的アドレス指定により、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得できます。一部のシステムでは、接続中であってもデバイスの IP アドレスが変更されます。DHCP は静的および動的 IP アドレスの組み合わせにも対応しています。プロトコルも参照してください。

DLNA – Digital Living Network Alliance（デジタル リビング ネットワーク アライアンス）。家電、コンピュータ業界、および携帯機器会社で構成されるグループで、製品の互換性のための規格を定め、自宅内でのユーザーのコンテンツ共有を可能にします。

DMA – Digital Media Adapter（デジタル メディア アダプタ）。ホームエンターテインメントデバイスがネットワークを介して音楽、写真、ビデオなどのメディアを他のデバイスへ / 他のデバイスから、転送できるようにするデバイス

DNS – ドメイン ネーム サービス。ネットワークネームサーバーがテキストホスト名を、インターネットに接続されているあらゆるデバイスを一意的に識別するのに使用する数値の IP アドレスに翻訳できるようにするシステム

ESD – Electrostatic discharg（静電放電）。

イーサネット – 同軸ケーブルを使ってコンピュータをローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続する標準的な方法。

File Transfer Protocol (FTP) – あるコンピュータから別のコンピュータにネットワークを介してデータを転送するのに使用するネットワーク プロトコル。FTPは、オペレーティングシステムに依存しないファイル交換でよく利用される転送方法です。

GreenPower™ テクノロジー – WD が開発したテクノロジーで、ハードディスクドライブのエネルギー効率の向上を実現します。GreenPower テクノロジーを搭載した WD 製ハードディスクドライブは競合他社のドライブに比べて平均 4 ～ 5 ワットを節電することができ、確かなパフォーマンスを維持します

ホスト – 他のコンピュータや周辺機器が接続するコンピュータ。

ホスト アダプタ – コンピュータ システム バスとハード ドライブ間のインターフェースの役割をするプラグイン ボード。

ホスト インターフェース – ホストおよびドライブが互いに接続するポイント。

ホスト転送速度 – ホスト コンピュータがインターフェースを介してデータを転送できる速度。

HTTP – Hypertext Transfer Protocol（ハイパーテキスト転送プロトコル）。World Wide Web がサーバーとブラウザ間で情報を転送するのに使用するプロトコル。プロトコルも参照してください。

ハブ – ネットワークの中央にあって、通信回線を連結するデバイスで、ネットワーク上のすべてのデバイスに共通の接続を提供します。

インターフェース – デバイスとコンピュータ間のデータ交換を管理するハードウェアまたはソフトウェア プロトコル。最も一般的なのものは EIDE（別名 PATA）、SATA、および SCSI です。プロトコルも参照してください。

IP – Internet Protocol（インターネット プロトコル）。データ メッセージがパケットに区分され、送信者からルーティングされて、その後ターゲットで再アセンブリングされる方法を制御するシステム。プロトコルも参照してください。

IP アドレス – インターネットに接続されたコンピュータを一意的に識別する 32 ビットの 2 進数。

iTunes – 曲や他のメディア ファイルをハード ドライブや My Book Live デバイスからインポートするのに使用されるオーディオ再生プログラム。

LAN – ローカル エリア ネットワーク。同じ会社または組織のコンピュータユーザーが相互に接続し、また、多くの場合 LAN サーバーの中央に保存されたデータコレクションに接続しているシステム

LED – 発光ダイオード。通電しているときに点灯する電子デバイス。

メディア サーバー – メディア ファイル（デジタル音声、デジタル ビデオ、およびデジタル写真）を保存および共有するデバイス。

メディア ストレージ – メディア ファイル（デジタル音声、デジタル ビデオ、およびデジタル写真）を保存するデバイス。

マルチユーザー – 同時に複数のユーザーがデータにアクセスできるようにする情報技術のシステム。

NAS – ネットワーク接続ストレージ。ネットワークワークステーションユーザーにサービスを提供しているコンピュータに接続されたものではなく、独自のネットワークアドレスで設定されたハードディスクストレージ

ネットワーク コンピュータ – サーバーまたは RAID システムなどの中央データストレージ ファシリティと通信するコンピュータ。

NFS – ネットワーク ファイル システム。ネットワークデバイスがローカルディスクに接続されている場合と同様に、クライアント PC のユーザーが、簡単にネットワークを通じてファイルにアクセスできるネットワークファイルシステムプロトコルです。通常、UNIX システムで利用されています。プロトコルも参照してください。

NTP – ネットワーク タイム プロトコル。コンピュータの時計とネットワーク上の機器を同期させるプロトコル。プロトコルも参照してください。

オペレーティング システム – ユーザーおよびシステムにインストールされているプログラムが、ハード ドライブなどのコンピュータ ハードウェアと通信できるようにするシステム。

オンラインラーニングセンター – お客様がパーソナルクラウドを最大限に利用できるように、WD のオンラインラーニングセンターでは最新の情報、手順、およびソフトウェアを提供しています。

パーティション – オペレーティング システムが個別のハード ドライブとして扱うハード ドライブ上の論理区画。各パーティションには固有のドライブ文字が割り当てられています

ポート（ハードウェア） – ケーブルまたはプラグを使って他のデバイスへ接続するためのデバイスにある特別なコンセント。イーサネットポート、電源ポートおよび USB ポートなどがあります

プロトコル – タイミング、制御フォーマット、およびデータ表記を定義するデータ伝送規則。

RAM – ランダム アクセス メモリ。テープドライブなどのシーケンシャルアクセスデバイスとは反対に、どのストレージロケーションにもランダムにアクセスできるメモリ

ROM – 読み出し専用メモリ。コンピュータまたはホストが読み出しは行えるが、修正はできないプログラムおよびデータを含む IC メモリ チップ。コンピュータは ROM からのインストラクションを読み込めますが、ROM にデータを格納することはできません

共有 – ネットワーク上でファイルを整理したり、ファイルにアクセスしたりするように設定された、フォルダやディレクトリに似たエリア。共有には、ネットワーク上の誰でも共有できるパブリック、あるいは、ネットワーク上の選択されたユーザーのみが共有できるプライベートがあります。

SMB – サーバー メッセージ ブロック。Windows プラットフォームでのファイル共有プロトコル。これにより、ユーザーは［マイネットワーク］から共有にアクセスすることができます。Mac OS X 以降でも CIFS プロトコルに対応しています。プロトコルも参照してください。

SMTP – 簡易メール転送プロトコル 。インターネットでの電子メールの転送に関する規格。プロトコルも参照してください。

ストリーミング メディア – ストリーミング プロバイダにより配信されている間に常に受信されるオーディオ、ビデオ、および写真などのメディア。

TCP/IP – 伝送制御プロトコル / インターネット プロトコル。相互接続ネットワークで通信するための一連のプロトコル。ネットワークを介したデータ転送の規格。プロトコルも参照してください。

TwonkyMedia サーバー – ホーム ネットワークに接続されている My Book Live に保存されているすべてのメディア（ビデオ、写真、音楽など）を検索するサーバー アプリケーション。

UPnP – Universal Plug n Play。デバイスをシームレスに接続できるようにして、家庭内のネットワーク実装を容易にするための一連のコンピュータ ネットワークプロトコル。プロトコルも参照してください。

WAN – 広域ネットワーク。都市圏、地域、または国の境界をまたぐコンピュータネットワーク

索引

A

AC アダプタ 6
Apple Time Machine
　使用法 40

B

Bonjour、ドライブを探して
セットアップ 20

D

DLNA デバイス 124
DLNA、有効化 112

F

FCC クラス B 情報 130
FTP 設定 70

G

GNU 一般公衆利用許諾契約書 132
GPL ソフトウェア 132

I

ICES/NMB-003 遵守 130
iTunes
　オーディオのストリーミング 125
　概要 124
　サポートされているメディアの
　　種類 124
　設定 114
　メディアコンテンツの保存 115
iTunes でメディアをストリーミング 125

K

KCC 告知 (韓国) 131

L

LAN
　設定 69
LED
　フロントパネル LED を確認する 12

M

Mac
　Apple Time Machine 40
　ドライブを探してセットアップ 20
　パブリック共有を開く 19
My Book Live
　FTP 設定 70
　iTunes の設定 114
　アップデート 65
　共有の削除 84
　共有の作成 82
　共有の設定 81
　システムの設定 63
　初期化 71
　診断情報 70
　設定 74
　ネットワーク設定 69
　日付と時刻 64
　プライベート共有 79
　メディアサーバーの設定 75, 112
　ユーザー設定 76
　ユーザーパスワードの変更 80
　ユーティリティの設定 70
　リモートアクセスの設定 75
　ログファイル 61
　ワークグループ 69
My Book Live 3.0 ファームウェアをアップグレード 129
My Book Live のリセット 126
My Book Live ダッシュボード
　各部の名称 59
　起動 19, 51
My Book Live のアップデート 65

R

RoHS 131

T

Time Machine
　設定 40
　バックアップ 40
　割り当て 68
TwonkyMedia 133

U

Underwriters Laboratories Inc. 130

W

WD 2go 95
　アクセス 108
　ウェブアクセスアカウントの登録 105
　設定 105
　パーソナルクラウド 94
WD Photos
　インストール 101
　特長 96
WD Quick View
　オプション 46
　アンインストールする 56
　安全にシャットダウン 53
　共有を開く 50
　ショートカット 48
　ドライブをマップする 51
　パブリック共有のショートカット 52

WD SmartWare のオンライン ヘルプ 22
WD TV Live/Live Plus HD メディアプレーヤー 120
wd2go.com 108
WD 2go モバイルアプリ
インストール 103
特長 95
WD Quick View のアンインストール 56
WD SmartWare
安全に終了する 50
インストール 23
概要 22
起動 24
システムファイル 25
自動更新の環境設定 38
すべてのカテゴリ 25
ソフトウェア設定 36
バックアップバージョンの数を指定する 36
バックアップを中断 37
ファイル拡張子 25
復元フォルダの設定 37
ホーム画面 24
WD SmartWare バックアップのファイルタイプ 25
WD オンラインラーニングセンター 10
WD 限定保証 132
WD サービス 131
Windows 7/Vista
オンラインセットアップソフトウェアを使用しないで使用を開始する 18
パブリック共有 18
Windows 8 38
オンラインセットアップソフトウェアを使用しないで使用を開始する 17
パブリック共有 17
Windows Media Player 118
Windows Vista/Windows 7
バックアップ 39
パブリック共有 18

X

Xbox 360 123

あ

アクセサリ 7
アクセス
パーソナルクラウド 108
アラート
WD Quick View による監視 54
ダッシュボードアイコン 59
リスト 59
アラートとイベント通知 66
安全
手順 1
遵守 130
安全に再起動 72
安全にシャットダウン
WD Quick View アイコンを使用 53
ダッシュボードを使用 72
トラブルシューティング 128
安全に取り外す 128

い

イベントリスト 59
インストール
WD Photos 101
WD SmartWare 23
WD 2go モバイルアプリ 103

う

ウェブアクセスアカウントの登録 105
ウェブアクセス、有効にする 105
ウェブブラウザ 7

お

オペレーティングシステムの要件 7
オンラインセットアップソフトウェア
ダウンロードとインストール 10
オンラインラーニング
センター ii, 19, 21, 23
バージョン情報 5

か

カスタマーサポート
取得 61
環境基準の遵守 (中国) 131
環境設定、WD SmartWare 38
管理
Quick View を使用 46
共有 81
ユーザー 76

き

規制遵守 130
起動
My Book Live ダッシュボード 19, 51
WD SmartWare 24
共有
WD SmartWare で開く 50
管理 81
削除 84
作成 82
新規ユーザーの作成 83
開く 84
ユーザー名とパスワード 78
共有を開く 84

け
警告
共有の削除 84
再起動またはシャットダウン中にドライブのプラグを取り外す 53, 72
初期化の中断 72
同梱のシールドされているイーサネットケーブルを使用 11
ドライブの名前を変更 64
本製品を移動しないでください 126

さ
サービス、受ける 131

し
システムの設定 63
システム要件 7
遵守、規制 130
ショートカット
パブリック共有 52
省エネ機能 67
ハードディスクスリープ 67
ハードディスクスリープを無効にする 67
使用方法 21, 62
使用を開始する
オンラインセットアップソフトウェア 10
診断情報 70

す
ストリーミング
DNLA 75
iTunes でメディアをストリーミング 125
iTunes の設定 75
ビデオ、写真、音楽 112

せ
セーフポイント
My Book Live のバックアップ 86
アップデート 90
管理 93
作成 86
復元 91
製品登録 ii
設置場所について 8
設定
ウェブアクセス 105
モバイルアクセス 98

そ
ソフトウェア、GPL 132
ソフトウェア設定 37

た
ダッシュボード
各部の名称 59

ち
注意 8
中国 RoHS 131

て
デバイスを安全にシャットダウン 128

と
同梱物 5
動作要件
オペレーティングシステム 7
モバイルアプリ 95
登録、オンライン ii
特長 3
ドライブ
各部の名称 9
使用率 64
設定 74
ドライブの接続 11
トラブルシューティング
3.0 から 3.5 ファームウェアにアップグレード 129
LED が点灯しない 127
システムのリセット 126
手動でドライブ番号をマッピング 127
チェックリスト 126
デジタルメディアアダプタでメディアを再生できない 128
ドライブを検出できない 128
フロントパネルのランプが赤色 127
ルーターの故障 127

ね
ネットワーク
設定 69

は
パーソナルクラウド
アクセス 108
定義済み 94
ハードディスクスリープ
無効 67
有効 67
パスワード、変更 80

バックアップ
Apple Time Machine 40
Windows 7/Windows Vista 39
すべてのカテゴリ 28
選択したファイルまたはフォルダ 30
ファイル 26
復元 31
開始 44
バックアップ機能 25
バックアップの開始 44
バックアップの復元 31
バックアップを中断 37
パッケージ同梱物 5
パブリック共有
Mac で開く 19
Windows 7/Vista で開く 18
Windows 8 で開く 17
Windows Vista/Windows 7 で開く 18
プライベート共有から変換 84

ふ

ファイルをリモートで共有 111
ファイル履歴 38
復元フォルダ 37
プライベート共有
パブリックにする 84
開く 50, 84
ユーザーのために作成 79
プライベート共有を作成する 79
プレイステーション 3 123

ま

マッピング
WD Quick View を使用する 51

め

メールアドレス
削除 66
追加 66
メールファイル 25
メディアサーバー
概要 112
設定 75, 112
メディアの種類 116
メディアストレージ 117
メディアプレーヤー
My Book Live にアクセス 118
一般的な設定 124

も

モバイルアクセス
接続の追加 98
設定 98
モバイルアプリ 95
WD 2go のインストール 103
WD Photos のインストール 101

ゆ

ユーザー
作成 77
設定 76
パスワード 80
プライベート共有を作成 79
ユーザーの表示 76

り

リモートアクセス
設定 75
動作要件 95
ファイルを共有 111
有効 97
リモートアクセスを有効にする 97

る

ルーターの故障、トラブルシュ
ーティング 127

ろ

ローカルネットワーク
動作要件 7
ログファイル 61

わ

ワークグループ 69

ん

仕様 8
出荷時のデフォルト値に復元 シュッカジ
ノデフォルトチニフクゲン 71

WD によって提供された情報は正確で信頼できるものと考えておりますが、その使用、あるいはその使用に起因した特許または第三者のその他の権利の侵害に関して WD は一切責任を負いません。WD の特許または特許権のもとで、黙示的またはその他の方法でライセンスが許可されることはありません。WD は仕様を予告なく変更する権利を有します。

Western Digital、WD、ＷＤ のロゴ、My Book、My Passport および WD TV は、米国およびその他の国における登録商標です。My Book Live、WD SmartWare、WD GreenPower、WD 2go、WD Photos、WD TV Live および WD TV Live Plus は、Western Digital Technologies, Inc. の商標です。本書に記載されるその他のマークは、その他の企業に帰属する場合があります。

© 2012 Western Digital Technologies, Inc. All rights reserved.

Western Digital
3355 Michelson Drive
Irvine, California 92612 U.S.A.

4779-705058-R04 Oct 2012